

# 2025年度 日本学生オリエンテーリング選手権大会 ミドル・ディスタンス、リレー競技部門 報告書



期 日	2026年3月13日(金)～15日(日) 13日(金)モデルイベント・開会式 14日(土)ミドル・ディスタンス競技部門 15日(日)リレー競技部門・閉会式
開 催 地	三重県伊賀市 青山高原周辺
競技会場	神村学園高等部 伊賀校 グラウンド
主 催	日本学生オリエンテーリング連盟
主 管	2025年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 ミドル・ディスタンス、リレー競技部門実行委員会
共 催	一般社団法人 大学スポーツ協会
後 援	伊賀市 伊賀市教育委員会 三重県オリエンテーリング協会
協 賛	SIGN 株式会社ジールコミュニケーションズ 有限会社ヤマカワオーエンタープライズ

# 目次

ご挨拶 Page 2-3

## 1 入賞者コメント Page 4-22

- 1.1 ミドル・ディスタンス競技部門 男子選手権の部
- 1.2 ミドル・ディスタンス競技部門 女子選手権の部
- 1.3 リレー競技部門 男子選手権の部
- 1.4 リレー競技部門 女子選手権の部

## 2 公式成績 Page 23-48

- 2.1 ミドル・ディスタンス競技部門
- 2.2 リレー競技部門

## 3 コース解説 Page 49-56

- 3.1 ミドル・ディスタンス競技部門 コース設定者：井土 宙
- 3.2 リレー競技部門 コース設定者：祖父江 有祐

## 4 大会運営報告 Page 57-65

- 4.1 大会企画の経緯 実行委員長：松本 萌恵
- 4.2 活動実績（運営） 運営責任者：近藤 花保
- 4.3 活動実績（競技） 競技責任者：二俣 真
- 4.4 会計 会計責任者：吉仲 瑞貴

## 5 イベント・アドバイザー報告 Page 66-68

- 5.1 はじめに
- 5.2 業務報告
- 5.3 おわりに

## 6 将来への提言 Page 69-71

- 6.1 はじめに
- 6.2 青山高原の涉外について
- 6.3 宿・交通幹線の廃止について
- 6.4 エントリーについて
- 6.5 持続可能な運営体制の構築

6.6 おわりに

6.7 主催者である日本学連への提言

## 7 ミドル競技スタートリスト Page 72

## 8 参加者数リスト Page 73-76

- 8.1 3月14日（土）ミドル・ディスタンス競技部門
- 8.2 3月15日（日）リレー競技部門

## 9 大会役員リスト Page 77

大会公式マスコット Page 77

# ご挨拶

日本学生オリエンテーリング連盟会長

河合 利幸



青山高原でのインカレ、楽しめたでしょうか。そうであれば幸いです。天気にも恵まれ、大きな怪我やトラブルなく全競技を終了できて、何よりでした。入賞した選手の皆様、おめでとうございます。今回もいろいろなドラマがありました。男子選手権リレーでは上位の順位がころころと入れ替わって最後まで勝負の行方がわからず、終わってみれば東京理科大の初優勝。一方、男子選手権ミドルでは寺嶋選手が2位に2分以上、さらに女子選手権ミドルでは山崎選手がほぼ5分差をつけて圧勝し、女子選手権リレーでは同選手を擁する筑波大が1位を譲ることなく完勝と、いずれも圧巻でした。まじめにふざけている感のあるオフィシャルレースは今や、インカレならではの締めくくりになっているのではないのでしょうか。

コロナ禍中で開催された前回の青山高原でのインカレを思うと、様々な点でコロナ禍前の状態に戻れたことはよかったのですが、課題もまだまだありますし、インカレの開催は当たり前ではありません。日々のクラブ活動、地区学連の活動、そして日本学連の活動。そのうえにインカレがあることを忘れないでください。待っていて与えられるものではありません。新年度に入って皆さんにまずお願いしたいことは、繰り返しお話ししていることではありますが、新しい仲間の確保です。組織の活力は、構成員数に寄るところがやはり大きい。そして新人には適切な指導を。もし困ったことがあれば、遠慮なく私たち卒業生や社会人クラブを頼ってください。

最後になりましたが、多忙な日々の合間を縫って準備に当たっていただいた実行委員会とその関係者の皆さんに改めて感謝いたします。伊賀市をはじめとする地元関係者の皆様には、様々な面でご支援ご協力をいただきました。主催者の日本学連を代表して、厚く御礼を申し上げます。

日本学生オリエンテーリング連盟副幹事長

森 創之介



春インカレお疲れさまでした。今回のインカレはいかがだったでしょうか。開会式閉会式でもお伝えしたように、それぞれの学年が、それぞれの立場でインカレに何を感じ、何を得られたでしょうか。これは、惜しくも今大会に参加できなかった幹事長が、プログラムの挨拶に記していたことでもあります。幹事長は、年度末の春インカレを「重要なマイルストーン」と位置づけていました。4年生にとっては「4年間の歩みがどのような形となって現れるのか」を問い直す集大成の場であり、下級生にとっては「今後の取り組みや目標を定めていくための格好の機会」であると。皆さんは、全力でこの大会に向け思考し、臨んだ先で、どのような「答え」を見つけたのでしょうか。

やはり、インカレというものは素晴らしいものです。全力で応援して声を枯らし、自分と仲間の走りに想いを乗せて、会場全体を熱気と感情の渦へと変えてくれました。こうして運営者と参加者が一体となって熱量をぶつけ合う姿こそがインカレなのだ今回も強く感じる大会でした。

私事になりますが、同期である2022年度入学の代にとっては、今大会が学生として最後のインカレとなりました。全員と知り合いというわけではないのですが、共に競い、語り合い、個性豊かなメンバーでこの代を、そしてインカレを盛り上げてきた大切な仲間です。4月からは現役時代ほどの熱量で競技に向き合うことは難しくなる人もいかもしれませんが、これからも少しずつでもオリエンテーリングを続けてほしいと思います。そして次は、サポートする側としてまたインカレを創り上げてほしい。また大会やセレの会場、インカレなどで皆さんと再会できることを楽しみにしています。

インカレ、そしてオリエンテーリングはこれからも続いていきます。自分のために、後輩のために、そして誰かのために。そうした数多くの人々の想いが紡がれ、40年以上の間、インカレは守り継がれてきました。コロナ禍という困難な時期を乗り越え、再びアツいインカレを継続できているのは、この「灯」を絶やさないという意志が現役、運営者そしてオリエンティアのなかにあったからです。このアツさがこれからも次世代へと継承され、より素晴らしい大会であり続けることを願っています。

最後になりましたが、今大会の準備にあたってご尽力いただいた実行委員会の皆様、ご協力いただいた地元の方々をはじめとして、関係するすべての皆さんに深く御礼申し上げます。

## 松本 萌恵



2025 年度春インカレを終え、こうして報告書という形にまとめることができた今、改めて本大会に関わってくださったすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

学生の皆さん。今、インカレの数日間を思い出すとき、どのような景色が浮かんできますか？目の前に伸びる尾根線、澄んだ森の匂い、自分自身の呼吸の音。ライバルと、地図に描かれた問い、何より自分自身に、全力で向き合えたでしょうか。

インカレは、特別な場所です。

毎年、新しい選手たちが加わり、逞しく育ち、やがて頼もしい背中を残して巣立っていく。移り変わる顔ぶれの中で、決して変わることなく受け継がれる情熱。私たち運営もまた、かつての先輩方からこの舞台を受け取り、ただひたすらに「最高の舞台を」という思いで準備を重ねてきました。その舞台に本当の息吹を吹き込んでくれたのは、間違いなく皆さん一人ひとりです。

競技の中で、あるいは仲間を見つめる時間の中で、心が大きく動く瞬間があったのではないのでしょうか。来年もインカレがある皆さんは、その高鳴りを忘れないでほしいと思います。先輩たちの背中を追い、試行錯誤を重ねる一歩一歩が、次のインカレへと続く確かな道しるべになります。もしこの大会が、そのような情熱の種を一つでも生み出せていたなら、運営者として、一人のオリエンティアとして、これ以上の喜びはありません。

特に、四年生の皆さん。四年間の集大成、本当にお疲れ様でした。皆さんが駆け抜けた姿は、後輩たちの目に強く焼き付いていることでしょう。卒業後も、オリエンテーリングの世界は続いています。きっと、さらに面白い景色が待っているはずです。ぜひまた、どこかのテレインでお会いしましょう。

青山高原に灯ったあの熱が、消えることなく、それぞれの次の一年を静かに支え続けてくれることを願っています。

素晴らしい景色を、本当にありがとうございました。

# 1

## 入賞者コメント

### 1.1 ミドル・ディスタンス競技部門 男子選手権の部

#### 優勝 寺嶋 謙一郎（東京農業大学（オホーツク）4）

学生最後のインカレで優勝することができ、とても嬉しく思います。前回のインカレロングでは優勝を目指していましたが、結果は9位と入賞にも届かず悔しい思いをしました。最後のインカレでもう一度表彰台の頂点に登ってやる！という気持ちで臨んだのが今大会でした。

今大会に向けての準備は、1週間前までスキー0の世界選手権に出場していたこともあり時間は限られていました。スキー0をやっている期間も北大の皆さんの対策に混ぜてもらったり、スキー0選手同士で青山高原の地図を読んだり、インカレを意識して準備をしました。スタート前は不安な気持ちもありましたが、2分前に藪の修正で全体の白図を見たとき、現在地とこれから辿るであろう尾根の地形を確認して「これなら行けるぞ！」という自信を持ってスタートすることができました。レース前半は特に調子が良く、地図からイメージする地形と現地の地形が一致していて、スピードを出しながらも冷静にナビゲーションできたと感じています。

フィニッシュ直後は本当に自分が優勝したのか信じられませんでした。北大の皆さんに胴上げしてもらって、いろんな人におめでとうと言ってもらえたのが本当に嬉しかったです。今後はさらに力をつけ、国際大会でも活躍できるよう努力していきたいと思います。

最後になりますが、今大会開催のために尽力してくださった大会関係者の皆様、たくさんの応援を送ってくださった皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



#### 第2位 森 創之介（横浜国立大学4）

今年度も、すべてのインカレで優勝を目指して取り組んできました。これまでのインカレミドルでは、1年生の頃からシード選手に選んでいただいていたにもかかわらず、優勝どころか入賞すらできていませんでした。どのレースも実力不足というより、自分を制御できずにミスをしてしまうものばかりでした。そのためメンタル面では、ベストを尽くせば勝てるという感覚から、普通にやれば大丈夫と思えるように意識して取り組んできました。技術面でも、伸ばすことよりレースを整えることにフォーカスし、秋インカレ後からたくさん練習を積んできました。本番では、常に冷静に、淡々と1レグずつ走り続けることができました。ケアレスなミスはあったものの、大きなミスはしていません。しかし、足はあまり動かさず、倒木に足を取られる場面もあり、もっと走れるはずなのにと感じていました。そのため、ベストレースだったかと言われるれば、そうではないと思います。それでもこの結果から、これまでの取り組みは間違っていなかったと感じることができました。中高からオリエンテーリングを始めて、10年が経ちました。この春インカレは最後のインカレであり、大きな区切り



だと思って臨みました。さらに地元である三重県での開催ということもあり、強い気持ちで挑みましたが、ミドルだけでなくリレーでも、あと一步のところまで優勝という悲願には届きませんでした。それでも自分の 10 年間でぶつけることはできたと思います。あと一步届かなかったことで、インカレで勝つことの難しさを改めて実感しました。これからもオリエンテーリングは続けていくつもりですが、この 4 年間の結果は、次のステップでも頑張れというメッセージだと受け止め、もう少し頑張りたいと思います。ここまで取り組んでこられたのは、自分を、横国を、KOLC を応援・サポートし、ともに競ってくれた方々のおかげです。本当にありがとうございました。

### 第 3 位 及川 悠太郎 (筑波大学大学院 4)

この度は、このような素晴らしい大会に参加させていただき、ありがとうございました。また、応援してくださった方々にも心より感謝申し上げます。

今回の ICM は、自分の 4 年間の集大成として結果を出したい大会であると同時に、勝つことができなかった ICL のリベンジの場でもありました。できる限りの準備をして臨みましたが、結果は 3 位に終わり、非常に悔しく思います。勝ちたいという気持ちが強かったことや、苦手意識のあるトレインであったことなどが重なり、ミスをした際にうまく自分をコントロールできず、崩れてしまいました。今回のレースを通じて、勝ちたいレースで勝つことの難しさを改めて実感しました。



編笠山・富士見高原から始まり、今回の青山高原まで、自分が参加したすべてのインカレには成長のきっかけがあったと感じています。だからこそ、これらの大会にもう参加できないと思うと、非常に寂しく感じます。しかし、自分のオリエンテーリング人生はまだ始まったばかりです。これからは全日本だけでなく、舞台を世界にも広げながら、オリエンテーリングを続けていきたいと考えています。

最後になりますが、この 4 年間インカレを運営し続けてくださった方々、そして自分を応援してくださった方々、本当にありがとうございました。

### 第 4 位 高野 真人 (横浜国立大学 4)

結果は 4 位。自分の中ではびっくりの入賞でした。フォレストにはずっと苦手意識があり、2 年生の春インカレで 20 位をとった後、セレはすべて通過したものの、2 年生の順位を更新できずにいました。そこでとにかくフィジカルを鍛えました。月間 300km 超える月も増え、フィジカルでは誰にも負けないくらい自信が付きました。ただ、フォレストでは中々結果がでず、秋インカレまではほぼスプリントに賭けていました。その分インカレスプリントで入賞できなかった反動が大きく、年内までは燃え尽きかけていました。ただ、そこで「何やってるの」って言うってくれる仲間がいてくれたことと 4 年生の



覚悟のおかげで再びインカレリレーに向けて頑張ることができました。苦しいことや最後まで迷惑をかけたことは多かったけど、ここまで熱中できたオリエンテーリングや仲間に出会えて良かったです。特にラスポゴールで KOLC の同期 3 人で走れたことは一生の思い出になると思います。今までのオリエンで一番幸せな瞬間でした。最後に、一緒に頑張ってきた仲間、サポートしてくださったオフィシャルさん、応援してくださった方々、運営の皆さん、本当にありがとうございました。

### 第5位 鈴木 寛人 (名古屋大学 4)

インカレで優勝したかったです。さらに言えば、優勝にふさわしいパフォーマンスをインカレで発揮できる選手になりたかったです。目標としていた結果を残すにはフィジカルも技術も覚悟も足りず、その点で深い後悔があります。

青山高原は自分にとって得意なトレインでした。下草ではなく倒木によって走行可能性が低下する足元も、ラインのない箇所が少なく線状特徴物に沿ったナビゲーションができる地形も、自分が最も得意とするトレインの特徴でした。有利なトレインであるという事実は、メンタルにも良い影響を与えていました。これで負けたら言い訳が思いつかないと感じるほど、自分にとっての好条件は揃っていました。それでも、自分のレースは優勝する選手のものとは程遠いものでした。夢見ていた優勝を手にするには、あまりにも足りないものが多かったことを痛感しました。

とはいえ、なんとか入賞という結果を残せたことには安堵しています。名唱 OLC の仲間が入賞を喜んでくれたことも嬉しかったです。

最後にはなりますが、このような素晴らしい大会を作り上げてくださった運営者の皆様、そして応援して下さったすべての方々へ心より感謝申し上げます。

### 第6位 加藤 賢斗 (筑波大学 3)

まず始めに、今回のこの結果には自分自身とても驚いています。

2年の冬ごろからフォレスト競技でのスタイルを大きく変え、試行錯誤を繰り返した1年でした。秋に開催されたインカレプリントにて優勝、流れに乗ってフォレスト競技でも結果を残したいと意気込みつつも思うようには行かず。特に年明け以降の練習会・大会では長らくやらなかったような初歩的なミスを繰り返し、インカレ直前になっても自信が持てないまま当日を迎えました。

レースではスタート直後から1分以上のミスをしてしまい、まただ、と諦めそうになりました。それでも自分を信じ、今できることをやる、できることは最大限やる、と心持ちのもと、粘り強く走り続けることができました。トレインやコースも、苦しい期間の中忘れかけていた、オリエンテーリング本来の楽しさが詰まった素晴らしいものでした。

今回の走りは、ミスも併せて今の自身にできる最大限のレースでした。今までの努力がようやく形になり始め、これから先に繋がる希望が見えたように思います。

最後になりますが、今回このような素晴らしい大会を開催して下さった運営者の皆様、私たち選手を力強く送り出し、応援して下さった皆様へ心より感謝申し上げます。1年生のころから自身の中心にあったインカレの舞台が、2回しか残されていないことを実感します。支えて下さった全ての方に恩返しができるよう、これからも精進してまいります。



## 1.2 ミドル・ディスタンス競技部門 女子選手権の部

### 優勝 山崎 葵 (筑波大学 4)

秋インカレから、自分は成長しているのか。周りの選手が実力を伸ばしていく中で、自分の成長を実感できずにいました。春インカレ 3 週間前には、フィジカル・技術の両面で自信を失い、オリエンテーリングを楽しむこともできず、悔いの残る最後のインカレになるのではないかと感じていました。それでも、応援して下さる方々の存在、これまで積み上げてきたトレーニング、そしてあと一度しかないインカレの舞台を思い、自分にできることを見つめ直しました。実際に成長していなくても、せめてメンタルだけは前向きに保って走ろうと決めました。



大会前は興奮から早く目が覚める日が続きましたが、当日は不思議と緊張よりも自信の方が大きく、これまで一番落ち着いてスタートを切ることができました。レース中は、これまで経験してきたことが自然とつながり、オリエンテーリングそのものに集中して、ミスなく走り切ることができました。フィニッシュレーンでは、4 年間のインカレの記憶が一気によみがえりました。そして、自分の中で納得のいくレースができたことに、自然と笑顔になりました。同期がその姿を喜んでくれたことも、とても印象に残っています。

秋インカレから積み重ねてきたものは、確かに自分の中にありました。その成長を、春インカレのレースの中で実感することができました。

最後になりましたが、このような素晴らしい舞台を準備して下さった運営者の方々、そして応援・サポートして下さった皆様、本当にありがとうございました。

### 第 2 位 川瀬 智尋 (奈良女子大学 4)

青山高原は私が初めてオリエンテーリングをしたトレインです。思い通りに動かせない地図とコンパス、先輩と一緒に迷い込んだ沢、笑いながら歩いた小径。今でも鮮明に覚えています。初期のスタイルを形成したのも青山高原でした。今回のインカレでは、思い出のトレインを学生最後のレースとして走れることをとても楽しみにしていました。



ところが直前期に捻挫を繰り返し、思うように走れない日々が続きました。前日にも同じ箇所を捻挫し、レースを走り切れるか不安に感じていました。そんな不安の中で心の支えとなったのが、「自分の選んだルートベストルートにするしかない。」という落合選手の言葉でした。元々はどのルートを取るかという話の中で出てきたものですが、私にとってはそれ以上の意味を持つ言葉でした。レースではミスが続き、決断に自信が持てない場面でこの言葉を思い出しました。すくんだ脚に力が戻り、これまで積み重ねてきた歩みに思いを馳せました。「今までの歩みはすべて、ベストルートだったのかもしれない。」順調な時だけでなく、挫折して進むべき方向を見失った時でさえも、それがあったからこそ今の自分があるのではないかと考えました。すべての瞬間を肯定し、会場に戻ってくることができました。走り切れた喜びに涙が止まりませんでした。同時に、学生としてのオリエンテーリングを走り切れたようにも感じました。

大好きなテレインで、大好きな先輩方の大会で、大好きな師匠に送り出されて、大好きな阪神奈の仲間を迎えられて、とても幸せでした。最後になります、インカレ開催にご尽力いただいた関係者の皆様をはじめ、これまでの4年間を支えてくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。

### **第3位 砂田 優萌子 (お茶の水女子大学 4)**

いつか、私も日本一になってみたい。そんな憧れを抱き、この1年はインカレミドルで優勝することを目指してオリエンテーリングをしてきました。結果は3位。目指していた優勝に届きませんでしたが、自分の弱さと向き合い、高みを目指したこの1年は、私にとって何にも代え難い大切な宝物になりました。全力を尽くした37分間に、一瞬の後悔もありません。



私が腐らずにオリエンテーリングを続けてこられたのは、ずっと信じて応援してくれていた方々、OLKの仲間たちのおかげです。私を強くいさせてくれて、ありがとうございました。この4年間楽しいことだらけでした。オリエンテーリングに出会えて、OLKに出会えてよかったです。今日まで指導して下さったコーチ、オフィシャルのみなさま、本当にお世話になりました。この1年間でオリエンテーリングについてこれまで以上に考え、まだまだ伸び代があることを痛感しました。これからもオリエンテーリングを楽しみ続けて、速くなっていきたいと思えます。

最後になりますが、インカレという舞台を用意して下さった運営の方々、本当にありがとうございました。青山高原で現役ラストインカレを迎えられて幸せでした。

### **第4位 牧 依瑠香 (早稲田大学 4)**

最初で最後の個人戦入賞を掴むことができ、安堵しています

新人クラスで競っていた全国同期やジュニアでは自分が勝っていた後輩、OCの同期が次々と入賞していく中で、3年間一度も入賞争いに絡むことさえできませんでした。日頃の意識やインカレまでの準備を考えれば妥当といえる結果ではありましたが、悔しさや応援して下さる方々への申し訳なさを感じていました。



スピードと正確性が求められるミドルは、大雑把なオリエンテーリングをする自分にとって苦手な種目でした。過去3年間のインカレも21位、17位、18位と振るわず、ロングでの入賞を目指していましたが、昨秋のインカレロングは10位に終わりました。秋インカレ以降は「もうミドルしかない」というプレッシャーを抱えながら、レースの改善に取り組んできました。スピードはなかなか上がらなかったものの、今まであまり頼んでいなかったランオブを積極的にお願ひし、丁寧なナビゲーションに自信を持つことができました。

モデルイベントで初めて目にした現地は自分のイメージと合わず、ミドル前夜から出走前まで不安な状態でしたが、スタート後は背伸びせず丁寧なレース運びができ、数ヶ月の成長を感じられました。会場で浴びた声援は今でも耳に残っています。

最後になりましたが、インカレを継いでくださっている運営者のみなさま、サポートしてくれたチーム、切磋琢磨したライバル、一緒に喜んでくれたみんなに感謝しています。4年間ありがとうございました。

### **第5位 山本 美沙（筑波大学 1）**

初めに、インカレミドル・リレーという素晴らしい舞台を用意して下さった運営の皆様、ご尽力、ご協力くださった皆様本当にありがとうございました。

初めてのインカレロングは 10 位以内、あわよくば入賞を目指していましたが、大舞台に緊張してしまい、冷静なレースができなかったことや実力・体力不足で 12 位という結果に終わりました。秋でインカレという舞台の厳しさを知ってから、ミドルでは入賞、リレーではメンバー入りと優勝という目標を掲げてトレーニングをしました。しかし選手権リレーメンバーセレという関門があり、まずはそれを突破することと、選手権リレーを走ることになった時の最善の走りについて考えるようになりました。選手権リレーを走ることになってからはずっとリレーのことを考え、ミドルのことには注力できていませんでした。しかし改めてリレーでの自分の役割を考えた時、ミスせず惑わされず自分のレースをすることだと気づき、リレーでその走りをするためにはまずはミドルで出来ていなければいけない、と考えました。その後の練習では、落ち着いて人に惑わされずレースをすることを意識していました。結果的にミドルでも実力が発揮でき、良い結果を得られて嬉しいです。



最後に、一緒に対策や練習をしたオリエン部の方々やサポートして下さったオフィシャル、OB,OG のみなさまに改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

### **第6位 黒澤 香穂（京都大学 3）**

今年度のインカレロングで入賞に食い込んでから、私は入賞者にイメージしていた理想と実際の自分の実力との差に苦しんできました。秋インカレの結果を勝手にプレッシャーに感じ、レースが上手くいかないことが増えました。今回入賞することができたのは、そんな私を気遣って声をかけたり、支えたりして下さった多くの先輩、仲間のおかげだと、ひとえに思います。本番では、決して得意とは言えないミドル競技で、レース全体をまとめきることに集中しました。まとめたことが今回の入賞につながったと思っています。そして、私自身は青山高原に入るのが初めてでしたが、このトレインは京京立にとってホームトレインのような存在であり、そこでひとつ入賞という結果を出せたことをうれしく思います。この結果に対しても、まだ自分が入賞者として実力が足りないと感じるばかりですが、6 位というのは、まだ上に 5 人います。私より上手くてフィジカルのある選手はそれ以上にいます。もっともっと上手くならなければならないと感じます。



最後に、インカレという大きく成長する機会を作りあげて下さった運営者、関係者の皆様、そして周りの仲間に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 1.3 リレー競技部門 男子選手権の部

#### 優勝 東京理科大学



#### < 1 走：光山 大樹 >

優勝した瞬間は、嬉しさとともに驚きがかみ上げ、今でもその光景を鮮明に覚えています。昨年はチームとして入賞を逃し、「堀井聡一郎」という大エースを擁しながらも、思うような結果を残すことができませんでした。今年こそは堀井を入賞させるという強い思いで、この1年間オリエンテーリングに取り組んできました。最後に最高の景色を見せることができ、本当に良かったです。また、1走としてチームに貢献できたことを誇りに思います。

今回の結果は、決して自分たちの力だけで成し遂げられたものではありません。早大 OC の仲間をはじめ、オフィシャルの方々のサポート、そして他大学のライバルと切磋琢磨してきた日々があったからこそ、この結果につながったのだと思います。

私は学連登録3年目で、あと1年インカレに出場する機会があります。来年は大エースが抜ける中での戦いとなりますが、もう一度表彰台に立ってこそ本当の実力だと考えています。再び挑戦者として、一からチームを作り上げていきたいです。「理科大は堀井がいなくても強い」と証明できるよう、全力で取り組んでいきます。

最後になりますが、本大会を運営して下さった皆様、そして応援して下さった皆様に、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

#### < 2 走：堀井 聡一郎 >

集大成といえる学生最後のレースを優勝という形で終わることができ、幸せな思いでいっぱいです。前日のミドルで大失敗し、かなり悔しい思いはありましたが、たった1本のレース結果で4年間やってきたことのすべてが否定されるとは思えませんでした。だから、自分を信じて、そして仲間を信じて精一杯走りました。自身の走りとしても100点に近いレースができ、4年間しのぎを削ったライバルたちとも走れて幸せでした。

今大会、私たちは45年前のリレー5位という過去最高順位更新を目標に1年間頑張ってきました。今年は明確な目標を立て、リレーメンバーだけでなくチーム全体として意思統一ができていた

と思います。レース当日はお互いを信頼し、メンバー全員が100%もしくはそれ以上の力を発揮し、1人もミスすることなくやり切れたからこそ、この結果が転がり込んできたのだと思っています。また、これまでクラブに関わってくださった先輩方が1人でも欠けていたらこの結果はなかったと思います。創部、12年前の復活そして今が、東京理科大学オリエンテーリングクラブ第3のスタート地点。これから理科大、そして一緒に活動する早大OCが強いクラブとなり、そう在り続けられることを願っています。

最後にはなりますが、今大会、そしてこれまでインカレという素晴らしい舞台を開催してきてくださった皆様に心より感謝申し上げます。

### <3走：中村 涼太>

誰よりも熱い想いでこの春インカレに臨んだ堀井聡一郎に最高の景色を見せることができ、この一年間やってきたこと、このアツい漢を追いかけてきたことが間違っていなかったのだと思いました。

ありがとう。

## 第2位 東京大学



### <1走：山口 颯大>

前日のミドルは惨憺たる結果に終わりましたが、自分を全く疑わずに送り出してくれたチームのおかげで、当日は一片の迷いもなくスタートに立つことができました。

レースは終始、久しく味わっていなかった高揚感や絶対に失敗が許されないという不安、チームの期待を背負う使命感など、様々な感情が絶えず押し寄せる非常に緊迫した時間でしたが、そのすべてが楽しかったです。

このような舞台で走ることができて、とても幸せでした。

### <2走：栗田 稜也>

まずは波乱の展開で見事優勝を掴んだ東京理科大学を称えたいと思います。

東京大学は来るべき4連覇に向け、今年3連覇を果たすことが東京大学の1年間の目標でした。

エース+ 2人という「3人揃った」筑波大学と横浜国立大学を前にして明白に力不足を感じる東京大学でしたが、困難な中走り続けてくれた仲間のおかげで、優勝を逃した悔しさ以上に、未来への希望を感じました。この希望を来年度の目標に繋げて欲しいと思います。

### < 3走：大森 寛玖 >

まずは、東大の選手権リレーを応援して下さった皆様、本当にありがとうございました。

去年東大が連覇してから、エース級の選手が抜けたチームで「自分がエースにならない」という焦りを抱えながら過ごした一年でした。

結果は悔しいものとなりましたが、実力差があるなかでも、高い目標を掲げてチーム一丸となって戦えたことは、大きな財産となりました。この悔しさを糧に、来年はさらに強い東大をお見せします。今後とも応援よろしくお祈りします。

### 第3位 筑波大学



### < 1走：木明 拓玖 >

このような最高の舞台を用意して下さった運営者の皆様、1年間春インカレまで支えてくれた筑波のオフィシャル・コーチ、小牧さん、本当にありがとうございました。

所野インカレでの結果を受け、「来年は自分がりレーを走り、筑波としての目標を達成する」という一心で1年間オリエンテーリングに取り組んできました。目標としていた”優勝”には届きませんでした。秋インカレ後からの半年間、たくさんオリエンテーリングのことを考えて、部員や全国同期・後輩たちと切磋琢磨して成長できたかけがえのない時間を僕は誇りに思います。

大きなプレッシャーの中きっちりまとめてくれた斉藤、最後まで諦めず筑波のために闘ってくれた及川さん、部内セレで競い合ってくれた加藤/田中/藤原、最大のライバルとして何度も争った横浜国立大学のみんなにはとても感謝しています。ここまで僕を成長させてくれてありがとう、みんなとオリエンテーリングができて幸せでした。

我々の夢であるリレーアベック優勝は後輩たちに託します。来年度からはOBとしてその挑戦を全力で支えていきたいと思っています。

### < 2 走：齊藤 大己 >

インカレ運営者の方々、オフィシャルの方々、応援してくれたクラブメンバー・友人、一緒に走ってくれたチームメンバー、相手チームの皆さん、この素晴らしい舞台を用意してくださり誠にありがとうございます。

昨年度の反省を踏まえ 1 年前から、選手権クラス出場ではなくインカレリレー優勝を目指してトレーニングを積んできました。個々人の実力を踏まえれば間違いなく優勝という状況下での 3 位という結果はとても悔しいです。2 年連続同じような結果であり、『リレーは団体戦』であると強く感じざるを得ませんでした。

来年は自身の最後のインカレです。2 年間の反省を踏まえ、先輩たちの涙を背負い、3 度目の正直を果たせるよう 1 年間チーム作りをしていく覚悟ができました。OB、OG の皆様、現役部員の皆様、史上初の男女アベック優勝を期待しててください。必ず成し遂げます。

### < 3 走：及川 悠太郎 >

はじめに、素晴らしい大会を開催してくださった運営者の皆様、そして応援してくださったすべての方々、本当にありがとうございました。リレーは、この 4 年間で最も勝ちたいレースでした。これまで一緒にリレーを走ってくれた田中、鎌倉さん、星也、斎藤、木明、コーチとして支えてくださった小牧さん、そして自分にリレー優勝への思いを託してくれた永山さん、本当にありがとうございました。無責任に聞こえるかもしれませんが、筑波のリレー優勝は後輩たちに託したいと思えます。

### 第 4 位 名古屋大学



### < 1 走：柴田 日向 >

最高の舞台で最高の仲間と入賞を手にすることができ、とても嬉しく思います。個人としては課題も残りますが、1 走 2 位という結果で自らの役割を果たし、流れを作ることができました。来年度、エースの鈴木は引退しますが、その穴を感じさせないほど強くなった名古屋大学を必ずお見せ

します。来年度以降の名大の活躍にもご期待ください！

### < 2走：鈴木 寛人 >

昨年のインカレリレーで、チームの足を引っ張ってしまったことへの後悔がずっと残っていた。一年間の鍛錬を経て、今年は昨年の雪辱を果たすレースができるはずだった。しかし本番では、本来であればするはずのない大きなミスをし、手が届きかけていたかもしれない優勝を自分のせいで逃す結果となってしまった。素晴らしいレースをしてくれた2人、応援してくれた仲間、そして努力してきた自分自身に対しても申し訳なく思う。どうすればうまくいったのかはわからない。オリエンテーリングは難しい。

### < 3走：山本 匠海 >

選手権リレーに出場できたこと、そして入賞できたこと、どちらも信じられないくらい嬉しかったです。憧れでしかなかった先輩方を間近で見たり他大学の選手達と競り合ったことが自分にとってこの春インカレを強烈に印象付けました。後2年の秋、春インカレは後輩に見せる背中も意識しながら全力で楽しみたいです。

## 第5位 東北大学



### < 1走：齋藤 洋紀 >

一走でした。齋藤です。前日は併設で大事故をしてしまい、なぜ自分が走るのか自信がありませんでした。ですが、逆に冷静に挑むことができました。先輩にもたくさんアドバイスを受け、東北大が勝つために自分ができることを全うしました。先輩にいい順位でつなぐことができて良かったです。今後も入賞できるよう頑張ります。

### < 2走：古角 海志 >

二走を走りました古角です。前日のミドルではあと少しで入賞に届かず、リレーではなんとしても入賞したいという思いで走りました。一走のひろきが良い順位で帰ってきてくれ、三走の西澤の安定感もあり、落ち着いてレースに向き合えました。この入賞で終わることなく、東北大のさらなる躍進に期待しています。

### < 3走：西澤 汰知 >

三走を走りました、西澤です。ゴールしたあと、東北大のみんなやOBOGの方から入賞おめでとうと言ってくれたのが、とても嬉しく感じました。悔やまれる点もいくつかありましたが、東北大の躍進の礎にはなれたかなと思います。

最後に、素晴らしいインカレという舞台を作り上げてくれた運営の方々、自分たちを支えてくだ

さったアドの方々、そして応援してくれた東北大のみなさま、ありがとうございました。

## 第6位 早稲田大学



### <1走：井口 涼羽>

自分たちの実力を客観視して、入賞を目標に掲げていました。目標を達成できて素直に嬉しかった反面、同じOCの理科大が優勝したのを見て、「負けた」と思いました。自分の力で優勝の景色を見たいと強く思いました。まずは来年、胸を張って「目標は優勝」と言えるようにOC全体で取り組みます。最高のインカレを作り上げてくれた運営者の皆様、オフィシャルの皆様、OCのみなさんには感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

### <2走：福室 凜>

まず初めに、インカレ運営してくださった皆様ありがとうございました。リレーのコメントですが、自分自身全くいいレースができず、脚が重く、どんどん置いていかれ途中で諦めてしまったので何もコメントすることはありません。多方面にご迷惑をおかけしてしまい誠に申し訳ございませんでした。

### <3走：加藤 遼>

まずはじめに、インカレを運営してくださった皆様、そして普段から支えてくださったオフィシャルの皆様、本当にありがとうございました。応援してくれたクラブの仲間たちにも感謝しています。先輩2人のおかげでなんとか6位に入賞でき、とても嬉しく思っています。一方で、自分の弱さや課題も感じたレースでした。来年は早稲田を優勝へ導けるよう、さらに努力を重ねてインカレリレーに臨みます。

## 1.4 リレー競技部門 女子選手権の部

### 優勝 筑波大学



#### < 1 走：小野塚 智美 >

なかなか 3 人で集まるタイミングがなく、準備が難しかったです。どんな展開が力を発揮できるかを話し合っていたことでレース運びもやりやすく、安心してバトンを渡すことが出来ました。

私は確実に上位で渡すことを最低条件に、少しでも差をつけてあとの二人が落ち着いて走れるようにと思いながら走りました。京都大学とはパターンが同じだったため、少し難しい状況でしたが、ビジュアルでの応援がとても力になりました。運営者の皆様、応援して下さいました。本当にありがとうございました。

来年はラストインカレです。新しいメンバーでも強い筑波大学を見せられればと思います。

#### < 2 走：山本 美沙 >

先輩のお二方が様々な対策や想定の間を設けて下さり、悩みの相談もしながら本番やらないといけないことを意識できました。また 2 位と差をつけた状態で渡していただいたため、気持ちに余裕を持って出走できました。レース中も一人旅でしたが落ち着いて走りきることができ、会場では 3 走の葵さんが笑顔で待ってくださり、役目を果たせた気持ちでとても嬉しかったです。

今年は強い先輩方に頼りきって、リレーを走りきり優勝することができましたが、来年以降は後輩やチームメイトの頼りになるようなメンバーになりたいと感じました。

最後に、素晴らしい舞台を用意して下さった運営者のみなさま、応援して下さった方々、一緒にトレーニングをした筑波大学の同期と先輩方、とても力になりました。本当にありがとうございました。

### <3走：山崎 葵>

リレーは団体戦。この言葉の意味を一番実感したリレーでした。当日は、2人が良い走りをしてくれたので私は大きなミスをしないように丁寧に走るだけでしたが、全員が良い走りで優勝できたのは全員の努力の結果だったと思います。アベック優勝や一般女子優勝が叶わなかったのは悔しいですが、多くの選手がオリエンテーリングに向き合う姿が見られました。4連覇ではなく今回優勝すること、優勝ではなく各人が自分の役割を認識してそれを果たすこと、自分を含め一人に不安やプレッシャーが偏らないようにすること、みんなが自信を持って走ること。これらをできるだけ達成できるように準備しました。

最後になりましたが、このような素晴らしい舞台を準備して下さった運営者の方々、そして応援・サポートして下さった皆様、本当にありがとうございました。

## 第2位 京都大学



### <1走：渡邊 朋香>

昨年度までの2年間は補欠としてインカレリレーを見てきましたが、今年こそは自分が走るという思いで準備を重ねてきました。1走には苦手意識もあり、スタート前はとても緊張していましたが、大きなミスなく走りきることができました。準優勝という結果をチームで掴めたことを嬉しく思うとともに、これまで背中を押して下さった先輩方や大会を開催して下さった運営者の皆様をはじめとする、関わって下さったすべての方々へ感謝します。ありがとうございました。

### <2走：黒澤 香穂>

この1年間、私は選手権リレーを目標にオリエンテーリングに取り組んできました。私にメンバーが務まるのか悩むこともありましたが、リレーがあったからこそ、大きく成長できたと感じます。自身のレースは悔いが残る部分もありますが、一緒に闘って下さった英那さん朋香さんをはじめ、支えて下さった先輩方、同期、後輩、そして大きな舞台を作り上げて下さった関係者の方々に深く感謝しています。

### < 3 走：落合 英那 >

昨年度の準優勝から 2 人のメンバーが抜けるなか、みんなでチーム作りに取り組み頑張った結果として掴んだ準優勝は、嬉しくもあり悔しくもあります。優勝というものには届かなかったけど、私たちがここまで成長することができたのは皆さんのサポートや応援のおかげです。これまでありがとうございました。最後になりましたが、今大会のような最高の舞台の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。幸せでした。

### 第 3 位 お茶の水女子大学



### < 1 走：山中 望 >

3 年前の石尊で、3 位に入賞したお茶大の姿を見て、強烈な憧れを抱きました。しかしそれからの 2 年間は、砂田という大エースを擁しつつもリレーでは入賞を逃し、非常に悔しい思いをしてきました。そうして迎えた最後のリレー、3 回目のメンバー、3 回目の走順で、入賞を掴み取ることができました。苦しかったけれど、本当に楽しいレースができました。この舞台を用意して下さった運営者のみなさま、支えてくれた OLK の皆様、大好きなお茶大の仲間たち、関わって下さった方全員に心から感謝します。本当にありがとうございました。

### < 2 走：宮田 鈴子 >

3 年前の春インカレ、大好きな先輩と同期が選手権リレーで入賞した姿をみて、いつか自分たちも……！と憧れてきた入賞でした。私たちは同じメンバーで 3 回も選手権リレーを走らせてもらいましたが、過去 2 回は入賞できず。自分も入賞に貢献できる走りがしたいと特に力を入れて取り組んできた 1 年間でした。のんちゃん、優萌子と走れたこと、さらに 3 年前に憧れた先輩たちと同じ 3 位という結果にたどり着けたことが本当に本当に嬉しいです。サポートしてくれたオフィシャルさんたち、お茶大のみんな、応援してくれた OLK の人たち、そしてインカレの舞台を用意して下さった運営者の皆様、本当にありがとうございました。

### < 3 走：砂田 優萌子 >

最後に入賞を掴み取って笑えたのは、これまで頑張ってきたふたりと、応援して下さった方々のおかげです。お茶大リレーに携わって下さった全ての方々に感謝を捧げます。ありがとうございました。

## 第4位 早稲田大学



### < 1走：吉岡 実沙音 >

まずは入賞出来たこと、本当に嬉しく思っております。

私事ではありますが、昨年度末から体調を崩し、秋までは入退院を繰り返し、手術後は歩行訓練が必要な状態でした。秋以降も山に入る回数は抑えており、正直なところ常に不安を抱えていました。

それでもリレーメンバーを目指し続けることができたのは、大エースであるいるかさんを表彰台に繋がたいという強い思い、そして未熟な私を信じてくださった早稲女みんなの存在があったからでした。特に、対策を続けてきて、最後の 1.2 週間は家族のような感覚でした。当日も、先輩方の励ましの言葉を胸に、後ろが頼もしすぎる 2 人なこともあり、落ち着いて自分の役割を果たすことに集中することが出来ました。改めて、仲間そして見守ってくださる存在の大きさ、温かさを感じる本当に幸せな時間でした。

最後になりましたが、このような素敵な機会をいただきましたこと心より感謝申し上げます。

### < 2走：佐々木 結佳 >

初めての春インカレは自分の想像の何倍も熱い大会でした。入賞できて安堵する反面、3 位入賞ができず悔しいです。牧さんとの最後のインカレリレー、3 位入賞で飾りたかった。3 位との 2 分は来年への自分の課題として、また 1 年努力していきます。この春インカレで、リレーの難しさ、そしてそれ以上に楽しさを実感しました。もう既に来年が楽しみです！

リレーメンバーはもちろん、この 1 年間支えてくださった方のおかげで果たせた入賞でした。応援やサポートをしてくださった方、運営者のみなさまに感謝申し上げます。ありがとうございました。

### < 3走：牧 依瑠香 >

3 年間目指してきた選手権リレー入賞を手にする事ができ、とても嬉しいです。

同期 3 人で走った 3 年前、表彰式を見て「次は自分たちがあそこに立とう」と約束をしました。しかし、メンバーの交替だったり全員がベストを出すことの難しさに直面したりと、なかなかうま

くいきませんでした。今年はそのような過去を踏まえ、対策という技術面だけでなく、互いに想いを託せるという精神面でも強いチームを作りました。単純な個人の力の足し算では届かない結果でも、チーム力のおかげで掴めたと思います。

4年間走り続ける理由をくれたインカレが大好きです。このような機会を継いでくださっている運営者のみなさまをはじめ、応援し続けてくれた方、一緒に喜んでくれた方、戦ってくれた現役生、全ての方に感謝したいです。本当にありがとうございました。

## 第5位 東北大学



### <1走：香西 彩名>

昨年に引き続き、1走を走りました。1年前はチームの3人とも初めての選手権リレーで、自分たちが目指せる順位も見当がつかない状態での出走でした。結果は8位で、それぞれが課題を克服していけば入賞も夢じゃないと感じ、その時からもっと成長して次のインカレでは入賞したいという目標ができました。

今回のレースでは1つ大きなミスをしてしまい、想定していた順位で2走に繋ぐことはできませんでした。そんな中でも、信頼できる2人が控えていると思えたことでミスをしてでも全く焦らずに走りきることができ、入賞することができてとても嬉しいです。

選手権リレーはインカレの中でも独特の緊張感や高揚があり、たくさんの方からの応援を受けて走る、他ではできない経験だと思います。2年連続でそのような経験ができたこと、そしてこれまで一緒に頑張ってきた2人とチームを組んで走れたことに感謝しています。ありがとうございました。

### <2走：中西 澄海>

今年に入ってからはほかの種目でも選手権クラスを走らせてもらいましたが、リレーの緊張は別格

でした。ですが、先輩 2 人に挟まれている安心感と、どうしても先輩と一緒にメダルを取りたいという強い気持ち、そして待機所で聞こえる東北大からの応援に奮い立てられました。ミドルのミスなどなかったような過去一上手くいったレースでした。来年は自分が 4 年目になるので、今年走っていない仲間たちと新たに強いチームを作れたらいいなと思います。

### < 3 走：久保田 結理 >

なんとか部内のリレーセレを通過し、選手権リレーの 3 走を走らせていただきました。セレレースとして指定されていたレースでは、良いときと悪いときの差が激しく、自分はもちろん、周りの人もとても心配していたのではないかと思います。T シャツやはちまきにメッセージを書いてもらい、気持ちが高揚する中、悔いの残らないレースをしようと心に決めました。迎えた本番では序盤で大きなミスをし、良い順位でバトンを渡してくれた仲間の顔が浮かび辛かったですが、絶対に諦めてはいけないと思い冷静にオリエンと向き合いました。5 分以上のミスを 2 つ作るという苦しいレースではありましたが、メンバーの活躍および仲間の応援のおかげで気持ちを立て直し、結果として入賞することができました。最後まで見守ってくださった、応援してくださった方々、本当にありがとうございました。

## 第 6 位 横浜国立大学



### < 1 走：大山 凛花 >

メンバーがガラッと変わった中、昨年度 4 位のプレッシャーを感じながら走った 1 走でした。エリートを走ること自体も初めてで、自分の走りも最低限ではありましたが、自分の後ろの 2 人を信じて全力で走ることができました。今年度の目標である入賞を達成できた喜びを噛み締めつつ、来年度はより高い目標を狙えるよう精進していきたいと思っています。

### < 2 走：中館 美卯 >

今年度は、横国女子を牽引してくれていた先輩方が引退し、私自身の立場も一転、チームとしても世代交代の 1 年でした。インカレの舞台上で、各々が各々の役割を全うして初めて届き得る高い目標に届いた経験は、個人としても、部としても、大きな財産を得たと感じています。横国は今成長期真っ只中です。来年もチーム一丸となって挑みます！

### < 3 走：陳 子淳 >

6 位に入賞できて本当に嬉しいです。今年度は 6 位入賞を目標に掲げましたが、正直自分は期待

していませんでした。しかし、一走・二走の仲間が良い流れを作ってくれたおかげでレースに集中でき、KOLC の皆さんの応援にも支えられ、良い結果を残すことができました。院生で留学生の私を温かく受け入れてくださり、心から感謝しています。これからも横国女子を信じて、応援しています！

## 2

## 公式成績

順位が記載されておらず、かつ記録が記載されているものは競技時間オーバーによる順位外を表します。「DISQ」はその他の理由による順位外、「参」は参考記録を表します。

## 2.1 ミドル・ディスタンス競技部門

ME 出走者数 61 名			
順位	氏名	記録	所属
1	寺嶋 謙一郎	0:37:03	東京農業大学 (オホーツク) 4
2	森 創之介	0:39:23	横浜国立大学 4
3	及川 悠太郎	0:39:34	筑波大学大学院 4
4	高野 真人	0:40:35	横浜国立大学 4
5	鈴木 寛人	0:40:41	名古屋大学 4
6	加藤 賢斗	0:41:06	筑波大学 3
7	木明 拓玖	0:41:22	筑波大学 4
8	八田 湘斗	0:42:11	立命館大学 2
9	古角 海志	0:42:30	東北大学 4
10	西澤 汰知	0:43:39	東北大学 4
11	栗田 稜也	0:43:51	東京大学 4
12	斉藤 大己	0:43:53	筑波大学 3
13	田中 雅崇	0:44:13	筑波大学 3
14	堀井 聡一郎	0:44:21	東京理科大学 4
15	古吟 健晟	0:44:22	横浜国立大学 4
16	宮澤 晃永	0:44:25	東北大学 4
17	横江 明弘	0:44:36	神戸大学 4
18	Tatarnikov Mykhailo	0:44:50	法政大学 1
19	早川 正真	0:45:14	立命館大学 4
20	小林 透哉	0:45:17	京都大学 1
21	鈴木 悠太	0:45:29	東北大学 4
22	中嶋 啓太	0:45:31	筑波大学 3
23	井口 涼羽	0:45:44	早稲田大学 2
24	高橋 悠	0:46:03	横浜市立大学 3
24	世古 大介	0:46:03	東北大学 4
26	田中 周良	0:46:37	京都大学 3
27	常広 寿哉	0:46:47	慶應義塾大学 4
28	泉谷 光紀	0:47:46	東北大学 4
29	持地 怜太郎	0:47:56	慶應義塾大学 3
30	中澤 溪進	0:47:57	東北大学 3
31	吉川 直希	0:48:32	筑波大学 4
32	大森 寛玖	0:49:45	東京大学 3
33	野口 彰洋	0:50:07	新潟大学 3
34	山本 匠海	0:50:34	名古屋大学 2
35	池田 寛大	0:50:48	横浜市立大学 4
36	吉田 聖悟	0:51:00	東京大学 4
37	美濃部 遼	0:51:06	筑波大学 3
38	加藤 優拓	0:51:35	広島大学 4
39	杉中 海斗	0:52:04	京都大学 4
40	福井 陽貴	0:52:21	徳島大学 3
41	加藤 遼	0:52:23	早稲田大学 1
42	角谷 拓海	0:52:25	東京大学 3
43	牧戸 悠生	0:52:43	日本大学 3
44	尾藤 碩	0:52:57	京都大学 2
45	水野 伶哉	0:53:05	名古屋大学 3
46	飯野 正太郎	0:53:57	東京科学大学 4
47	寺本 裕哉	0:54:25	名古屋大学 3
48	佐藤 慶明	0:54:43	東北大学 2
49	山村 瑛	0:55:33	東北大学 4
50	荻野 友希	0:55:46	東北大学 4
51	坪井 亮哉	0:56:23	東北大学 4
52	中島 遼	0:57:27	立命館大学 2
53	小島 宗慈	1:00:37	新潟大学 4
54	塚村 悠希	1:03:02	東北大学 3
55	今中 雄磨	1:05:05	横浜国立大学 3
56	牧野 修也	1:06:18	横浜国立大学 1
57	坂田 直基	1:06:40	京都大学 1
58	坂本 拓登	1:09:47	北海道大学 4
59	山口 颯大	1:15:01	東京大学 4
60	西田 稟	1:21:55	金沢大学 2
	石原 尋季	DISQ	京都工芸繊維大学 3

WE 出走者 35 名			
順位	氏名	記録	所属
1	山崎 葵	0:31:42	筑波大学 4
2	川瀬 智尋	0:36:39	奈良女子大学 4
3	砂田 優萌子	0:37:05	お茶の水女子大学 4
4	牧 依瑠香	0:38:45	早稲田大学 4
5	山本 美沙	0:40:15	筑波大学 1
6	黒澤 香穂	0:41:18	京都大学 3
7	小野塚 智美	0:41:49	筑波大学 3
8	兼子 照実	0:41:50	実践女子大学 4
9	中館 美卯	0:42:01	横浜国立大学 3
10	渡邊 朋香	0:43:13	京都大学 4
11	中野 友貴	0:44:10	名古屋大学 4
12	落合 英那	0:44:43	京都大学 4
13	堀江 花歩	0:45:11	京都大学 3
14	古荘 雪羽	0:45:40	横浜市立大学 3
15	鈴木 万結	0:46:14	日本女子大学 3
16	中西 澄海	0:46:44	東北大学 3
17	小島 優唯	0:47:14	一橋大学 4
18	和田 向日葵	0:47:54	法政大学 3
19	田谷 夏姫	0:48:47	筑波大学 2
20	久保田 結理	0:48:57	東北大学 4
21	片岡 明日香	0:50:55	千葉大学 4
22	照井 真実	0:51:30	千葉大学 4
23	高木 優彩	0:53:07	京都女子大学 2
24	大音 紗希	0:53:36	北海道大学 4
25	齋藤 夢	0:53:51	奈良女子大学 3
26	杉野 舞	0:54:00	東北大学 2
27	萬年 環	0:55:28	東北大学 2
28	尾本 絢子	0:55:57	北海道大学 1
29	古谷 那奈	0:56:53	千葉大学 4
30	香西 彩名	0:57:19	東北大学 4
31	山岸 沙映	0:57:41	神戸大学 3
32	久島 典子	1:01:49	京都大学 2
33	佐藤 奈穂	1:03:15	広島大学 2
34	渡邊 絵万	1:12:42	金沢大学 3
	梅本 咲希	DISQ	静岡大学 2

MUA1 出走者 69 名			
順位	氏名	記録	所属
1	小浦 姿	0:22:58	北海道大学大学院 4
2	中嶋 伸哉	0:23:51	立命館大学 3
3	新目 裕亮	0:23:59	立教大学 3
4	佐々木 奏太郎	0:24:00	東京大学 3
5	山田 和輝	0:25:28	横浜国立大学 3
6	清水 豪希	0:25:41	岩手大学 3
7	杉本 成央	0:26:08	名古屋大学 4
8	鈴木 颯太	0:26:58	筑波大学 3
9	屋敷 龍吾	0:27:27	京都大学 4
10	村中 達	0:27:35	京都大学 2
11	高橋 一生	0:28:11	北海道大学 2
12	齋藤 一樹	0:28:28	京都大学 2
13	澁谷 光希	0:28:32	名古屋大学 2
13	熊谷 周	0:28:32	横浜国立大学 4
15	山田 海音	0:28:59	千葉大学 3
16	笠木 雄介	0:29:19	名古屋大学 3
17	小原 絢樹	0:29:28	東北大学 2
18	都築 心	0:29:42	名古屋大学 3
19	牟田 悠真	0:30:05	一橋大学 3
20	黒田 健斗	0:30:11	神戸大学 2
21	白坂 怜也	0:30:19	京都大学 3
22	福嶋 崇	0:30:56	早稲田大学 2
23	村田 真之介	0:31:00	茨城大学 3
24	丹波 侑来	0:31:47	東北大学 3
25	小田垣 幹人	0:32:07	東京農工大学 3
26	山邊 晴登	0:32:17	東京大学 2
27	北山 桂月	0:32:51	筑波大学 2
28	杉本 翔雄	0:32:54	横浜国立大学 2
29	行平 向來	0:33:29	千葉大学 2
30	武富 侑ノ介	0:33:42	千葉大学 2
31	坂本 才樹	0:34:08	筑波大学 2
32	百田 怜世	0:35:01	東京理科大学 3
33	中沢 千聖	0:35:03	新潟大学 3
34	高野 翔	0:35:17	名古屋大学 3
35	上川名 琉人	0:35:40	東北大学大学院 4
36	秋山 拓臣	0:35:43	横浜国立大学 4
37	大森 洸美	0:35:55	広島大学 2
38	倉本 大地	0:36:09	東北大学 4
39	工藤 颯人	0:36:14	東京大学 2
40	清水 康介	0:36:19	慶應義塾大学 3

次ページに続く

MUA1 続き		
39	工藤 颯人	0:36:14 東京大学 2
40	清水 康介	0:36:19 慶應義塾大学 3
41	平尾 成	0:36:30 早稲田大学 2
42	大野 真之介	0:37:17 東京科学大学 2
43	久米 慧	0:37:21 東京大学 3
44	竹山 悠斗	0:37:34 京都大学 4
45	小森 大輔	0:37:38 慶應義塾大学 4
46	木村 康陽	0:38:46 早稲田大学 3
47	内海 佑太	0:39:58 法政大学 2
48	中村 稔平	0:40:04 横浜国立大学 3
49	富岡 功機	0:40:20 東北大学 2
50	川村 朝大	0:42:25 筑波大学 4
51	櫻井 孝樹	0:42:39 名古屋大学 2
52	中橋 暁	0:42:58 北海道大学 3
53	岩淵 大起	0:43:14 慶應義塾大学 3
54	城戸 遥稀	0:44:35 横浜国立大学 2
55	津田 幹太	0:45:28 北海道大学 4
56	谷口 元気	0:45:53 筑波大学 2
57	清水 凜翔	0:46:06 北海道大学 2
58	川島 大輝	0:46:37 横浜国立大学 2
59	間部 航大	0:46:40 北海道大学 3
60	鈴木 皓稀	0:47:02 慶應義塾大学 3
61	仲野 太陽	0:47:18 名古屋大学 4
62	中田 真希	0:49:18 京都大学 2
63	森田 歩暉	0:50:24 京都大学 4
64	宇内 蒼	0:52:56 東北大学 2
65	塩田 大成	0:56:24 京都大学 2
66	室伏 広長	0:59:33 東京農工大学 3
67	木村 直央	1:01:53 新潟大学 4
68	小川 裕太	1:06:15 千葉大学 2
69	山家 楓	1:23:13 岩手大学 3

MUA2 出走者 68 名			
順位	氏名	記録	所属
1	女井 岳哉	0:20:16	横浜市立大学 2
2	平岡 祐馬	0:21:34	東北大学 4
3	泉田 弥彦	0:23:41	北海道大学 4
4	丹治 聖陽	0:24:41	一橋大学 3
5	町田 涼介	0:24:50	東京大学 2
6	川出 晃大	0:24:51	静岡大学 4
7	山口 歩	0:25:02	東京大学 2

MUA2 続き		
8	福田 泰士	0:25:33 東京大学 3
9	山口 宗大	0:25:55 東北大学 3
10	阿部 稜大	0:26:51 東京科学大学 4
11	小倉 拓也	0:27:32 名古屋大学 2
12	齋藤 洋紀	0:27:54 東北大学 3
13	森田 龍雲	0:27:58 新潟大学 4
14	竹内 恒太	0:28:28 名古屋大学 4
15	柴田 日向	0:28:42 名古屋大学 3
16	近藤 大喜	0:29:03 東京大学 2
17	西山 晋平	0:29:26 京都大学 3
18	井上 風大	0:30:28 広島大学 3
19	本田 創也	0:30:31 横浜市立大学 3
20	高田 敦貴	0:30:38 横浜国立大学 2
21	蔵田 育	0:30:52 筑波大学 2
22	佐々木 渉真	0:31:15 筑波大学 4
23	藤山 涼太	0:31:18 北海道大学 3
23	長谷川 敬祐	0:31:18 横浜国立大学 4
25	矢作 謙伍	0:31:36 東京理科大学 2
26	佐藤 樹	0:32:09 千葉大学 3
27	仲本 冬馬	0:32:35 東京理科大学 2
28	野村 光佑	0:32:39 東京農工大学 3
29	平野 琉一	0:33:19 京都大学 2
30	島倉 大門	0:34:47 筑波大学 3
31	酒井 敬吾	0:34:49 東北大学 4
32	東出 侑大	0:34:53 東京理科大学 4
33	長野 俊青	0:35:37 日本大学 3
34	佐々木 大良	0:35:53 筑波大学 3
35	吉永 真梧	0:35:58 千葉大学 2
36	大野 航洋	0:36:24 金沢大学大学院 4
37	鈴木 航大	0:36:28 横浜市立大学 3
38	竹田 昂樹	0:37:00 東北大学 3
39	佐藤 汰一	0:37:26 新潟大学 2
40	山下 大輝ラ ファエル	0:37:53 東京大学 2
41	柳澤 篤	0:38:35 京都大学 3
42	宝来 悠生	0:38:42 千葉大学 2
43	鈴木 健太	0:39:22 金沢大学 3
44	松本 智充	0:40:39 京都大学 2
45	前川 大地	0:41:06 千葉大学 4
46	三嶋 凜太	0:41:19 筑波大学 2
47	田岡 諒也	0:41:25 名古屋大学 2
48	鈴木 秀明	0:41:33 筑波大学 2

次段に続く

次ページに続く

MUA2 続き			
49	岡田 晟嗣	0:42:24	千葉大学 3
50	岩本 一葉	0:43:40	広島大学 2
51	内藤 暁仁	0:45:37	東北大学 2
52	土田 隼人	0:47:05	北海道大学大学院 4
53	保田 晋作	0:48:28	京都大学 2
54	伊藤 康介	0:48:44	東京科学大学 3
55	小山 勇士	0:51:11	新潟大学 4
56	松元 大空	0:52:22	東北大学 3
57	中野 啓太	0:54:25	東北大学 4
58	林 紘希	0:54:58	北海道大学 3
59	辻田 航	0:58:50	立命館大学 2
60	小口 陽己	0:59:01	千葉大学 3
61	柿本 源心	0:59:39	京都大学 3
62	三宅 峻介	1:04:22	一橋大学 3
63	丹羽 真士	1:11:26	立命館大学 2
64	笠輪 峻平	1:12:20	新潟大学 2
65	柿沼 優希	1:22:17	立命館大学 4
	寺田 龍馬	1:45:51	新潟大学 2
	小野下 大	DISQ	筑波大学 2
	小松崎 嵩琉	DISQ	東京理科大学 2

MUA3 出走者 69 名			
順位	氏名	記録	所属
1	藤原 考太郎	0:20:48	筑波大学 4
2	蟹江 孝太	0:21:16	東北大学 3
3	石井 雅人	0:23:09	東北大学 3
4	中島 宗一郎	0:23:10	一橋大学 3
4	吉野 耀介	0:23:10	北海道大学 4
6	渡部 樹	0:23:31	東北大学 2
7	光山 大樹	0:23:32	東京理科大学 3
8	長山 瑛音	0:24:11	東北大学 2
9	町田 禎悟	0:24:17	京都大学 3
10	笛木 悠慎	0:24:46	千葉大学 3
11	栗原 拓未	0:25:02	筑波大学大学院 4
12	篠原 本	0:25:18	早稲田大学 3
12	波羅 哲	0:25:18	東京大学 3
14	富田 俊大	0:25:28	神戸大学 2
15	宇野 和輝	0:25:44	名古屋大学 3
16	地田 朋祐	0:26:17	北海道大学 3
17	中島 嶺央	0:26:30	東北大学 2
18	浜田 紫央	0:27:11	立命館大学 2

次段に続く

MUA3 続き			
19	増淵 友汰	0:27:28	千葉大学 3
20	原島 裕一	0:27:38	東北大学 3
21	菅田 雄大	0:27:44	横浜市立大学 3
22	前川 彰吾	0:27:59	名古屋大学 3
23	田井 俊平	0:28:06	東北大学 2
24	森下 謙	0:28:27	東京大学 3
25	溝端 宏司	0:28:28	北海道大学 3
26	平塚 空	0:28:31	新潟大学 4
27	杉浦 将磨	0:28:33	立命館大学 2
28	齋藤 滉太	0:28:34	早稲田大学 2
29	厚井 健志	0:28:46	千葉大学 2
30	根岸 尚矢	0:30:00	北海道大学 4
31	佐藤 久海	0:30:10	早稲田大学 2
32	日吉 勇喜	0:30:16	慶應義塾大学 2
33	間宮 一幸	0:31:08	東京理科大学 3
34	大久保 颯良	0:31:13	岩手大学 2
35	北村 聡一郎	0:31:39	北海道大学 3
36	本多 慶悟	0:31:50	東京理科大学 2
37	宮脇 柊哉	0:31:54	横浜市立大学 2
38	鈴木 耀太	0:32:27	東京大学 3
39	山本 裕典	0:32:35	北海道大学 3
40	中西 希	0:32:37	名古屋市立大学 2
41	小杉 亮太	0:32:58	東京科学大学 4
42	長澤 徳英	0:33:13	千葉大学 4
43	脇田 知怜	0:34:18	横浜国立大学 3
44	磯貝 孝介	0:35:33	名古屋大学 4
45	安齋 嘉希	0:35:39	日本大学 3
46	羽田 直樹	0:35:44	北海道大学 4
47	和村 琉心	0:36:07	広島大学 4
48	島谷 新太	0:36:11	立命館大学 2
49	澁谷 知貴	0:36:24	東京科学大学 2
50	田所 大樹	0:38:38	筑波大学 4
51	丹沢 台	0:39:07	新潟大学 4
52	下川床 陽也	0:39:33	名古屋工業大学 3
53	岩佐 佳祐	0:40:50	東京大学 2
54	北村 駿汰	0:40:51	東京大学 2
55	奥平 晃聖	0:41:14	一橋大学 2
56	金森 駿介	0:41:42	早稲田大学 2
57	川俣 祐人	0:41:53	茨城大学 3
58	稲川 陸	0:42:28	筑波大学 2
59	山下 直起	0:42:56	東京大学 2

次ページに続く

MUA3 続き			
60	小河 凜太郎	0:43:12	大阪公立大学 2
61	根元 望未	0:53:00	新潟大学 2
62	中村 仁紀	0:53:09	東京大学 3
63	安原 佳祐	1:04:31	日本大学 3
64	木戸 友仁	1:10:14	東京大学 4
65	岩鼻 晃樹	1:14:45	東京大学 3
66	鎌田 芳明	1:20:54	東京農工大学 4
67	奥田 知輝	1:21:57	慶應義塾大学 4
	都築 奏介	DISQ	名古屋大学 2
	大石 晃大	DISQ	新潟大学 2

MUA4 出走者 69 名			
順位	氏名	記録	所属
1	福室 凜	0:21:53	早稲田大学 3
2	磯貝 遥希	0:21:54	東京理科大学 2
3	堀田 真敏	0:23:15	筑波大学 2
4	井村 真岳	0:24:04	東京大学 4
5	丸山 拓士	0:24:29	早稲田大学 2
6	森尾 尚生	0:24:31	名古屋大学 2
7	大石 涼太	0:24:32	日本大学 3
8	佐藤 仁	0:24:51	筑波大学 2
9	馬場 峻輔	0:25:21	東北大学 2
10	藤ノ木 智大	0:26:03	千葉大学 3
11	山崎 僚太	0:26:25	岩手大学 3
12	平田 和嵩	0:26:27	早稲田大学 2
13	足立 樹	0:27:06	筑波大学 2
14	本多 駿介	0:27:19	慶應義塾大学 2
15	大川 虎之介	0:28:13	東北大学 4
16	清古 光	0:28:28	早稲田大学 3
17	吉田 晃平	0:28:29	一橋大学 4
18	山野内 拓海	0:28:36	神戸大学 2
19	清住 尚平	0:28:39	京都大学 4
20	小池 秀輔	0:28:51	東京理科大学 4
21	嶋津 光祐	0:28:56	岩手大学 3
22	古谷 友基	0:29:03	一橋大学 2
23	鈴木 隼人	0:29:06	千葉大学 3
24	宇田 陽介	0:29:09	東京大学 3
25	野田 晃司	0:29:12	京都大学 4
26	滝澤 侑明	0:29:17	京都大学 3
27	田中 颯太郎	0:29:24	千葉大学 3
28	川原 慧也	0:29:47	東京理科大学 4

次段に続く

MUA4 続き			
29	田沼 凜	0:29:55	静岡大学 4
30	直江 隼輝	0:30:21	筑波大学 4
31	日比野 兼伸	0:30:50	名古屋大学大学院 4
32	藤井 崇弘	0:31:50	京都大学 3
33	鈴木 敬太	0:32:19	北海道大学 4
34	則貞 知輝	0:32:38	千葉大学 2
35	永井 律	0:32:45	東京科学大学 4
36	石崎 優雅	0:32:48	東北大学 2
37	西山 佑斗	0:33:21	東北大学 3
38	岩沢 優真	0:33:22	北海道大学 4
39	川勝 健太	0:33:39	筑波大学 3
39	富澤 滉貴	0:33:39	早稲田大学 3
41	中井 湊	0:33:55	早稲田大学 2
42	佐々木 隆 乃介	0:35:15	東北大学 3
43	有吉 功	0:35:16	千葉大学 2
44	松本 徹士	0:35:17	立命館大学 2
45	中村 匠馬	0:36:21	東北大学 2
46	朝岡 俊亮	0:36:34	茨城大学 2
47	沖島 遼太郎	0:37:11	京都大学 2
48	老野 達哉	0:37:13	千葉大学 3
49	吉葉 誉将	0:37:31	東北大学 3
50	武久 春馬	0:38:03	京都大学 3
51	滝沢 和樹	0:42:45	筑波大学 3
52	山元 大地	0:43:04	筑波大学 3
53	平松 直也	0:43:21	東京大学 2
54	神園 遼真	0:45:57	名古屋大学 2
55	廣田 時雅	0:46:23	千葉大学 3
56	吉崎 圭哉	0:47:09	東北大学 4
57	門野 大地	0:48:45	筑波大学 4
58	千葉 颯大	0:51:02	岩手大学 2
59	佐野 勇仁	0:51:21	法政大学 4
60	大欠 崇央	0:57:04	日本大学 2
61	高島 侑杜	0:59:20	北海道大学 3
62	遠藤 大誠	1:00:12	北海道大学 2
63	山本 菖平	1:01:01	東京科学大学 2
64	碓井 一成	1:03:21	横浜国立大学 2
65	武田 啓太	1:18:34	名古屋大学 2
	嶋田 響紀	1:43:03	新潟大学 4
	田村 絆	DISQ	岩手大学 2
	鈴木 豪太	DISQ	静岡大学 2
	手塚 琥音	DISQ	東京理科大学 2

MUB 出走者 6 名			
順位	氏名	記録	所属
1	飯田 敬博	0:26:28	神戸大学 4
2	松浦 旦陽	0:36:30	横浜国立大学 4
3	大道 海斗	0:41:28	立命館大学 4
4	増井 健人	0:42:06	東北大学 4
5	工藤 優太	0:43:05	横浜国立大学 3
6	岩井 悠太	0:55:06	日本大学 2

MUF1 出走者 72 名			
順位	氏名	記録	所属
1	中村 涼太	0:20:15	東京理科大学 1
2	金城 大武	0:20:34	慶應義塾大学 1
3	三木 真聡	0:22:06	東北大学 1
4	吉岡 皆那人	0:22:13	東京大学 1
5	宮川 日向	0:22:19	筑波大学 1
6	須田 敦也	0:22:36	東北大学 1
7	黒田 悠悟	0:23:32	東京大学 1
8	佐藤 大雅	0:24:59	茨城大学 1
9	石井 直輝	0:25:31	千葉大学 1
10	笠原 稜	0:25:51	横浜国立大学 1
11	足立 誠	0:26:18	千葉大学 1
12	佐原 知樹	0:27:01	京都大学 1
13	川越 天聖	0:27:02	東北大学 1
14	小島 慧士	0:28:05	東京理科大学 1
15	牧原 崇記	0:28:27	慶應義塾大学 1
16	古川 拓	0:28:57	千葉大学 1
17	久松 麟太郎	0:29:59	筑波大学 1
18	清水 健太	0:30:25	東北大学 1
19	本田 航稀	0:30:27	千葉大学 1
20	久保 智宙	0:30:46	名古屋大学 1
21	猪熊 亮佑	0:30:47	北海道大学 1
22	草谷 将吾	0:31:19	東京理科大学 1
23	金子 和真	0:31:32	東北大学 1
24	古里 亮汰	0:31:56	東北大学 1
25	齋藤 樹	0:33:02	日本大学 1
26	古賀 大敬	0:33:13	東京科学大学 1
27	萩原 涼平	0:33:32	日本大学 1
28	渡邊 悠希	0:33:41	北海道大学 1
29	青木 悠来	0:33:45	名古屋大学 1
30	成田 智	0:34:46	東北大学 1
31	佐々木 理人	0:35:10	東北大学 1

次段に続く

MUF1 続き			
32	岸本 寛太	0:35:40	広島大学 1
33	児山 輝朗	0:36:18	横浜国立大学 1
34	坂野 佑樹	0:36:56	岩手大学 1
35	松下 祐也	0:37:00	名古屋大学 1
36	安部 孝太	0:37:35	金沢大学 1
37	小森 淳平	0:39:07	茨城大学 1
38	小笠原 啓一	0:39:42	東北大学 1
39	河井 良太	0:40:32	千葉大学 1
40	池谷 伊織	0:40:45	東北大学 1
41	鈴木 祥平	0:40:57	東京大学 1
42	藤村 倅成	0:42:54	岩手大学 1
43	水野 陽晴	0:43:27	東北大学 1
44	宮原 佳孝	0:44:06	静岡大学 1
45	堀 智葉	0:45:06	東京大学 1
46	奥村 慎	0:45:34	早稲田大学 1
47	鈴木 太一	0:46:05	千葉大学 1
48	佐々木 俊輔	0:46:26	東北大学 1
49	谷口 大翔	0:46:48	茨城大学 1
50	小倉 健介	0:47:00	日本大学 1
51	八木 青太	0:48:48	岩手大学 1
52	山本 航	0:48:52	東京大学 1
53	山本 峯真	0:49:11	新潟大学 1
54	渡部 寿哉	0:50:54	横浜市立大学 1
55	藪内 陸斗	0:51:04	東北大学 1
56	角崎 新	0:52:25	千葉大学 1
57	塔岡 颯馬	0:52:55	新潟大学 1
58	佐藤 慶典	0:56:16	名古屋大学 1
59	皆川 真	0:57:33	新潟大学 1
60	中嶋 裕介	0:58:42	横浜国立大学 1
61	高田 慶太郎	1:03:51	日本大学 1
62	西野 琉翔	1:08:22	新潟大学 1
63	笛吹 崇晴	1:12:10	北海道大学 1
64	塚田 健人	1:13:53	北海道大学 1
65	小沢 幸輝	1:14:24	名古屋大学 1
66	草間 瑛介	1:18:06	北海道大学 1
67	佐々木 雄汰	1:28:08	慶應義塾大学 1
	杉本 駿之介	DISQ	横浜国立大学 1
	小川 智也	DISQ	東北大学 1
	櫻井 碧音	DISQ	横浜国立大学 1
	堀 将大	DISQ	東北大学 1
	岡野 史	DISQ	東京大学 1

MUF2 出走者 74 名			
順位	氏名	記録	所属
1	和治郎 ア レックス	0:21:02	名古屋大学 1
2	牛田 凜人	0:21:51	横浜国立大学 1
3	伊藤 遼大	0:23:09	東北大学 1
4	山中 秀仁	0:23:31	東京大学 1
5	小関 祐也	0:24:54	早稲田大学 1
6	山田 雄飛	0:25:22	筑波大学 1
7	松本 修汰	0:25:42	筑波大学 1
8	谷 悠芦	0:25:43	一橋大学 1
9	石井 優斗	0:26:00	横浜国立大学 1
10	小松崎 啓太	0:26:24	東北大学 1
11	小林 亮太	0:27:28	早稲田大学 1
12	榎尾 奏太郎	0:27:30	北海道大学 1
13	漆谷 勇希	0:28:09	東京大学 1
14	人見 悠斗	0:28:46	東北大学 1
15	宮岡 潮	0:28:57	日本大学 1
16	住友 李成	0:29:47	東北大学 1
17	鈴木 健太	0:31:17	筑波大学 1
18	山崎 智貴	0:31:50	東北大学 1
19	中島 誉人	0:32:08	東北大学 1
20	發知 慈	0:32:17	神戸大学 1
21	藤田 亘陽	0:33:29	東北大学 1
22	佐々木 晴都	0:33:30	筑波大学 1
23	佐藤 玲	0:33:32	茨城大学 1
24	安達 楓河	0:33:49	新潟大学 1
25	佐々木 怜	0:34:02	東北大学 1
26	荒川 琉都	0:35:21	東京大学 1
27	道信 周真	0:35:40	横浜国立大学 1
28	山田 歩	0:35:47	東北大学 1
29	金澤 尚暉	0:36:19	新潟大学 1
30	大辻 一輝	0:36:22	日本大学 1
31	三井寺 立輝	0:36:36	名古屋大学 1
32	池田 千大	0:37:40	東北大学 1
33	高橋 岳	0:38:29	立命館大学 1
34	野村 潤葵	0:38:36	広島大学 1
35	大野 志温	0:38:38	慶應義塾大学 1
36	丹野 瑛太	0:39:06	横浜国立大学 1
37	会沢 拓真	0:39:33	千葉大学 1
38	王田 天盛	0:41:13	東京科学大学 1
39	門垣 大和	0:42:44	東北大学 1
40	横竹 凜人	0:43:25	名古屋大学 1

次段に続く

MUF2 続き			
41	古角 聡太郎	0:44:53	一橋大学 1
42	藤田 慶亮	0:45:05	名古屋大学 1
43	山口 凜	0:46:03	東京理科大学 1
44	長浜 翔太	0:46:07	千葉大学 1
45	小林 拓翔	0:46:14	茨城大学 1
46	安慶名 史哉	0:46:27	筑波大学 1
47	碓 大晴	0:47:37	立命館大学 1
48	大上 笙太	0:48:12	東京科学大学 1
49	直江 茂一	0:49:19	東北大学 1
50	佐河 宋紀	0:50:12	千葉大学 1
51	小島 晴弥	0:50:20	北海道大学 1
52	鈴木 湊大	0:52:23	神戸大学 1
53	大嶋 佑	0:52:59	新潟大学 1
54	川縁 晃誠	0:53:17	神戸大学 1
55	井上 貴仁	0:54:41	東北大学 1
56	井川 泰成	0:54:48	筑波大学 1
57	梅田 紘義	0:56:43	名古屋大学 1
58	柴田 優弥	0:57:28	龍谷大学 1
59	樋上 凜久	0:59:42	金沢大学 1
60	加藤 幸資	1:00:06	横浜国立大学 1
61	三浦 颯太	1:01:17	東北大学 1
62	碓井 俊	1:03:07	横浜国立大学 1
63	鈴木 淳史	1:03:50	立命館大学 1
64	吉木 嵩裕	1:03:54	名古屋大学 1
65	山崎 翔偉修	1:04:20	千葉大学 1
66	安藤 真明	1:04:48	茨城大学 1
67	安藤 周	1:05:31	岩手大学 1
67	花村 泰篤	1:05:31	早稲田大学 1
69	牧 大翔	1:08:05	横浜国立大学 1
70	細井 瑛由紀	1:10:01	東京大学大学院 1
71	伊東 蓮	1:16:35	順天堂大学 1
72	三上 晏司	1:19:36	新潟大学 1
	大石 悠介	DISQ	静岡大学 1
	藤原 佑翼	DISQ	東北大学 1

WUA1 出走者 55 名			
順位	氏名	記録	所属
1	早坂 佳夏	0:26:02	新潟大学 2
2	佐塚 真奈	0:27:26	北海道大学 3
3	杉田 瑠菜	0:28:38	京都大学 3
4	林 希華	0:29:22	日本女子大学 2

次ページに続く

WUA1 続き		
5	森 彩葉	0:29:47 お茶の水女子大学 3
6	菊池 彩実	0:29:53 横浜市立大学 3
7	山中 望	0:29:58 お茶の水女子大学 4
8	高梨 史重	0:30:17 相模女子大学 4
9	青木 由奈	0:31:05 早稲田大学 4
10	陳 子淳	0:31:22 横浜国立大学大学院 2
11	小泉 陽菜乃	0:32:17 横浜市立大学大学院 4
12	尾形 咲穂	0:33:52 北海道大学 2
13	山下 雪乃	0:34:55 日本女子大学 2
14	沼田 奈津	0:36:58 京都大学 4
15	三浦 花梨	0:38:20 東京理科大学 4
16	村田 颯香	0:38:26 宮城学院女子大学 2
17	小川 紗愛	0:38:57 椋山女学園大学 2
18	唄 菜緒	0:39:04 北海道大学 2
19	根岸 歩可	0:39:38 奈良女子大学 3
20	湊 菜々子	0:40:54 茨城大学 3
21	前田 舞	0:40:55 北海道大学 4
22	松尾 晴菜	0:41:01 茨城大学 3
23	井上 舞緒	0:41:33 岩手大学 2
24	飯塚 楓乃	0:43:22 岩手大学 4
25	田中 仁望	0:43:48 広島大学 2
26	吉田 真紘	0:44:02 名古屋大学 2
27	町田 千優	0:45:46 お茶の水女子大学 3
28	坂本 温香	0:46:20 広島大学 4
29	山本 佳奈	0:46:30 東京理科大学 4
30	山下 和乃	0:47:34 金沢大学 3
31	山田 幸希	0:48:40 お茶の水女子大学 2
32	小畑 萌	0:48:51 東京大学 2
33	浦川 沙耶佳	0:49:05 筑波大学 3
34	猪股 珠々那	0:49:08 奈良女子大学 2
35	荒谷 萌音	0:49:45 北海道大学 2
36	北村 綾夏	0:53:12 お茶の水女子大学 2
37	井出 千尋	0:54:04 相模女子大学 4
38	山口 琴子	0:54:19 岩手大学 2
39	坂本 瑠璃子	0:54:30 龍谷大学 4
40	山崎 有里彩	0:54:43 慶應義塾大学 4
41	成澤 美侑	0:55:10 東北大学 2
42	宇野 美桜	0:55:13 早稲田大学 2
42	高橋 暖和	0:55:13 日本女子大学 2
44	多田 朱里	0:56:31 京都女子大学 3
45	近藤 久美	0:59:03 同志社大学 3
次段に続く		

WUA1 続き			
46	岡野 美希	0:59:09 奈良女子大学 3	
47	藤若 柚寿	1:00:35 奈良女子大学 4	
48	高橋 民奈	1:01:07 茨城大学 3	
49	西野 楓香	1:02:07 奈良女子大学 4	
50	佐藤 葉月	1:05:20 椋山女学園大学 2	
51	坂林 千紘	1:15:01 慶應義塾大学 2	
52	堀池 美穂	1:15:15 京都女子大学 3	
	早川 菜都	1:33:30 相模女子大学 3	
	市岡 結	DISQ 横浜市立大学 2	
	藤村 茉凜	DISQ 椋山女学園大学 2	
WUA2 出走者 54 名			
順位	氏名	記録	所属
1	西村 美穂	0:27:35	東京理科大学 4
2	渡邊 陽与	0:29:25	東京大学 3
3	宮田 鈴子	0:31:20	お茶の水女子大学 4
4	濱田 美咲妃	0:32:42	日本女子大学 2
5	押田 美音	0:32:56	順天堂大学 2
6	木村 野乃子	0:33:50	北海道大学 3
7	皆上 直香	0:34:21	千葉大学 4
8	高田 麻由	0:34:30	椋山女学園大学 4
9	内木 睦	0:35:01	津田塾大学 4
10	中島 美結	0:35:06	立命館大学 3
11	柳田 紗希	0:36:02	横浜国立大学 2
12	大野 栞	0:36:46	東京大学 3
13	佐藤 愛莉	0:36:56	北海道大学 3
14	山添 葵	0:38:09	京都女子大学 2
15	佐藤 若葉	0:38:44	東北大学 2
16	齋藤 梢	0:38:50	北海道大学 3
17	奈良崎 有香	0:39:07	横浜国立大学 4
18	山崎 日菜	0:39:43	北海道大学 2
19	松尾 奏樂	0:43:01	東北大学 2
20	中西 彩寧	0:43:28	京都大学 3
21	手塚 雛姫	0:43:39	東北大学 2
22	本間 雪乃	0:44:06	岩手大学 2
23	根本 莉子	0:45:04	横浜国立大学 2
24	吉岡 実沙音	0:46:51	早稲田大学 3
25	関和 小菊	0:47:08	一橋大学 3
26	梅基 結	0:47:13	筑波大学 3
27	下山 夏季	0:47:14	千葉大学 2
28	藤田 真央	0:47:35	奈良女子大学 4
次ページに続く			

WUA2 続き			
29	石川 智花	0:47:36	京都女子大学 4
30	根本 小々菜	0:47:55	千葉大学 2
31	浅野 涼花	0:47:57	名古屋大学 2
32	南 美羽	0:48:02	千葉大学 2
33	菊池 こころ	0:48:39	宮城学院女子大学 4
34	渡部 知優	0:50:31	宮城学院女子大学 4
35	櫻井 香帆	0:51:26	椛山女学園大学 4
36	松本 和佳	0:52:23	同志社大学 2
37	大山 凜花	0:52:59	横浜国立大学 2
38	齊藤 春花	0:56:42	新潟大学 4
39	矢板橋 秋香	0:58:24	実践女子大学 3
40	門井 愛子	1:01:23	京都女子大学 3
41	安藤 葵	1:02:06	岩手大学 3
42	千葉 愛莉	1:03:02	宮城学院女子大学 3
43	水野 こむぎ	1:12:49	奈良女子大学 4
44	久保寺 芭名	1:15:54	横浜国立大学 2
45	朝賀 せり乃	1:18:40	椛山女学園大学 2
46	一条 理央	1:23:01	十文字女子大学 4
	田中 志歩	DISQ	東京大学 3
	諏訪 美海	DISQ	日本女子大学 2
	小山 真鈴	DISQ	奈良女子大学 4
	園山 美衣奈	DISQ	奈良女子大学 2
	羽原 佑香	DISQ	京都女子大学 2
	宮井 沙絵	DISQ	奈良女子大学 4
	野村 優衣	DISQ	奈良女子大学 2
	福原 優果	DISQ	広島大学 2

WUB 出走者 12 名			
順位	氏名	記録	所属
1	山添 弥生	0:18:43	京都女子大学 2
2	古橋 歩実	0:21:10	京都女子大学 2
3	梁川 萌香	0:22:51	京都女子大学 2
4	長岡 瑞季	0:29:11	宮城学院女子大学 2
5	三浦 七実	0:29:13	奈良女子大学 4
6	宮川 里弥	0:29:32	京都女子大学 2
7	齋藤 泉	0:32:04	十文字女子大学 2
8	宮崎 麻実	0:34:24	津田塾大学 2
9	多田 羅里梨	0:38:04	広島大学 3
9	八島 多佳子	0:38:04	宮城学院女子大学 2
11	田口 莉子	0:40:02	広島大学 4
	田中 晴菜	DISQ	宮城学院女子大学 2

WUF 出走者 70 名			
順位	氏名	記録	所属
1	橋本 春	0:19:51	筑波大学 1
2	植田 朋果	0:20:29	東京理科大学 1
3	佐々木 結佳	0:20:43	早稲田大学 1
4	徳倉 朋夏	0:21:27	筑波大学 1
5	高瀬 真緒	0:22:32	千葉大学 1
6	嵯峨 有梨花	0:22:41	日本女子大学 1
7	小倉 歩実	0:23:22	日本女子大学 1
8	永井 瑛	0:23:50	名古屋大学 1
9	遠藤 永子	0:24:37	千葉大学 1
10	松村 穂咲奈	0:24:55	筑波大学 1
11	友田 りさ	0:24:56	筑波大学 1
12	鈴木 聡実	0:25:49	東北大学 1
13	安江 舞莉	0:26:04	京都女子大学 1
14	松崎 唯子	0:26:27	法政大学 1
15	藤井 香帆	0:26:33	椛山女学園大学 1
16	立石 麗佳	0:26:42	お茶の水女子大学 1
17	小山 倫佳	0:26:44	東北大学 1
18	亀田 万葉	0:27:16	東京大学 1
19	小池 響	0:27:25	名古屋大学 1
20	高橋 怜	0:27:53	東北大学 1
21	池澤 茉奈	0:28:15	お茶の水女子大学 1
22	山下 莉佳	0:28:45	日本女子大学 1
23	赤羽 舞香	0:28:59	北海道大学 1
24	森安 恭子	0:31:01	北海道大学 1
25	高橋 咲貴	0:31:38	東北大学 1
26	北澤 亜美	0:31:44	日本女子大学 1
27	水谷 奈那美	0:32:05	名古屋大学 1
28	渡邊 莉子	0:32:11	一橋大学 1
29	尾形 歩美	0:32:12	実践女子大学 1
30	沈 心	0:32:32	東京大学 1
31	福丸 真央	0:32:42	北海道大学 1
32	西須 心美	0:33:04	金沢大学 1
33	井上 悠生	0:33:46	名古屋大学 1
34	葭葉 瑛菜	0:34:38	順天堂大学 1
35	齊藤 由栄	0:35:11	早稲田大学 1
36	奥村 優香	0:35:14	名古屋大学 1
36	遠藤 有佳	0:35:14	立命館大学 1
38	余湖 千紘	0:35:16	金沢大学 1
39	松本 羽奏	0:35:51	茨城大学 1
40	寺岡 友愛	0:36:16	奈良女子大学 1

次ページに続く

**WUF 続き**

41	木村 光里	0:37:58	東京科学大学 1
42	石下 瑠華	0:38:22	金沢大学 1
43	竹川 知里	0:39:10	新潟大学 1
44	鈴木 彩七	0:39:41	岩手大学 1
45	大神田 さくら	0:40:02	千葉大学 1
46	深沢 一葉	0:40:03	京都大学 1
47	西村 帆湊	0:40:11	奈良女子大学 1
48	岡野 楓華	0:40:20	東北大学 1
49	砂川 七海	0:41:25	早稲田大学 1
50	轟木 沙椰子	0:41:51	北海道大学 1
51	天野 詩織	0:42:16	東北大学 1
52	三浦 奈々実	0:42:48	宮城学院女子大学 1
53	恩田 佳子	0:42:51	津田塾大学 1
54	徳光 保奈美	0:43:05	慶應義塾大学 1
55	齋藤 美咲	0:43:08	千葉大学 1
56	長谷川 渚	0:43:58	京都女子大学 1
57	柚木 風南	0:45:29	千葉大学 1
58	外岡 真耶	0:45:32	茨城大学 1
59	安藤 雪	0:45:50	名古屋大学 1
60	中村 有希	0:47:04	筑波大学 1
61	鷺田 季咲	0:50:41	慶應義塾大学 1
62	浅井 瑠那	0:51:06	名古屋大学 1
63	長谷川 凜音	0:51:29	日本女子大学 1
64	山田 果音	0:52:45	慶應義塾大学 1
65	柴田 悠姫子	0:56:02	日本女子大学 1
66	阿部 好花	1:02:06	新潟大学 1
67	森本 麻耶	1:03:19	新潟大学 1
68	小笠原 瑠南	1:16:19	宮城学院女子大学 1
	中原 和奏	DISQ	同志社大学 1
	桂 万由子	DISQ	千葉大学 1

## 2.2 リレー競技部門

MER 出走チーム数 28				
順位	チーム名/記録	1 走	2 走	3 走
1	東京理科大学 2:32:47	光山 大樹 / b 0:54:41 / 11 0:54:41 / 9	堀井 聡一朗 / c 0:48:20 / 1 1:43:01 / 3	中村 涼太 / a 0:49:46 / 3 2:32:47 / 12
2	東京大学 2:33:51	山口 颯大 / b 0:50:54 / 4 0:50:54 / 4	栗田 稜也 / c 0:53:44 / 5 1:44:38 / 5	大森 寛玖 / a 0:49:13 / 2 2:33:51 / 2
3	筑波大学 2:35:44	木明 拓玖 / c 0:50:00 / 3 0:50:00 / 3	斉藤 大己 / b 0:51:54 / 4 1:41:54 / 1	及川 悠太郎 / a 0:53:50 / 6 2:35:44 / 3
4	名古屋大学 2:35:50	柴田 日向 / a 0:48:30 / 1 0:48:30 / 1	鈴木 寛人 / c 0:54:16 / 8 1:42:46 / 2	山本 匠海 / b 0:53:04 / 5 2:35:50 / 4
参	混成 B 2:38:45	小河 凜太郎 / b 0:54:19 / 9 0:54:19 /	石原 尋季 / a 0:50:04 / 2 1:44:23 /	寺嶋 謙一郎 / c 0:54:22 / 7 2:38:45 /
5	東北大学 2:38:57	齋藤 洋紀 / b 0:52:39 / 5 0:52:39 / 5	古角 海志 / a 0:51:50 / 3 1:44:29 / 4	西澤 汰知 / c 0:54:28 / 8 2:38:57 / 5
6	早稲田大学 2:48:07	井口 涼羽 / c 0:52:46 / 6 0:52:46 / 6	福室 凜 / a 0:56:56 / 11 1:49:42 / 6	加藤 遼 / b 0:58:25 / 10 2:48:07 / 6
7	横浜市立大学 2:51:12	女井 岳哉 / c 0:53:22 / 8 0:53:22 / 8	池田 寛大 / b 0:56:39 / 10 1:50:01 / 7	高橋 悠 / a 1:01:11 / 13 2:51:12 / 7
8	慶應義塾大学 2:52:41	金城 大武 / a 0:56:42 / 12 0:56:42 / 10	持地 怜太郎 / c 0:58:01 / 12 1:54:43 / 8	常広 寿哉 / b 0:57:58 / 9 2:52:41 / 8
9	立命館大学 2:56:32	中嶋 伸哉 / c 1:11:17 / 21 1:11:17 / 19	八田 湘斗 / a 0:55:01 / 9 2:06:18 / 10	早川 正真 / b 0:50:14 / 4 2:56:32 / 9
10	神戸大学 3:07:26	發知 慈 / c 1:09:09 / 19 1:09:09 / 17	横江 明弘 / a 0:54:03 / 7 2:03:12 / 9	富田 俊大 / b 1:04:14 / 17 3:07:26 / 10
11	北海道大学 3:09:49	吉野 耀介 / b 0:59:03 / 13 0:59:03 / 11	泉田 弥彦 / c 1:09:44 / 18 2:08:47 / 12	坂本 拓登 / a 1:01:02 / 12 3:09:49 / 11
12	一橋大学 3:13:05	中島 宗一朗 / a 1:02:11 / 14 1:02:11 / 12	吉田 晃平 / b 1:06:55 / 16 2:09:06 / 13	丹治 聖陽 / c 1:03:59 / 16 3:13:05 / 12
13	新潟大学 3:20:08	平塚 空 / c 1:08:33 / 17 1:08:33 / 15	森田 龍雲 / b 1:06:09 / 15 2:14:42 / 14	野口 彰洋 / a 1:05:26 / 18 3:20:08 / 13
14	千葉大学 3:20:31	武富 侑ノ介 / c 1:13:02 / 22 1:13:02 / 20	笛木 悠慎 / a 1:03:50 / 13 2:16:52 / 15	藤ノ木 智大 / b 1:03:39 / 15 3:20:31 / 14

15	岩手大学	3:23:25	山崎 僚太 / b 1:08:55 / 18 1:08:55 / 16	嶋津 光祐 / c 1:12:25 / 19 2:21:20 / 16	清水 豪希 / a 1:02:05 / 14 3:23:25 / 15
16	日本大学	3:24:34	長野 俊青 / c 1:19:04 / 24 1:19:04 / 22	牧戸 悠生 / b 1:05:39 / 14 2:24:43 / 18	大石 涼太 / a 0:59:51 / 11 3:24:34 / 16
17	東京科学大学	3:26:21	飯野 正太郎 / b 0:52:57 / 7 0:52:57 / 7	阿部 稜大 / c 1:15:18 / 20 2:08:15 / 11	永井 律 / a 1:18:06 / 22 3:26:21 / 17
18	広島大学	3:38:59	加藤 優拓 / c 1:06:28 / 16 1:06:28 / 14	大森 洸美 / a 1:16:16 / 21 2:22:44 / 17	井上 風大 / b 1:16:15 / 21 3:38:59 / 18
19	東京農工大学	3:56:53	野村 光佑 / a 1:25:27 / 26 1:25:27 / 23	小田垣 幹人 / b 1:18:49 / 22 2:44:16 / 22	鎌田 芳明 / c 1:12:37 / 20 3:56:53 / 19
20	法政大学	4:09:16	Tatarnikov Mykhailo / a 0:49:04 / 2 0:49:04 / 2	内海 佑太 / b 1:54:11 / 26 2:43:15 / 21	佐野 勇仁 / c 1:26:01 / 23 4:09:16 / 20
21	茨城大学	4:28:48	村田 真之介 / c 1:05:59 / 15 1:05:59 / 13	佐藤 大雅 / b 1:25:36 / 24 2:31:35 / 19	朝岡 俊亮 / a 1:57:13 / 26 4:28:48 / 21
22	金沢大学	4:29:26	鈴木 健太 / b 1:14:19 / 23 1:14:19 / 21	大野 航洋 / a 1:34:38 / 25 2:48:57 / 23	西田 稟 / c 1:40:29 / 25 4:29:26 / 22
23	静岡大学	4:55:00	川出 晃大 / a 1:11:13 / 20 1:11:13 / 18	田沼 凜 / b 1:20:25 / 23 2:31:38 / 20	大石 悠介 / c 2:23:22 / 27 4:55:00 / 23
	混成 A	DISQ	福井 陽貴 / a 1:24:08 / 25 1:24:08 /	新目 裕亮 / c 1:08:35 / 17 2:32:43 /	
	京都大学	DISQ	尾藤 碩 / a 0:54:30 / 10 0:54:30 /	竹林 寛生 / b DISQ / /	杉中 海斗 / c 1:09:46 / 19 /
	北海道大学大学院	DISQ	土田 隼人 / b 1:41:05 / 27 1:41:05 /	小浦 姿 / a DISQ / /	丸山 悠人 / c 1:31:46 / 24 /
	横浜国立大学	DISQ	高野 真人 / a DISQ / /	古吟 健晟 / c 0:53:45 / 6 /	森 創之介 / b 0:47:18 / 1 /

WER 出走チーム数 24

順位	チーム名/記録	1 走	2 走	3 走
1	筑波大学 1:46:33	小野塚 智美 / b 0:37:56 / 1 0:37:56 / 1	山本 美沙 / c 0:37:02 / 5 1:14:58 / 1	山崎 葵 / a 0:31:35 / 1 1:46:33 / 1
2	京都大学 1:57:35	渡邊 朋香 / b 0:39:19 / 2 0:39:19 / 2	黒澤 香穂 / c 0:43:49 / 7 1:23:08 / 4	落合 英那 / a 0:34:27 / 2 1:57:35 / 2
3	お茶の水女子大学 2:04:20	山中 望 / a 0:45:05 / 5 0:45:05 / 5	宮田 鈴子 / c 0:44:04 / 8 1:29:09 / 7	砂田 優萌子 / b 0:35:11 / 3 2:04:20 / 3
4	早稲田大学 2:07:00	吉岡 実沙音 / c 0:45:29 / 9 0:45:29 / 9	佐々木 結佳 / b 0:44:50 / 9 1:30:19 / 8	牧 依瑠香 / a 0:36:41 / 4 2:07:00 / 4
5	東北大学 2:13:21	香西 彩名 / a 0:45:22 / 8 0:45:22 / 8	中西 澄海 / c 0:35:44 / 3 1:21:06 / 3	久保田 結理 / b 0:52:15 / 12 2:13:21 / 5
6	横浜国立大学 2:15:37	大山 凜花 / b 0:50:09 / 17 0:50:09 / 16	中館 美卯 / a 0:36:41 / 4 1:26:50 / 5	陳 子淳 / c 0:48:47 / 11 2:15:37 / 6
7	日本女子大学 2:18:22	濱田 美咲妃 / b 0:49:54 / 16 0:49:54 / 15	林 希華 / a 0:43:38 / 6 1:33:32 / 11	鈴木 万結 / c 0:44:50 / 6 2:18:22 / 7
8	千葉大学 2:19:32	古谷 那奈 / c 0:46:21 / 10 0:46:21 / 10	照井 真実 / b 0:45:35 / 10 1:31:56 / 10	片岡 明日香 / a 0:47:36 / 10 2:19:32 / 8
9	奈良女子大学 2:19:40	齋藤 夢 / a 0:47:08 / 14 0:47:08 / 13	川瀬 智尋 / b 0:33:53 / 1 1:21:01 / 2	野村 優衣 / c 0:58:39 / 14 2:19:40 / 9
10	北海道大学 2:19:46	佐塚 真奈 / b 0:44:16 / 4 0:44:16 / 4	尾本 絢子 / c 0:55:02 / 15 1:39:18 / 12	大音 紗希 / a 0:40:28 / 5 2:19:46 / 10
参	混成 A 2:26:03	押田 美音 / a 0:47:01 / 13 0:47:01 /	梅本 咲希 / c 0:52:27 / 14 1:39:28 /	和田 向日葵 / b 0:46:35 / 9 2:26:03 /
11	名古屋大学 2:26:23	浅野 涼花 / b 0:52:28 / 20 0:52:28 / 18	中野 友貴 / c 0:35:37 / 2 1:28:05 / 6	水谷 奈那美 / a 0:58:18 / 13 2:26:23 / 11
12	東京大学 2:27:25	田中 志歩 / a 0:46:28 / 11 0:46:28 / 11	大野 菜 / b 0:55:46 / 16 1:42:14 / 13	渡邊 陽与 / c 0:45:11 / 7 2:27:25 / 12
13	東京理科大学 2:32:13	植田 朋果 / c 0:45:15 / 7 0:45:15 / 7	西村 美穂 / a 1:00:33 / 20 1:45:48 / 16	山本 佳奈 / b 0:46:25 / 8 2:32:13 / 13
14	横浜市立大学 2:44:40	小泉 陽菜乃 / b 0:46:29 / 12 0:46:29 / 12	菊池 彩実 / a 0:56:29 / 17 1:42:58 / 15	古荘 雪羽 / c 1:01:42 / 16 2:44:40 / 14
参	混成 B 2:48:37	坂本 瑠璃子 / c 0:52:03 / 18 0:52:03 /	山岸 沙映 / b 0:57:23 / 18 1:49:26 /	中島 美結 / a 0:59:11 / 15 2:48:37 /

15	京都女子大学	3:00:16	高木 優彩 / c 0:43:07 / 3 0:43:07 / 3	山添 葵 / b 0:48:02 / 12 1:31:09 / 9	安江 舞莉 / a 1:29:07 / 23 3:00:16 / 15
16	広島大学	3:08:34	佐藤 奈穂 / a 0:45:07 / 6 0:45:07 / 6	坂本 温香 / b 0:57:47 / 19 1:42:54 / 14	田中 仁望 / c 1:25:40 / 22 3:08:34 / 16
17	岩手大学	3:16:43	井上 舞緒 / c 0:52:18 / 19 0:52:18 / 17	本間 雪乃 / a 1:07:10 / 22 1:59:28 / 17	山口 琴子 / b 1:17:15 / 20 3:16:43 / 17
18	相模女子大学	3:17:17	高梨 史重 / c 0:47:18 / 15 0:47:18 / 14	井出 千尋 / a 1:24:59 / 23 2:12:17 / 19	早川 菜都 / b 1:05:00 / 18 3:17:17 / 18
19	茨城大学	3:24:56	松尾 晴菜 / b 0:55:20 / 21 0:55:20 / 19	高橋 民奈 / a 1:27:13 / 24 2:22:33 / 20	湊 菜々子 / c 1:02:23 / 17 3:24:56 / 19
20	一橋大学	3:30:29	渡邊 莉子 / c 1:23:00 / 22 1:23:00 / 20	小島 優唯 / a 0:45:39 / 11 2:08:39 / 18	関和 小菊 / b 1:21:50 / 21 3:30:29 / 20
21	椛山女学園大学	4:23:28	小川 紗愛 / a 2:08:09 / 24 2:08:09 / 21	高田 麻由 / b 1:04:38 / 21 3:12:47 / 21	櫻井 香帆 / c 1:10:41 / 19 4:23:28 / 21
	金沢大学	DISQ	山下 和乃 / a 1:23:03 / 23 1:23:03 /	渡邊 絵乃 / c 0:50:34 / 13 2:13:37 /	西須 心美 / b DISQ / /

MAR 出走子一ム数 121					
順位	チーム名/記録		1 走	2 走	3 走
1	筑波大学 MA	1:22:07	藤原 考太郎 / a 0:26:23 / 2 0:26:23 / 2	田中 雅崇 / b 0:30:12 / 5 0:56:35 / 2	加藤 賢斗 / c 0:25:32 / 2 1:22:07 / 1
2	筑波大学 MB	1:24:12	佐藤 仁 / b 0:30:39 / 11 0:30:39 / 11	堀田 真敏 / a 0:27:48 / 2 0:58:27 / 4	中嶋 啓太 / c 0:25:45 / 3 1:24:12 / 2
3	東北大学 MA	1:24:18	鈴木 悠太 / b 0:30:13 / 9 0:30:13 / 9	宮澤 晃永 / c 0:28:39 / 3 0:58:52 / 5	世古 大介 / a 0:25:26 / 1 1:24:18 / 3
4	東北大学 MB	1:26:58	坪井 亮哉 / a 0:27:34 / 3 0:27:34 / 3	泉谷 光紀 / c 0:27:47 / 1 0:55:21 / 1	塚村 悠希 / b 0:31:37 / 11 1:26:58 / 4
5	東京大学 MB	1:27:23	吉岡 皆那人 / a 0:26:10 / 1 0:26:10 / 1	佐々木 奏太郎 / c 0:31:50 / 7 0:58:00 / 3	山口 歩 / b 0:29:23 / 6 1:27:23 / 5
6	東京大学 MA	1:31:18	町田 涼介 / b 0:33:21 / 19 0:33:21 / 19	吉田 聖悟 / c 0:29:17 / 4 1:02:38 / 8	角谷 拓海 / a 0:28:40 / 4 1:31:18 / 6
7	東北大学 MD	1:33:59	渡部 樹 / c 0:28:09 / 5 0:28:09 / 5	馬場 峻輔 / b 0:34:43 / 19 1:02:52 / 9	佐藤 慶明 / a 0:31:07 / 10 1:33:59 / 7

8	東北大学 ME	1:34:39	蟹江 孝太 / a 0:27:37 / 4 0:27:37 / 4	長山 瑛音 / c 0:32:49 / 13 1:00:26 / 6	荻野 友希 / b 0:34:13 / 22 1:34:39 / 8
9	早稲田大学 MA	1:34:43	福嶋 崇 / a 0:29:23 / 7 0:29:23 / 7	篠原本 / c 0:32:09 / 11 1:01:32 / 7	平田 和嵩 / b 0:33:11 / 17 1:34:43 / 9
10	京都大学 MA	1:35:11	田中 周良 / c 0:29:01 / 6 0:29:01 / 6	町田 禎悟 / a 0:34:31 / 18 1:03:32 / 10	西山 晋平 / b 0:31:39 / 12 1:35:11 / 10
11	名古屋大学 MA	1:35:21	前川 彰吾 / a 0:34:36 / 27 0:34:36 / 26	水野 伶哉 / b 0:32:02 / 9 1:06:38 / 12	寺本 裕哉 / c 0:28:43 / 5 1:35:21 / 11
12	筑波大学 MD	1:42:21	足立 樹 / c 0:32:03 / 13 0:32:03 / 13	蔵田 育 / b 0:35:38 / 22 1:07:41 / 13	北山 桂月 / a 0:34:40 / 24 1:42:21 / 12
13	千葉大学 MC	1:44:00	老野 達哉 / a 0:40:14 / 65 0:40:14 / 60	田中 颯太郎 / c 0:31:51 / 8 1:12:05 / 23	山田 海音 / b 0:31:55 / 13 1:44:00 / 13
14	横浜国立大学 ME	1:44:26	牧野 修也 / c 0:35:02 / 34 0:35:02 / 32	牛田 凜人 / b 0:30:55 / 6 1:05:57 / 11	石井 優斗 / a 0:38:29 / 37 1:44:26 / 14
15	東北大学 MI	1:44:35	石崎 優雅 / c 0:32:10 / 14 0:32:10 / 14	小原 絢樹 / b 0:38:19 / 29 1:10:29 / 20	中島 嶺央 / a 0:34:06 / 21 1:44:35 / 15
16	筑波大学 ME	1:45:24	美濃部 遼 / a 0:30:32 / 10 0:30:32 / 10	佐々木 大良 / c 0:37:33 / 27 1:08:05 / 14	白戸 俊裕 / b 0:37:19 / 33 1:45:24 / 16
17	早稲田大学 MB	1:45:26	齋藤 滉太 / c 0:32:25 / 15 0:32:25 / 15	丸山 拓士 / a 0:39:05 / 33 1:11:30 / 22	清古 光 / b 0:33:56 / 20 1:45:26 / 17
18	東京大学 MC	1:46:38	森下 謙 / a 0:35:00 / 32 0:35:00 / 31	波羅 哲 / b 0:38:40 / 31 1:13:40 / 26	鈴木 耀太 / c 0:32:58 / 16 1:46:38 / 18
19	横浜国立大学 MA	1:46:39	菅田 雄大 / b 0:38:22 / 56 0:38:22 / 52	本田 創也 / c 0:33:45 / 14 1:12:07 / 24	鈴木 航大 / a 0:34:32 / 23 1:46:39 / 19
20	京都大学 MC	1:46:56	坂田 直基 / c 0:40:12 / 64 0:40:12 / 59	佐原 知樹 / a 0:36:50 / 24 1:17:02 / 37	小林 透哉 / b 0:29:54 / 9 1:46:56 / 20
21	東北大学 MM	1:48:13	小松崎 啓太 / a 0:35:41 / 40 0:35:41 / 37	小笠原 啓一 / b 0:34:20 / 17 1:10:01 / 17	山崎 智貴 / c 0:38:12 / 36 1:48:13 / 21
22	筑波大学 MC	1:49:29	山田 雄飛 / c 0:32:43 / 17 0:32:43 / 17	佐々木 晴都 / b 0:40:45 / 41 1:13:28 / 25	宮川 日向 / a 0:36:01 / 28 1:49:29 / 22
23	東北大学 MC	1:49:33	大川 虎之介 / c 0:31:42 / 12 0:31:42 / 12	平岡 祐馬 / b 0:39:20 / 34 1:11:02 / 21	山村 瑛 / a 0:38:31 / 38 1:49:33 / 23
24	東北大学 ML	1:49:47	伊藤 遼大 / a 0:29:51 / 8 0:29:51 / 8	清水 健太 / b 0:46:43 / 62 1:16:34 / 33	須田 敦也 / c 0:33:13 / 18 1:49:47 / 24

25	千葉大学 MA	1:50:47	則貞 知輝 / c 0:44:17 / 72 0:44:17 / 67	鈴木 隼人 / a 0:32:44 / 12 1:17:01 / 36	佐藤 樹 / b 0:33:46 / 19 1:50:47 / 25
26	京都大学 MD	1:50:52	平野 琉一 / c 0:34:28 / 26 0:34:28 / 25	野田 晃司 / b 0:35:02 / 20 1:09:30 / 15	白坂 怜也 / a 0:41:22 / 46 1:50:52 / 26
27	千葉大学 MD	1:53:35	吉永 真梧 / c 0:36:10 / 42 0:36:10 / 39	厚井 健志 / a 0:41:00 / 43 1:17:10 / 38	有吉 功 / b 0:36:25 / 31 1:53:35 / 27
28	北海道大学 MA	1:53:37	溝端 宏司 / a 0:33:39 / 21 0:33:39 / 21	高橋 一生 / c 0:41:05 / 45 1:14:44 / 28	林 紘希 / b 0:38:53 / 40 1:53:37 / 28
29	北海道大学 MB	1:53:54	猪熊 亮佑 / a 0:37:05 / 49 0:37:05 / 46	藤山 涼太 / c 0:40:38 / 40 1:17:43 / 39	根岸 尚矢 / b 0:36:11 / 29 1:53:54 / 29
30	東京理科大学 MA	1:53:57	間宮 一幸 / a 0:33:38 / 20 0:33:38 / 20	草谷 将吾 / b 0:50:40 / 80 1:24:18 / 49	磯貝 遥希 / c 0:29:39 / 7 1:53:57 / 30
31	千葉大学 MB	1:56:21	足立 誠 / a 0:34:15 / 24 0:34:15 / 24	会沢 拓真 / b 0:42:35 / 47 1:16:50 / 35	石井 直輝 / c 0:39:31 / 44 1:56:21 / 31
32	東京大学 MG	1:57:19	近藤 大喜 / b 0:37:25 / 50 0:37:25 / 47	工藤 颯人 / c 0:36:51 / 25 1:14:16 / 27	山邊 晴登 / a 0:43:03 / 51 1:57:19 / 32
33	東北大学 MF	1:58:48	丹波 侑来 / c 0:34:37 / 28 0:34:37 / 27	山口 宗大 / b 0:35:28 / 21 1:10:05 / 19	松元 大空 / a 0:48:43 / 64 1:58:48 / 33
34	横浜国立大学 MB	1:58:56	高田 敦貴 / a 0:33:12 / 18 0:33:12 / 18	中村 稔平 / b 0:43:21 / 50 1:16:33 / 32	脇田 知怜 / c 0:42:23 / 49 1:58:56 / 34
35	名古屋大学 MC	1:59:34	藤田 慶亮 / a 0:43:53 / 71 0:43:53 / 66	久保 智宙 / b 0:43:30 / 51 1:27:23 / 58	和治郎 アレックス / c 0:32:11 / 15 1:59:34 / 35
36	東京大学 MF	2:00:25	漆谷 勇希 / a 0:40:29 / 66 0:40:29 / 61	黒田 悠悟 / c 0:43:08 / 49 1:23:37 / 47	山中 秀仁 / b 0:36:48 / 32 2:00:25 / 36
37	名古屋大学 MB	2:00:56	仲野 太陽 / c 0:39:48 / 63 0:39:48 / 58	小倉 拓也 / b 0:49:10 / 74 1:28:58 / 60	宇野 和輝 / a 0:31:58 / 14 2:00:56 / 37
38	京都大学 ME	2:03:50	森田 歩暉 / c 0:37:38 / 53 0:37:38 / 49	竹山 悠斗 / a 0:48:34 / 71 1:26:12 / 53	清住 尚平 / b 0:37:38 / 34 2:03:50 / 38
39	筑波大学 MG	2:06:02	川村 朝大 / b 0:46:59 / 82 0:46:59 / 76	鈴木 颯太 / c 0:40:03 / 37 1:27:02 / 57	直江 隼輝 / a 0:39:00 / 41 2:06:02 / 39
40	北海道大学 MG	2:06:21	羽田 直樹 / c 0:44:29 / 74 0:44:29 / 69	津田 幹太 / a 0:39:51 / 36 1:24:20 / 50	鈴木 敬太 / b 0:42:01 / 47 2:06:21 / 40
41	東北大学 MH	2:07:14	中野 啓太 / b 0:33:49 / 23 0:33:49 / 23	佐々木 隆乃介 / a 0:35:49 / 23 1:09:38 / 16	原島 裕一 / c 0:57:36 / 81 2:07:14 / 41

42	神戸大学 MA	2:07:52	山野内 拓海 / b 0:40:58 / 69 0:40:58 / 64	黒田 健斗 / c 0:43:05 / 48 1:24:03 / 48	飯田 敬博 / a 0:43:49 / 54 2:07:52 / 42
43	立命館大学 MA	2:08:26	中島 遼 / b 0:38:53 / 59 0:38:53 / 55	丹羽 真士 / a 0:44:39 / 55 1:23:32 / 46	杉浦 将磨 / c 0:44:54 / 56 2:08:26 / 43
44	慶應義塾大学 MA	2:10:10	本多 駿介 / c 0:39:34 / 62 0:39:34 / 57	日吉 勇喜 / a 0:46:55 / 63 1:26:29 / 54	牧原 崇記 / b 0:43:41 / 53 2:10:10 / 44
45	新潟大学 MC	2:10:41	根元 望未 / b 0:38:24 / 57 0:38:24 / 53	中沢 千聖 / a 0:48:09 / 69 1:26:33 / 55	佐藤 汰一 / c 0:44:08 / 55 2:10:41 / 45
46	東京理科大学 MD	2:11:00	手塚 琥音 / b 0:45:39 / 78 0:45:39 / 73	仲本 冬馬 / a 0:41:48 / 46 1:27:27 / 59	矢作 謙伍 / c 0:43:33 / 52 2:11:00 / 46
47	横浜国立大学 MD	2:11:10	櫻井 碧音 / a 0:40:32 / 67 0:40:32 / 62	笠原 稜 / c 0:34:13 / 15 1:14:45 / 29	加藤 幸資 / b 0:56:25 / 78 2:11:10 / 47
48	東京科学大学 MA	2:11:20	澁谷 知貴 / a 0:44:47 / 75 0:44:47 / 70	小杉 亮太 / b 0:50:18 / 78 1:35:05 / 67	大野 真之介 / c 0:36:15 / 30 2:11:20 / 48
49	東京大学 ME	2:11:55	宇田 陽介 / b 0:37:29 / 52 0:37:29 / 48	山下 大輝ラファエル / a 0:49:30 / 75 1:26:59 / 56	中村 仁紀 / c 0:44:56 / 57 2:11:55 / 49
50	横浜国立大学 MC	2:12:35	秋山 拓臣 / c 0:35:29 / 38 0:35:29 / 35	杉本 翔雄 / a 0:47:39 / 64 1:23:08 / 45	今中 雄磨 / b 0:49:27 / 67 2:12:35 / 50
51	混成 MC	2:12:46	武田 啓太 / c 0:56:13 / 99 0:56:13 / 91	青木 悠来 / a 0:40:57 / 42 1:37:10 / 71	下川床 陽也 / b 0:35:36 / 25 2:12:46 / 51
52	東北大学 MN	2:12:48	三木 真聡 / b 0:36:11 / 44 0:36:11 / 41	佐々木 怜 / a 1:00:51 / 94 1:37:02 / 70	川越 天聖 / c 0:35:46 / 26 2:12:48 / 52
53	東北大学 MG	2:13:40	吉葉 誉将 / c 0:32:31 / 16 0:32:31 / 16	西山 佑斗 / b 0:43:56 / 52 1:16:27 / 31	竹田 昂樹 / a 0:57:13 / 80 2:13:40 / 53
54	北海道大学 MF	2:14:52	岩沢 優真 / c 0:40:50 / 68 0:40:50 / 63	遠藤 大誠 / b 0:45:08 / 56 1:25:58 / 52	中橋 暁 / a 0:48:54 / 65 2:14:52 / 54
55	名古屋大学 MF	2:16:11	櫻井 孝樹 / c 0:35:37 / 39 0:35:37 / 36	三井寺 立輝 / a 1:01:33 / 95 1:37:10 / 71	都築 心 / b 0:39:01 / 42 2:16:11 / 55
56	東京理科大学 MB	2:16:44	小池 秀輔 / b 0:47:59 / 89 0:47:59 / 82	川原 慧也 / a 0:50:14 / 77 1:38:13 / 74	東出 侑大 / c 0:38:31 / 38 2:16:44 / 56
57	東北大学 MK	2:19:35	倉本 大地 / a 0:34:52 / 29 0:34:52 / 28	上川名 琉人 / b 0:46:08 / 59 1:21:00 / 40	酒井 敬吾 / c 0:58:35 / 83 2:19:35 / 57
58	一橋大学 MA	2:22:37	古谷 友基 / b 0:41:33 / 70 0:41:33 / 65	奥平 晃聖 / a 1:01:49 / 96 1:43:22 / 79	牟田 悠真 / c 0:39:15 / 43 2:22:37 / 58

59	混成 MD	2:23:19	田岡 諒也 / a 0:51:37 / 96 0:51:37 / 88	佐藤 慶典 / b 0:53:57 / 87 1:45:34 / 85	日比野 兼伸 / c 0:37:45 / 35 2:23:19 / 59
60	横浜国立大学 MF	2:23:59	丹野 瑛太 / c 0:35:47 / 41 0:35:47 / 38	杉本 駿之介 / b 0:34:14 / 16 1:10:01 / 17	牧 大翔 / a 1:13:58 / 97 2:23:59 / 60
61	北海道大学 MC	2:24:31	北村 聡一朗 / c 0:47:26 / 85 0:47:26 / 79	高島 侑杜 / b 0:45:57 / 57 1:33:23 / 64	渡邊 悠希 / a 0:51:08 / 72 2:24:31 / 61
62	筑波大学 MI	2:24:56	三嶋 凜太 / c 0:36:10 / 42 0:36:10 / 39	西澤 和都 / a 0:40:28 / 39 1:16:38 / 34	谷口 元気 / b 1:08:18 / 94 2:24:56 / 62
63	京都大学 MG	2:24:58	滝澤 侑明 / a 0:34:57 / 30 0:34:57 / 29	武久 春馬 / c 0:40:08 / 38 1:15:05 / 30	柿本 源心 / b 1:09:53 / 95 2:24:58 / 63
64	東京理科大学 MC	2:24:59	小島 慧士 / b 0:45:35 / 77 0:45:35 / 72	百田 怜世 / c 0:49:07 / 73 1:34:42 / 66	本多 慶悟 / a 0:50:17 / 69 2:24:59 / 64
65	東京大学 MH	2:25:33	山下 直起 / a 0:38:20 / 55 0:38:20 / 51	北村 駿汰 / c 0:53:11 / 85 1:31:31 / 63	岩佐 佳祐 / b 0:54:02 / 75 2:25:33 / 65
66	日本大学 MA	2:25:41	齋藤 樹 / b 0:39:12 / 60 0:39:12 / 56	宮岡 潮 / a 0:46:15 / 61 1:25:27 / 51	安齋 嘉希 / c 1:00:14 / 88 2:25:41 / 66
67	京都大学 MH	2:26:01	藤井 崇弘 / b 0:36:33 / 47 0:36:33 / 44	中田 真希 / a 0:58:37 / 91 1:35:10 / 68	沖島 遼太郎 / c 0:50:51 / 71 2:26:01 / 67
68	名古屋大学 MG	2:26:08	高野 翔 / b 0:49:47 / 92 0:49:47 / 84	小沢 幸輝 / c 0:54:17 / 88 1:44:04 / 80	笠木 雄介 / a 0:42:04 / 48 2:26:08 / 68
69	筑波大学 MJ	2:26:16	滝沢 和樹 / a 0:44:17 / 72 0:44:17 / 67	佐々木 渉真 / c 0:38:36 / 30 1:22:53 / 44	田所 大樹 / b 1:03:23 / 91 2:26:16 / 69
70	東北大学 MR	2:27:57	池田 千大 / a 0:35:03 / 35 0:35:03 / 33	藤原 佑翼 / b 0:58:41 / 92 1:33:44 / 65	住友 李成 / c 0:54:13 / 76 2:27:57 / 70
71	東北大学 MS	2:28:11	藤田 亘陽 / c 0:47:56 / 88 0:47:56 / 81	門垣 大和 / b 0:51:39 / 82 1:39:35 / 78	山田 歩 / a 0:48:36 / 63 2:28:11 / 71
72	一橋大学 MB	2:30:43	古角 聡太郎 / a 0:50:24 / 94 0:50:24 / 86	谷 悠芦 / c 0:39:25 / 35 1:29:49 / 61	熊田 和貴 / b 1:00:54 / 89 2:30:43 / 72
73	混成 MB	2:33:41	中西 希 / c 0:36:14 / 45 0:36:14 / 42	横竹 凜人 / a 1:17:37 / 106 1:53:51 / 92	杉本 成央 / b 0:39:50 / 45 2:33:41 / 73
74	北海道大学 MD	2:36:32	間部 航大 / b 0:38:04 / 54 0:38:04 / 50	清水 凜翔 / a 1:07:40 / 102 1:45:44 / 86	山本 裕典 / c 0:50:48 / 70 2:36:32 / 74
75	立命館大学 MB	2:36:33	辻田 航 / b 0:58:47 / 103 0:58:47 / 94	島谷 新太 / a 0:52:18 / 83 1:51:05 / 89	松本 徹士 / c 0:45:28 / 58 2:36:33 / 75

76	名古屋大学 MH	2:36:38	磯貝 孝介 / a 0:50:26 / 95 0:50:26 / 87	松下 祐也 / b 0:47:55 / 67 1:38:21 / 75	清水 誠太 / c 0:58:17 / 82 2:36:38 / 76
77	広島大学 MA	2:36:54	岸本 寛太 / c 0:56:14 / 100 0:56:14 / 92	和村 琉心 / a 0:48:53 / 72 1:45:07 / 83	岩本 一葉 / b 0:51:47 / 74 2:36:54 / 77
78	筑波大学 MF	2:37:00	稲川 陸 / b 1:10:08 / 110 1:10:08 / 99	坂本 才樹 / c 0:44:08 / 54 1:54:16 / 93	鈴木 秀明 / a 0:42:44 / 50 2:37:00 / 78
79	筑波大学 MH	2:37:25	久松 麟太郎 / c 0:54:39 / 98 0:54:39 / 90	井川 泰成 / b 0:53:52 / 86 1:48:31 / 87	安慶名 史哉 / a 0:48:54 / 65 2:37:25 / 79
80	立命館大学 MC	2:37:51	鈴木 淳史 / c 0:46:15 / 81 0:46:15 / 75	碓 大晴 / b 1:04:12 / 97 1:50:27 / 88	高橋 岳 / a 0:47:24 / 61 2:37:51 / 80
81	岩手大学 MA	2:38:16	田村 絆 / c 0:47:04 / 83 0:47:04 / 77	大久保 颯良 / b 0:51:34 / 81 1:38:38 / 77	千葉 颯大 / a 0:59:38 / 84 2:38:16 / 81
82	新潟大学 MA	2:40:53	小島 宗慈 / c 0:44:59 / 76 0:44:59 / 71	大石 晃大 / b 1:06:25 / 101 1:51:24 / 90	丹沢 台 / a 0:49:29 / 68 2:40:53 / 82
83	慶應義塾大学 MC	2:41:32	岩淵 大起 / b 0:36:40 / 48 0:36:40 / 45	鈴木 皓稀 / a 1:07:55 / 103 1:44:35 / 82	大野 志温 / c 0:56:57 / 79 2:41:32 / 83
84	東京大学 MD	2:47:20	福田 泰士 / b 0:33:43 / 22 0:33:43 / 22	平松 直也 / c 0:48:18 / 70 1:22:01 / 42	岩鼻 晃樹 / a 1:25:19 / 103 2:47:20 / 84
85	千葉大学 MI	2:47:55	長澤 徳英 / b 0:49:14 / 90 0:49:14 / 83	小口 陽己 / a 1:12:32 / 105 2:01:46 / 95	前川 大地 / c 0:46:09 / 59 2:47:55 / 85
85	新潟大学 MD	2:47:55	三上 晏司 / c 0:46:00 / 79 0:46:00 / 74	金澤 尚暉 / a 0:43:56 / 52 1:29:56 / 62	皆川 真 / b 1:17:59 / 99 2:47:55 / 85
87	茨城大学 MA	2:48:15	小森 淳平 / a 0:47:33 / 86 0:47:33 / 80	佐藤 玲 / c 1:04:52 / 100 1:52:25 / 91	川俣 祐人 / b 0:55:50 / 77 2:48:15 / 87
88	千葉大学 ME	2:49:17	増淵 友汰 / b 0:50:16 / 93 0:50:16 / 85	岡田 晟嗣 / c 0:55:03 / 89 1:45:19 / 84	廣田 時雅 / a 1:03:58 / 92 2:49:17 / 88
89	千葉大学 MH	2:55:43	長浜 翔太 / c 0:54:20 / 97 0:54:20 / 89	古川 拓 / a 0:50:10 / 76 1:44:30 / 81	鈴木 太一 / b 1:11:13 / 96 2:55:43 / 89
90	東北大学 MQ	2:59:00	人見 悠斗 / b 0:38:30 / 58 0:38:30 / 54	水野 陽晴 / c 0:57:22 / 90 1:35:52 / 69	成田 智 / a 1:23:08 / 101 2:59:00 / 90
91	混成 ME	2:59:14	柴田 優弥 / b 1:19:42 / 114 1:19:42 / 103	野村 潤葵 / a 0:48:08 / 68 2:07:50 / 97	塩田 大成 / c 0:51:24 / 73 2:59:14 / 91
92	慶應義塾大学 MB	2:59:21	清水 康介 / a 0:35:06 / 36 0:35:06 / 34	小森 大輔 / b 0:46:08 / 59 1:21:14 / 41	奥田 知輝 / c 1:38:07 / 108 2:59:21 / 92

93	京都大学 MF	2:59:50	松本 智充 / c 1:00:43 / 106 1:00:43 / 96	柳澤 篤 / a 0:37:52 / 28 1:38:35 / 76	保田 晋作 / b 1:21:15 / 100 2:59:50 / 93
94	東京科学大学 MB	3:02:53	大上 笙太 / a 0:47:07 / 84 0:47:07 / 78	古賀 大敬 / b 0:50:33 / 79 1:37:40 / 73	王田 天盛 / c 1:25:13 / 102 3:02:53 / 94
95	東京大学 MJ	3:03:02	鈴木 祥平 / a 1:17:07 / 113 1:17:07 / 102	荒川 琉都 / c 0:45:58 / 58 2:03:05 / 96	山本 航 / b 0:59:57 / 87 3:03:02 / 95
96	名古屋大学 MD	3:10:52	森尾 尚生 / c 0:34:57 / 30 0:34:57 / 29	澁谷 光希 / b 0:47:42 / 65 1:22:39 / 43	都築 奏介 / a 1:48:13 / 110 3:10:52 / 96
97	混成 MA	3:17:24	三宅 峻介 / a 1:13:21 / 112 1:13:21 / 101	岩井 悠太 / b 1:04:25 / 99 2:17:46 / 99	大欠 崇央 / c 0:59:38 / 84 3:17:24 / 97
98	新潟大学 MB	3:37:24	嶋田 響紀 / a 1:36:49 / 116 1:36:49 / 104	木村 直央 / b 0:58:55 / 93 2:35:44 / 102	小山 勇士 / c 1:01:40 / 90 3:37:24 / 98
99	千葉大学 MG	3:38:20	本田 航稀 / b 0:36:22 / 46 0:36:22 / 43	山崎 翔偉修 / c 1:20:14 / 108 1:56:36 / 94	角崎 新 / a 1:41:44 / 109 3:38:20 / 99
99	東北大学 MU	3:38:20	井上 貴仁 / b 0:58:58 / 104 0:58:58 / 95	池谷 伊織 / a 1:09:41 / 104 2:08:39 / 98	三浦 颯太 / c 1:29:41 / 105 3:38:20 / 99
101	横浜国立大学 MG	3:45:05	川島 大輝 / b 0:57:36 / 102 0:57:36 / 93	城戸 遥稀 / a 1:20:50 / 109 2:18:26 / 100	碓井 一成 / c 1:26:39 / 104 3:45:05 / 101
102	日本大学 MB	3:55:36	大辻 一輝 / b 1:06:37 / 108 1:06:37 / 98	高田 慶太郎 / c 1:18:44 / 107 2:25:21 / 101	小倉 健介 / a 1:30:15 / 106 3:55:36 / 102
103	北海道大学 ME	4:12:12	草間 瑛介 / c 1:10:36 / 111 1:10:36 / 100	笛吹 崇晴 / a 1:28:30 / 110 2:39:06 / 103	小島 晴弥 / b 1:33:06 / 107 4:12:12 / 103
104	東京大学 MK	4:18:28	細井 瑛由紀 / b 1:03:18 / 107 1:03:18 / 97	岡野 史 / c 1:58:13 / 112 3:01:31 / 104	堀 智葉 / a 1:16:57 / 98 4:18:28 / 104
	京都大学 MB	DISQ	齋藤 一樹 / b 0:35:26 / 37 0:35:26 /	村中 達 / c 0:32:07 / 10 1:07:33 /	屋敷 龍吾 / a DISQ / /
	千葉大学 MF	DISQ	行平 向來 / b 0:35:01 / 33 0:35:01 /	宝来 悠生 / c 0:41:00 / 43 1:16:01 /	
	東北大学 MT	DISQ	中島 誉人 / c 0:47:44 / 87 0:47:44 /	佐々木 理人 / a 0:47:50 / 66 1:35:34 /	
	東北大学 MO	DISQ	佐々木 俊輔 / a 1:08:00 / 109 1:08:00 /	小川 智也 / c 1:04:24 / 98 2:12:24 /	古里 亮汰 / b DISQ / /
	横浜国立大学 MH	DISQ	松浦 旦陽 / c 0:49:30 / 91 0:49:30 /	工藤 優太 / a 1:57:38 / 111 2:47:08 /	

筑波大学 MK	DISQ	門野 大地 / c 0:57:35 / 101 0:57:35 /	小野下大 / b 2:04:42 / 113 3:02:17 /	
早稲田大学 MC	DISQ	小関 祐也 / a 0:34:20 / 25 0:34:20 /	小林 亮太 / c DISQ / /	奥村 慎 / b 1:05:52 / 93 /
早稲田大学 MD	DISQ	中井 湊 / a 0:37:26 / 51 0:37:26 /	花村 泰駕 / c DISQ / /	平尾 成 / b 0:47:50 / 62 /
名古屋大学 ME	DISQ	神園 遼真 / a 0:39:14 / 61 0:39:14 /	竹村 宥吾 / b DISQ / /	竹内 恒太 / c 0:35:51 / 27 /
早稲田大学 ME	DISQ	木村 康陽 / a 0:46:00 / 79 0:46:00 /		
東北大学 DISQ	DISQ	堀 将大 / b 0:59:02 / 105 0:59:02 /	藪内 陸斗 / c DISQ / /	金子 和真 / a 0:59:45 / 86 /
東京大学 MI	DISQ	木戸 友仁 / b 1:35:14 / 115 1:35:14 /		
日本大学 MC	DISQ	安原 佳祐 / b 2:02:24 / 117 2:02:24 /		
東京科学大学 MC	DISQ	伊藤 康介 / b DISQ / /	山本 菖平 / a DISQ / /	
横浜国立大学 MA	DISQ	山田 和輝 / a DISQ / /	熊谷 周 / b 0:37:19 / 26 /	長谷川 敬祐 / c 0:29:39 / 7 /
筑波大学 ML	DISQ	山元 大地 / b DISQ / /	川勝 健太 / c 0:52:41 / 84 /	島倉 大門 / a 0:46:43 / 60 /
東北大学 MJ	DISQ	増井 健人 / a DISQ / /	田井 俊平 / c 0:38:58 / 32 /	

WAR 出走チーム数 36				
順位	チーム名/ 記録	1 走	2 走	3 走
1	京都大学 WA 1:32:26	杉田 瑠菜 / b 0:35:06 / 7 0:35:06 / 6	久島 典子 / a 0:31:34 / 2 1:06:40 / 3	堀江 花歩 / c 0:25:46 / 1 1:32:26 / 1
2	北海道大学 WA 1:33:45	木村 野乃子 / b 0:28:21 / 2 0:28:21 / 2	齋藤 梢 / c 0:32:57 / 4 1:01:18 / 1	佐藤 愛莉 / a 0:32:27 / 3 1:33:45 / 2

3	東北大学 WA 1:43:39	萬年環 / c 0:35:28 / 8 0:35:28 / 7	杉野舞 / b 0:31:24 / 1 1:06:52 / 4	佐藤若葉 / a 0:36:47 / 6 1:43:39 / 3
4	千葉大学 WA 1:43:42	根本小々菜 / b 0:37:37 / 10 0:37:37 / 9	皆上直香 / a 0:34:03 / 5 1:11:40 / 5	南美羽 / c 0:32:02 / 2 1:43:42 / 4
5	千葉大学 WB 1:53:33	桂万由子 / a 0:41:13 / 13 0:41:13 / 12	高瀬真緒 / b 0:34:52 / 6 1:16:05 / 8	遠藤永子 / c 0:37:28 / 8 1:53:33 / 5
6	京都大学 WB 1:57:48	沼田奈津 / b 0:28:57 / 3 0:28:57 / 3	中西彩寧 / c 0:35:50 / 7 1:04:47 / 2	深沢一葉 / a 0:53:01 / 19 1:57:48 / 6
7	横浜国立大学 WA 1:57:54	柳田紗希 / c 0:33:31 / 5 0:33:31 / 5	奈良崎有香 / a 0:41:17 / 11 1:14:48 / 7	根本莉子 / b 0:43:06 / 12 1:57:54 / 7
8	東北大学 WB 2:03:01	成澤美侑 / a 0:46:21 / 17 0:46:21 / 16	手塚雛姫 / b 0:37:25 / 8 1:23:46 / 10	松尾奏樂 / c 0:39:15 / 9 2:03:01 / 8
9	北海道大学 WB 2:04:01	坏菜緒 / c 0:43:56 / 15 0:43:56 / 14	山崎日菜 / b 0:40:42 / 10 1:24:38 / 11	尾形咲穂 / a 0:39:23 / 10 2:04:01 / 9
10	筑波大学 WB 2:08:44	徳倉朋夏 / c 0:35:40 / 9 0:35:40 / 8	橋本春 / b 0:38:41 / 9 1:14:21 / 6	友田りさ / a 0:54:23 / 20 2:08:44 / 10
11	日本女子大学 WA 2:15:23	高橋暖和 / b 0:53:08 / 28 0:53:08 / 23	山下雪乃 / c 0:32:52 / 3 1:26:00 / 12	諏訪美海 / a 0:49:23 / 17 2:15:23 / 11
12	宮城学院女子 大学 WA 2:17:36	村田颯香 / b 0:42:43 / 14 0:42:43 / 13	菊池ころこ / a 0:50:01 / 17 1:32:44 / 14	渡部知優 / c 0:44:52 / 13 2:17:36 / 12
13	お茶の水女子 大学 WA 2:17:40	北村綾夏 / a 0:50:31 / 24 0:50:31 / 20	池澤菜奈 / b 0:52:07 / 19 1:42:38 / 15	森彩葉 / c 0:35:02 / 4 2:17:40 / 13
14	実践女子大学 WA 2:18:12	兼子照実 / b 0:28:03 / 1 0:28:03 / 1	矢板橋秋香 / a 0:49:06 / 16 1:17:09 / 9	尾形歩美 / c 1:01:03 / 22 2:18:12 / 14
15	名古屋大学 WA 2:25:49	小池響 / c 0:48:30 / 21 0:48:30 / 19	奥村優香 / a 1:00:22 / 22 1:48:52 / 18	永井瑛 / b 0:36:57 / 7 2:25:49 / 15
16	お茶の水女子 大学 WB 2:34:53	立石麗佳 / b 0:55:36 / 32 0:55:36 / 25	町田千優 / a 0:50:10 / 18 1:45:46 / 16	山田幸希 / c 0:49:07 / 16 2:34:53 / 16
17	早稲田大学 WA 2:35:45	齊藤由楽 / a 0:46:32 / 19 0:46:32 / 17	宇野美桜 / c 0:45:21 / 13 1:31:53 / 13	砂川七海 / b 1:03:52 / 24 2:35:45 / 17
18	北海道大学 WC 2:39:56	赤羽舞香 / c 0:37:40 / 11 0:37:40 / 10	福丸真央 / a 1:09:24 / 26 1:47:04 / 17	森安恭子 / b 0:52:52 / 18 2:39:56 / 18
19	奈良女子大学 WB 2:44:36	西野楓香 / a 1:08:35 / 34 1:08:35 / 27	藤若柚寿 / c 0:47:18 / 15 1:55:53 / 22	水野こむぎ / b 0:48:43 / 15 2:44:36 / 19

20	日本女子大学 WB 2:50:15	嵯峨 有梨花 / b 0:38:49 / 12 0:38:49 / 11	長谷川 凜音 / c 1:23:53 / 30 2:02:42 / 24	小倉 歩実 / a 0:47:33 / 14 2:50:15 / 20
21	慶應義塾大学 WA 3:02:03	坂林 千紘 / a 1:36:22 / 36 1:36:22 / 29	山崎 有里彩 / c 0:45:43 / 14 2:22:05 / 26	鷺田 季咲 / b 0:39:58 / 11 3:02:03 / 21
22	京都女子大学 WA 3:08:15	門井 愛子 / c 0:45:16 / 16 0:45:16 / 15	古橋 歩実 / b 1:06:07 / 25 1:51:23 / 20	宮川 里弥 / a 1:16:52 / 26 3:08:15 / 22
23	京都女子大学 WB 3:09:44	堀池 美穂 / a 0:47:57 / 20 0:47:57 / 18	山添 弥生 / b 1:02:32 / 24 1:50:29 / 19	梁川 萌香 / c 1:19:15 / 27 3:09:44 / 23
24	東北大学 WC 3:19:37	高橋 怜 / c 0:51:54 / 26 0:51:54 / 21	岡野 楓華 / a 1:31:08 / 31 2:23:02 / 27	鈴木 聡実 / b 0:56:35 / 21 3:19:37 / 24
25	津田塾大学 WA 3:24:07	内木 睦 / a 0:32:49 / 4 0:32:49 / 4	宮崎 麻実 / b 1:22:15 / 29 1:55:04 / 21	恩田 佳子 / c 1:29:03 / 29 3:24:07 / 25
26	千葉大学 WC 3:28:28	齋藤 美咲 / b 1:04:06 / 33 1:04:06 / 26	柚木 風南 / c 0:56:58 / 21 2:01:04 / 23	大神田 さくら / a 1:27:24 / 28 3:28:28 / 26
27	東北大学 WD 3:31:40	小山 倫佳 / a 1:17:43 / 35 1:17:43 / 28	高橋 咲貴 / c 1:09:40 / 27 2:27:23 / 28	天野 詩織 / b 1:04:17 / 25 3:31:40 / 27
28	奈良女子大学 WC 3:32:32	宮井 沙絵 / c 0:53:05 / 27 0:53:05 / 22	小山 真鈴 / a 1:37:17 / 32 2:30:22 / 29	猪股 珠々那 / b 1:02:10 / 23 3:32:32 / 28
29	同志社大学 WA 3:44:44	近藤 久美 / c 0:54:23 / 29 0:54:23 / 24	松本 和佳 / b 1:12:14 / 28 2:06:37 / 25	中原 和奏 / a 1:38:07 / 30 3:44:44 / 29
	筑波大学 WA DISQ	梅基 結 / a 0:33:39 / 6 0:33:39 /	浦川 沙耶佳 / c 1:00:40 / 23 1:34:19 /	田谷 夏姫 / b DISQ / /
	東京大学 WA DISQ	亀田 万葉 / a 0:50:50 / 25 0:50:50 /	沈 心 / c 0:45:17 / 12 1:36:07 /	
	名古屋大学 WB DISQ	井上 悠生 / b 0:48:34 / 22 0:48:34 /	吉田 真紘 / a 0:55:50 / 20 1:44:24 /	浅井 瑠那 / c DISQ / /
	椋山女学園大学 WA DISQ	佐藤 葉月 / b 0:54:45 / 30 0:54:45 /	朝賀 せり乃 / c 1:53:18 / 33 2:48:03 /	藤村 茉凜 / a DISQ / /
	奈良女子大学 WA DISQ	寺岡 友愛 / a 0:46:28 / 18 0:46:28 /	藤田 真央 / b DISQ / /	根岸 歩可 / c 0:36:31 / 5 /
	日本女子大学 WC DISQ	山下 莉佳 / c 0:49:04 / 23 0:49:04 /	柴田 悠姫子 / b DISQ / /	北澤 亜美 / a DISQ / /
	混成 WA DISQ	一条 理央 / c 0:54:55 / 31 0:54:55 /	齋藤 泉 / a DISQ / /	

**XAR 出走チーム数 18**

順位	チーム名/ 記録	1 走	2 走	3 走
1	筑波大学 XA 1:22:28	栗原 拓未 / a 0:23:21 / 2 0:23:21 / 1	松村 穂咲奈 / c 0:37:43 / 5 1:01:04 / 1	吉川 直希 / b 0:21:24 / 1 1:22:28 / 1
2	東京大学 XA 1:27:31	小畑 萌 / a 0:36:21 / 7 0:36:21 / 5	井村 真岳 / b 0:25:01 / 1 1:01:22 / 2	久米 慧 / c 0:26:09 / 2 1:27:31 / 2
3	北海道大学 XA 1:32:40	槇尾 奏太郎 / c 0:31:32 / 4 0:31:32 / 2	前田 舞 / a 0:33:57 / 4 1:05:29 / 4	地田 朋祐 / b 0:27:11 / 3 1:32:40 / 3
4	早稲田大学 XA 1:41:03	金森 駿介 / c 0:34:55 / 6 0:34:55 / 4	青木 由奈 / a 0:30:14 / 3 1:05:09 / 3	富澤 滉貴 / b 0:35:54 / 4 1:41:03 / 4
5	北海道大学 XB 2:32:19	塚田 健人 / b 0:38:45 / 8 0:38:45 / 6	轟木 沙椰子 / a 1:05:45 / 9 1:44:30 / 5	荒谷 萌音 / c 0:47:49 / 6 2:32:19 / 5
6	岩手大学 XA 2:45:28	安藤 葵 / c 1:12:40 / 12 1:12:40 / 10	飯塚 楓乃 / a 0:53:39 / 8 2:06:19 / 9	山家 楓 / b 0:39:09 / 5 2:45:28 / 6
7	東京理科大学 XA 2:49:44	三浦 花梨 / c 0:47:59 / 9 0:47:59 / 7	小松崎 嵩琉 / b 1:10:20 / 13 1:58:19 / 8	山口 凜 / a 0:51:25 / 8 2:49:44 / 7
8	混成 XA 3:02:56	葭葉 瑛菜 / b 0:53:22 / 10 0:53:22 / 8	松崎 唯子 / a 1:15:32 / 14 2:08:54 / 10	伊東 蓮 / c 0:54:02 / 9 3:02:56 / 8
9	横浜国立大学 XA 3:19:31	久保寺 芭名 / b 1:10:18 / 11 1:10:18 / 9	中嶋 裕介 / c 0:43:43 / 6 1:54:01 / 6	道信 周真 / a 1:25:30 / 15 3:19:31 / 9
10	金沢大学 XA 3:20:58	安部 孝太 / b 0:32:50 / 5 0:32:50 / 3	樋上 凜久 / c 1:23:51 / 15 1:56:41 / 7	余湖 千紘 / a 1:24:17 / 14 3:20:58 / 10
	筑波大学 XB DISQ	松本 修汰 / c 0:29:12 / 3 0:29:12 /	中村 有希 / b 1:58:37 / 16 2:27:49 /	
	東北大学 XA DISQ	石井 雅人 / b 0:21:01 / 1 0:21:01 /	中澤 溪進 / a DISQ / /	石樽 朱莉 / c 0:49:42 / 7 /
	慶應義塾大学 XA DISQ	山田 果音 / a 1:33:47 / 13 1:33:47 /	徳光 保奈美 / b DISQ / /	佐々木 雄汰 / c 1:12:03 / 12 /
	混成 XC DISQ	柿沼 優希 / a DISQ / /	多田 朱里 / c 1:07:05 / 10 /	遠藤 有佳 / b 0:56:45 / 10 /
	混成 XB DISQ	鈴木 湊大 / a DISQ / /	園山 美衣奈 / c 1:10:05 / 12 /	

横浜市立大学 XA DISQ	宮脇 柁哉 / b DISQ / /	市岡 結 / c 0:44:22 / 7 /	渡部 寿哉 / a 1:15:52 / 13 /
千葉大学 XA DISQ	河井 良太 / c DISQ / /	下山 夏季 / b 1:07:59 / 11 /	佐河 宋紀 / a DISQ / /
新潟大学 XA DISQ	早坂 佳夏 / a DISQ / /	安達 楓河 / b 0:27:21 / 2 /	齊藤 春花 / c 1:05:43 / 11 /

BR 出走チーム数 12				
順位	チーム名/ 記録	1 走	2 走	3 走
1	岩手大学 BB 1:30:27	山田 巖 / b 0:40:46 / 8 0:40:46 / 5	安藤 周 / c 0:19:30 / 2 1:00:16 / 2	藤村 倅成 / a 0:30:11 / 4 1:30:27 / 1
2	東北大学 BA 1:31:59	内藤 暁仁 / a 0:23:00 / 2 0:23:00 / 1	中村 匠馬 / b 0:18:30 / 1 0:41:30 / 1	宇内 蒼 / c 0:50:29 / 6 1:31:59 / 2
3	岩手大学 BA 1:53:30	八木 青太 / c 0:25:27 / 3 0:25:27 / 2	鈴木 彩七 / b 1:08:30 / 10 1:33:57 / 6	坂野 佑樹 / a 0:19:33 / 1 1:53:30 / 3
4	新潟大学 BB 2:03:15	大嶋 佑 / c 0:57:39 / 12 0:57:39 / 7	塔岡 颯馬 / b 0:34:45 / 5 1:32:24 / 5	山本 峯真 / a 0:30:51 / 5 2:03:15 / 4
5	広島大学 BA 2:07:08	福原 優果 / b 0:36:50 / 5 0:36:50 / 3	田口 莉子 / c 1:01:50 / 9 1:38:40 / 7	多田 羅里梨 / a 0:28:28 / 2 2:07:08 / 5
6	奈良女子大学 BA 2:31:10	岡野 美希 / c 0:51:06 / 11 0:51:06 / 6	西村 帆湊 / a 0:25:08 / 3 1:16:14 / 3	三浦 七実 / b 1:14:56 / 7 2:31:10 / 6
7	新潟大学 BC 2:57:48	阿部 好花 / a 0:39:53 / 7 0:39:53 / 4	竹川 知里 / c 0:45:32 / 7 1:25:25 / 4	森本 麻耶 / b 1:32:23 / 8 2:57:48 / 7
	茨城大学 BB DISQ	谷口 大翔 / b 0:19:53 / 1 0:19:53 /	安藤 真明 / a 0:39:23 / 6 0:59:16 /	
	茨城大学 BA DISQ	松本 羽奏 / a 0:39:08 / 6 0:39:08 /	外岡 真耶 / c 0:25:15 / 4 1:04:23 /	
	新潟大学 BA DISQ	西野 琉翔 / c 0:36:19 / 4 0:36:19 /	寺田 龍馬 / a 0:54:17 / 8 1:30:36 /	笠輪 峻平 / b DISQ / /
	神戸大学 BA DISQ	川縁 晃誠 / a 0:42:21 / 9 0:42:21 /		

宮城学院女子 大学 BA	長岡 瑞季 / b 0:46:02 / 10 DISQ 0:46:02 /	三浦 奈々実 / a DISQ / /	千葉 愛莉 / c 0:28:50 / 3 /
-----------------	---	---------------------------	-------------------------------

MAS 出走者数 5 名			
順位	氏名	記録	所属
1	宮原 佳孝	1:07:09	静岡大学 1
2	鈴木 豪太	1:07:12	静岡大学 2
3	吉木 嵩裕	1:17:14	名古屋大学 1
4	梅田 紘義	1:30:29	名古屋大学 1
5	室伏 広長	1:40:20	東京農工大学 3

BS 出走者数 4 名			
順位	氏名	記録	所属
1	八島 多佳子	0:29:36	宮城学院女子大学 2
2	安藤 雪	0:36:48	名古屋大学 1
3	小笠原 瑠南	0:53:17	宮城学院女子大学 1
	田中 晴菜	DISQ	宮城学院女子大学 2

WAS 出走者数 3 名			
順位	氏名	記録	所属
1	木村 光里	0:45:17	東京科学大学 1
2	石下 瑠華	0:49:47	金沢大学 1
	藤井 香帆	DISQ	栢山女学園大学 1

# 3

## コース解説

### 3.1 ミドル・ディスタンス競技部門 コース設定者：井土 宙

#### コース設定にあたって

例年がない本格的なミドルを追求した。ミドルコースは以下の 2 点が規則上重要になる。一貫した技術的難易度の高いコントロール位置、中小程度のルート選択。私はこの 2 点のみを基本的に意識してコースを設定した。

2024 年 8 月、ミドルのコースセッターを務めることとなった。そこから 2025 年 6 月までの間、旧図に線（レグ）を引きトレインの特性の把握を尽くした。その後、2 か月かけ回しを決定し、コースを作成した。試走を通じてコースをブラッシュアップさせ、コースが完成した。

#### コース解説

コース解説、入賞者ルートは大会公式 Web サイト。各コントロール間タイムは LapCenter を参照してください。

#### 総括・コメント

私の使命である「青山高原でだせる最高峰のコースの提供」を達成できた。ご参加いただきありがとうございました。

### 3.2 リレー競技部門 コース設定者：祖父江 有祐

#### コース設定にあたって

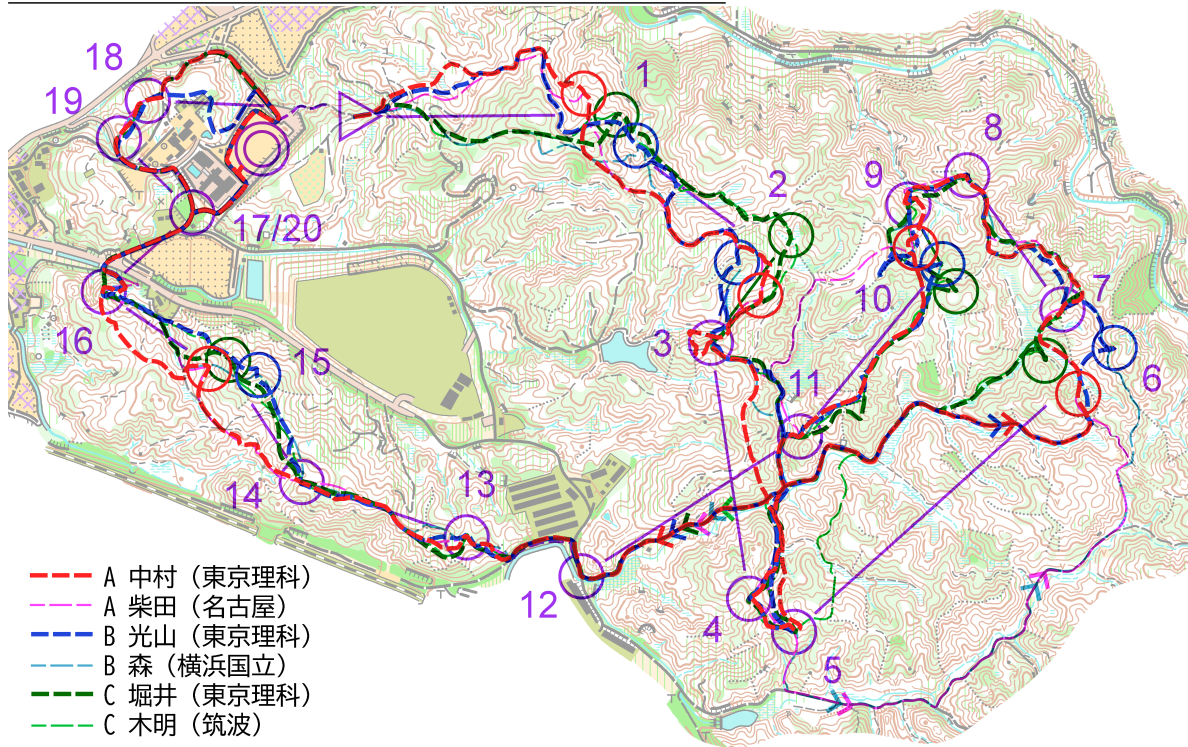
リレー種目特有の競技性である「集団走」が問われるようなコースセットを目指した。特にコントロールへのアタックの難易度を抑えることを心掛けた。

また学生選手権のコースとして、様々な課題が問われるようレグの配置を調整した。特に男子選手権クラスではルートチョイスが課題として問われるようなレグを配置した。意図したとおりルートが分かれ、GPS 中継も相まって観戦性という点からも面白いものとなった。

一方女子選手権クラスは、パターンによるルート差が生じにくいようなコースを設定した。例年の傾向として、特に女子選手権クラスでは 3 走のフィニッシュタイムの差が大きくなりやすい。競技時間が長くなりすぎることは、安全性や観戦性、運営負荷など様々な観点から望ましいとは言えない。結果、優勝校と入賞ラインのタイム差は 30 分以内に抑えられ、コンパクトなレースとなった。

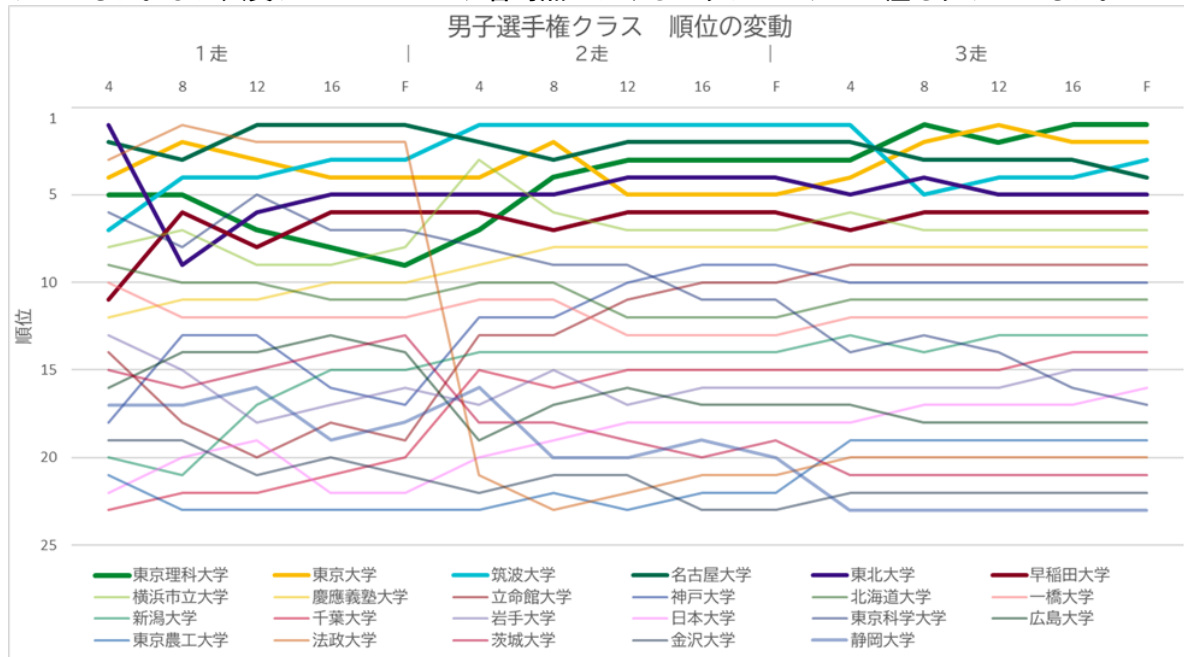
## 男子選手権の部 コース解説

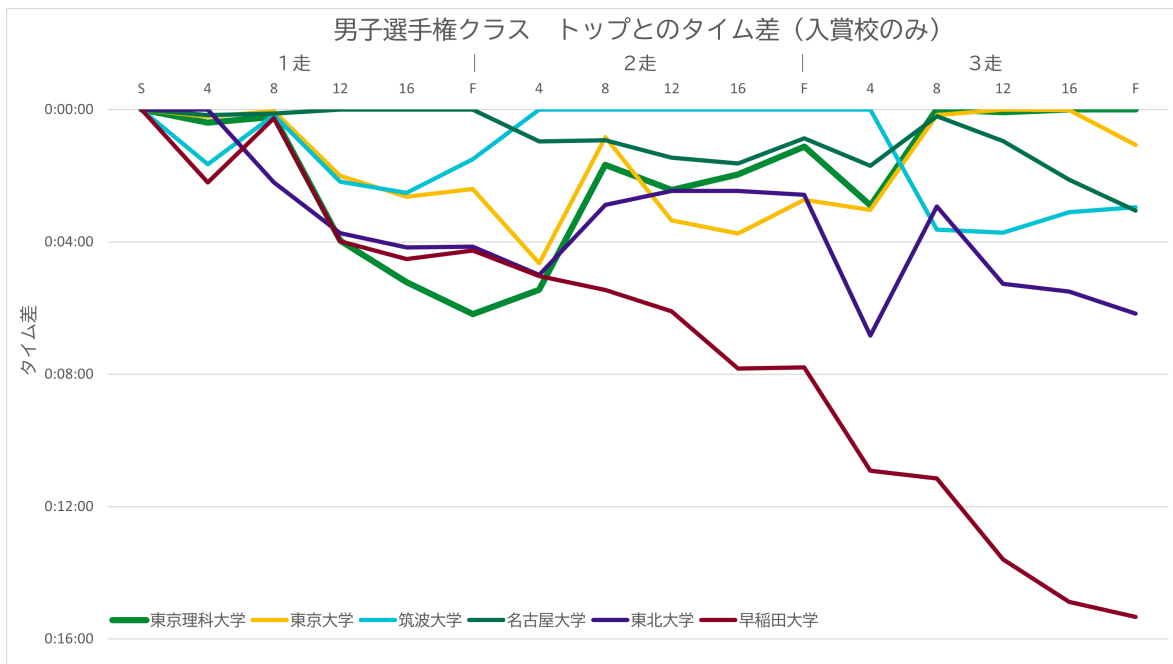
### 優勝チーム・パターン最上位（優勝チームを除く）のルート



### 男子選手権クラス レース展開

全パターンに共通する 4、8、12、16 番コントロールおよびフィニッシュ時点の順位の変動をグラフにした。また入賞チームについて、各時点におけるトップとのタイム差もグラフにした。



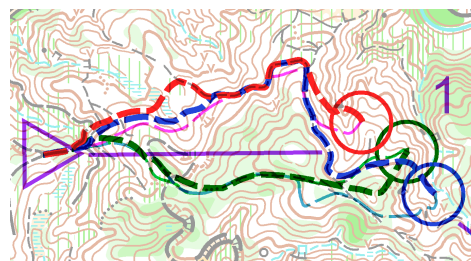
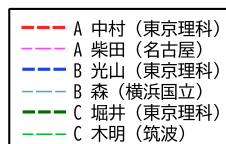


男子選手権クラスでは3走の順位の変動が目立った。優勝の東京理科大学、準優勝の東京大学は2走終了時点ではそれぞれ3位、5位であったが、ロングレグ後の8番コントロール時点には大きく順位を上げている。同コントロールは東京理科大学、東京大学、名古屋大学の3校が12秒以内に通過する接戦となった。そして東京理科大学、東京大学の2校はビジュアルを同時に通過。最終的にビジュアル後の区間で東京理科大学が先行し、同校初の快挙となる優勝を収めた。

### 主要なレグの解説

#### △→1

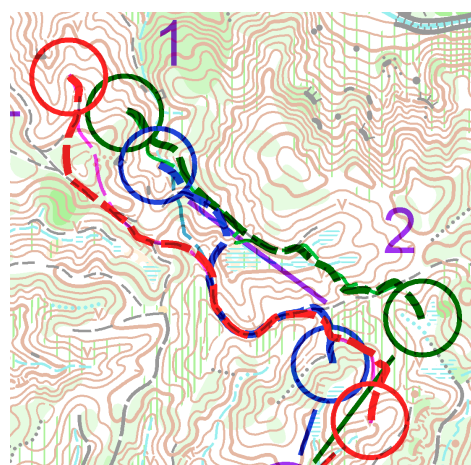
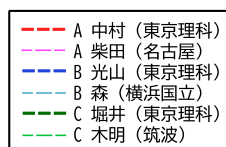
長めのレグで、Aパターンは北から回り込むルートが、B,Cパターンは尾根線上まで登るルートが最速と考えられる。スタートフラッグまでの区間でルートを見極めること、集団に惑わされずに決めたルートを進むことがポイントとなる。



#### 1→2

1番コントロールに続いてこちらもパターンによる違いを設けている。2レグ連続で異なるコントロール位置にしているのは、選手権クラスのコース全体でこの区間のみである。

A, Bパターンはレグ線南の尾根線を、Cパターンはレグ線上の沢線を使うことを想定しており、多くの選手がその通りの動きを見せた。



### 3 → 4

エリア移動のレッグ。早々に道に乗るのが良いだろう。中村選手（東京理科）は尾根上を進んだ結果、約30秒のミスタイムをつけている。

ナビゲーション負荷の低いレッグであるため、5 → 6 のルートを考える時間として使いたい。

---	A 中村 (東京理科)
---	A 柴田 (名古屋)
---	B 光山 (東京理科)
---	B 森 (横浜国立)
---	C 堀井 (東京理科)
---	C 木明 (筑波)



### 5 → 6

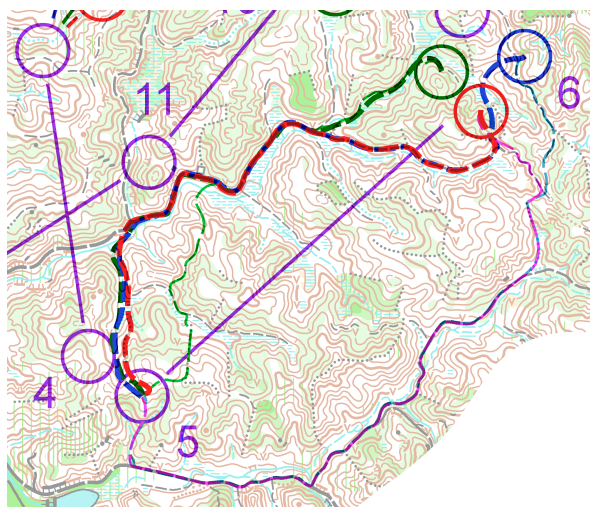
本コース最長のレッグ。レッグ南の道を使うルートとレッグ北の道を使うルートに大きく分かれる。尾根を辿るルートも考えられるが、ナビゲーション負荷の高さや起伏の多さから距離に対して早くないと考えられる。GPS ライブトラッキングを見た限り、尾根を使うルートをとった選手はいなかった。

プランナーの想定では第4コントロール方向に戻り、沢を下り道に乗るルートが最速である。

Aパターンでは中村選手（東京理科）が想定ベストのルートを選択しトップラップを記録している。柴田選手（名古屋）は南の道を使うルートで50秒のミスタイムをつけている。及川選手（筑波）は同様のルートを選択したが、コントロール南東のピークで辿るべき尾根を見逃し7分40秒のミスタイムをつけ、首位から5位まで順位を落とした。

またBパターンでは早川選手（立命館）が、北側の道でCパターンの横を通るルートを選択しトップラップを記録している。南ルートを選んだ2位ラップの森選手に13秒の差をつけた。

Cパターンでは堀井選手（東京理科）が北ルートでトップラップを記録している。木明選手（筑波）は不明瞭な小径を乗り継ぎ道に乗るルートを選択した。こちらもプランナーの想定ルートの一つであるが、距離は抑えられるもののナビゲーション負荷が高く、46秒のミスタイムをつけている。



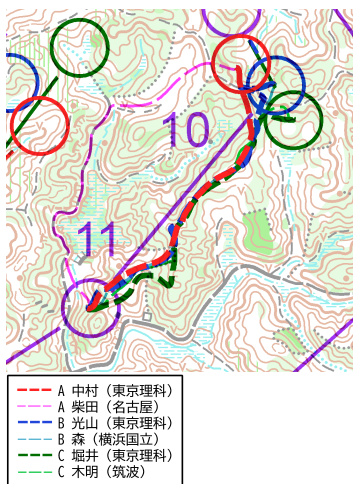
---	A 中村 (東京理科)
---	A 柴田 (名古屋)
---	B 光山 (東京理科)
---	B 森 (横浜国立)
---	C 堀井 (東京理科)
---	C 木明 (筑波)

## 10 → 11

レグ線沿いに尾根をたどるルートが有力となるレグだが、パターンによっては東西の道を使いナビゲーション負荷を抑えることも考えられる。

下り基調でスピードが出やすいため、正しく尾根を辿れるかがポイントとなる。一方で正確に進もうと減速してしまうと、それもまたタイムロスになってしまう。地図から得られる情報の取捨選択が問われる。

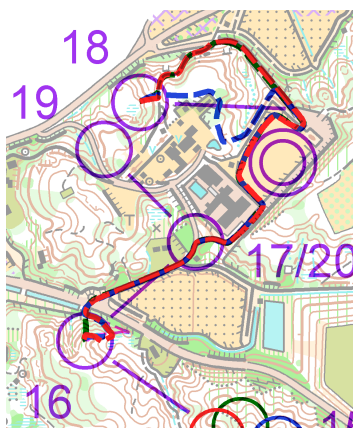
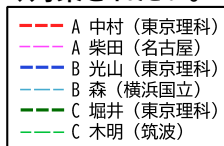
Aパターンの柴田選手（名古屋）は、今回ルートの紹介をする上位選手の中で唯一、西の道を使うルートを選択したが、トップラップを取っている。距離こそ膨らむが登りの口は少なく、走りやすさを加味すると有力なルートであると言える。



## 16 → 17

南の山塊を抜けて会場に戻るレグ。柵の渡可点はコントロール真北方向にあるものの、レグ線方向である北東方向に脱出してしまう選手が男女共に、有力選手も含め多く見られた。レース終盤、会場の熱気も伝わり気持ちのはやるような局面であるが冷静さを欠かず対処されたい。

こういった通行可能な地点の判読はタイムへの影響が大きい。ある程度事前に把握することができるもののためよく対策されたい。



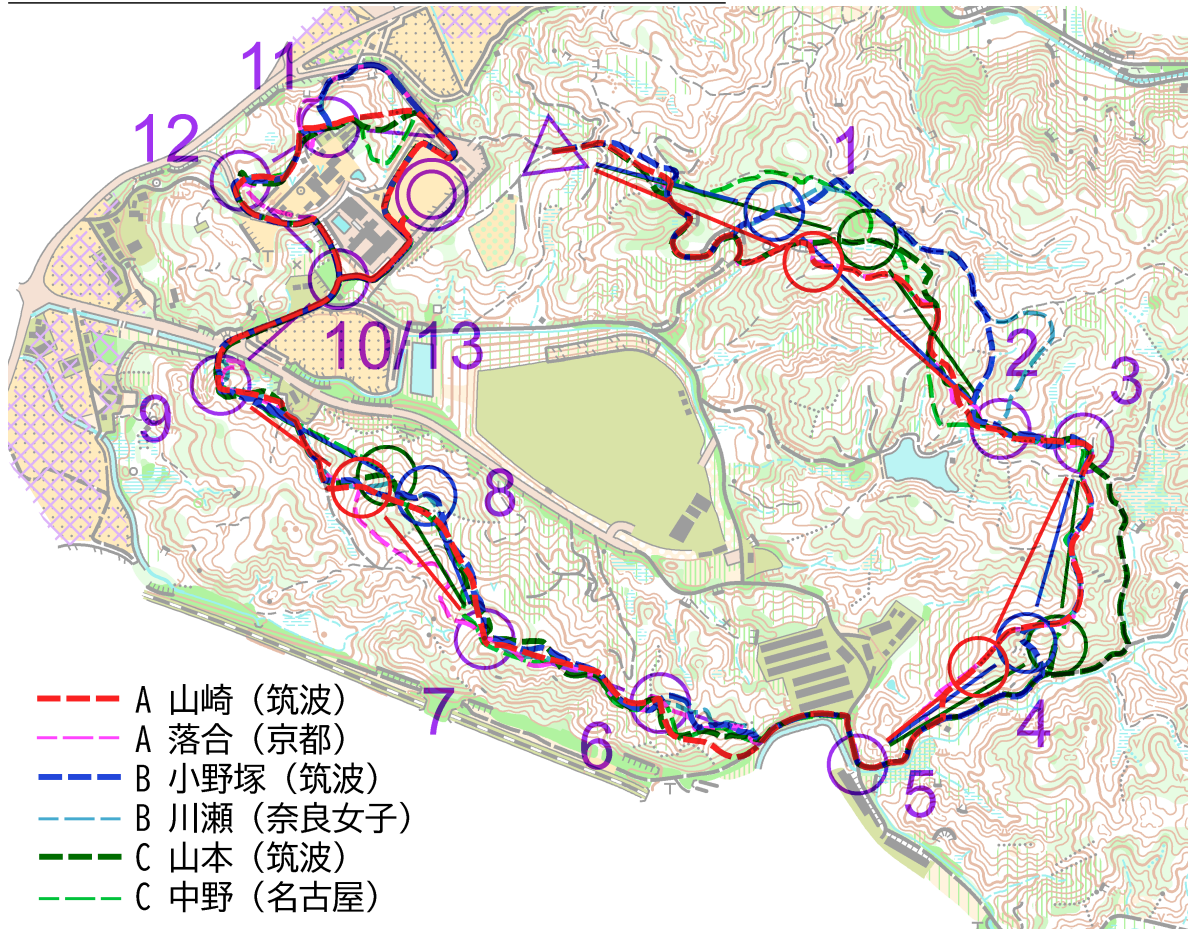
## 17 → 18

会場を通過して最後の回しへと向かうレグ。ビジュアル後は、グラウンドから延びる尾根の終わりから直進するルートを想定ベストとしていたが、多くの選手が道たどりを選択した。

直進、道たどりいずれも登高は約15mと差がないが、走りやすさや難易度の低さから好まれたものと推測される。トップラップは栗田選手（東京大学）で、道たどりを選択している。

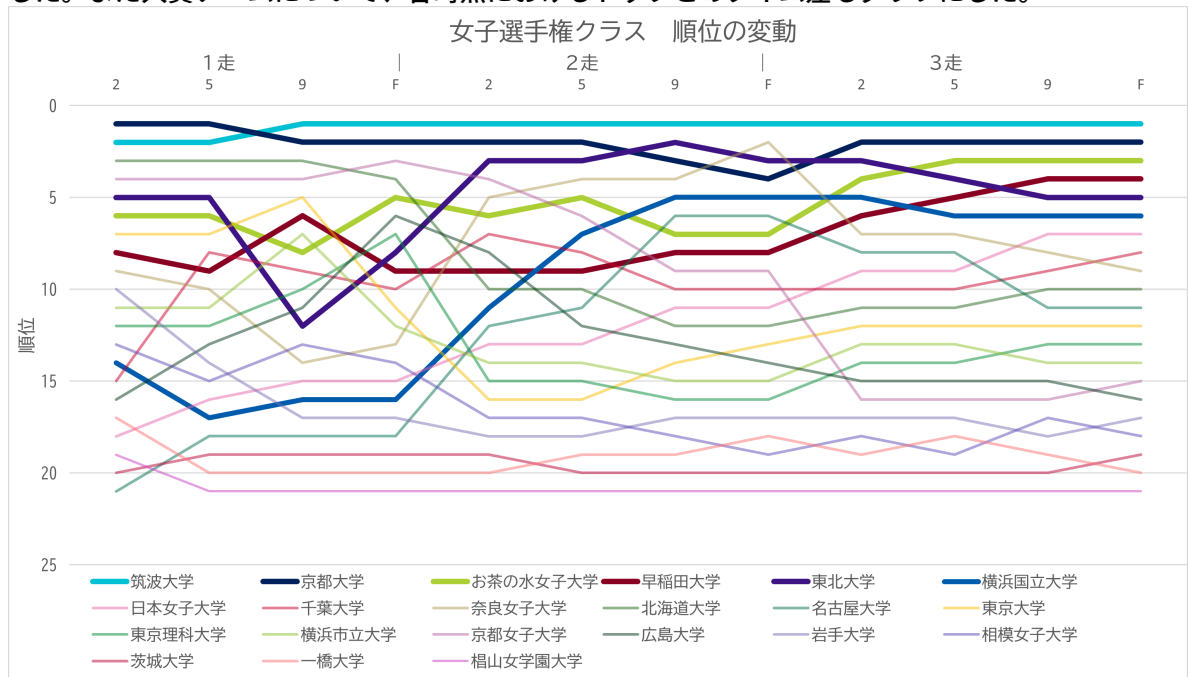
## 女子選手権の部 コース解説

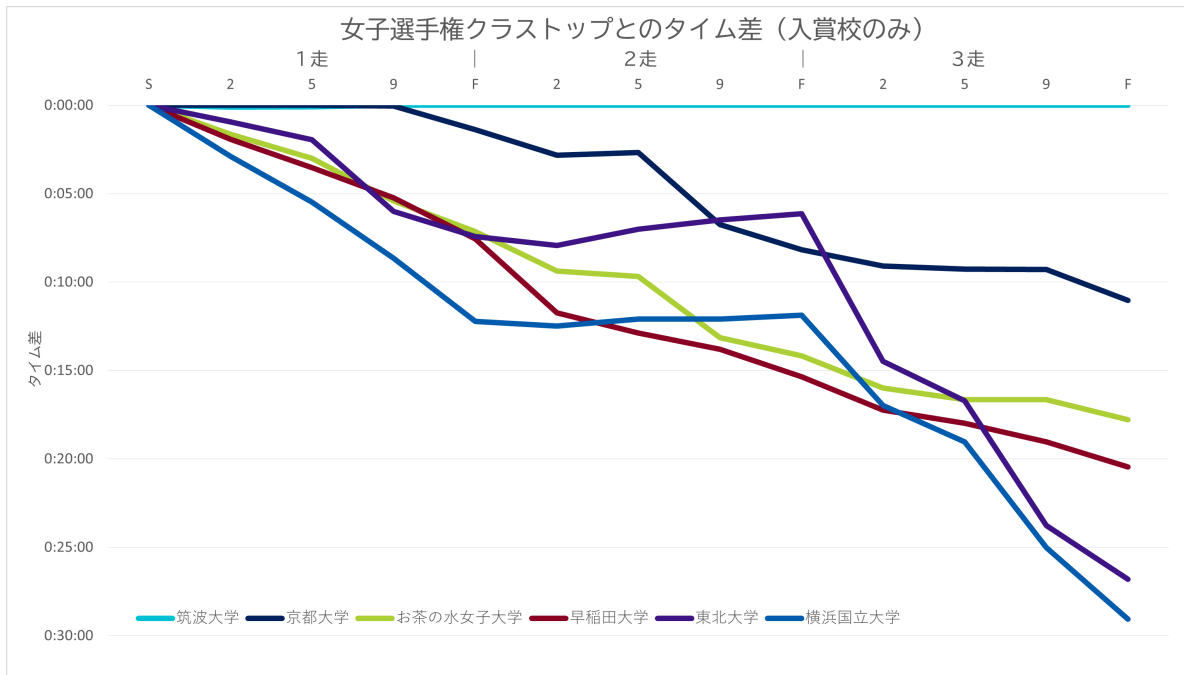
### 優勝チーム・パターン最上位（優勝チームを除く）のルート



### 女子選手権クラス レース展開

全パターンに共通する2、5、9番コントロールおよびフィニッシュ時点の順位の変動をグラフにした。また入賞チームについて、各時点におけるトップとのタイム差もグラフにした。



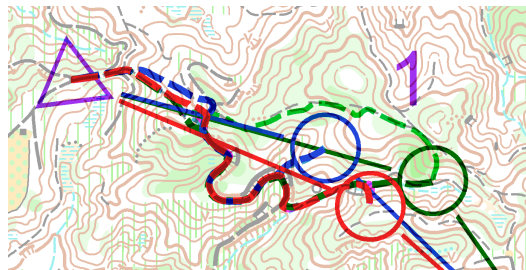


女子選手権クラスでは、男子選手権クラス以上に目まぐるしく順位が変動した。特に各大学のエース選手達の力走によって、大きく順位が上げられていることが印象深い。入賞校に目を向けると、お茶の水女子大学3走・砂田選手（7位→3位）、早稲田大学3走・牧選手（8位→4位）、東北大学2走・中西選手（8位→3位）、横浜国立大学2走・中館選手（16位→5位）と、3～6位の大学はいずれも入賞圏外からの押上げが見られた。一方で優勝した筑波大学は一走終了時点から首位を独走し、見事4連覇の偉業を成し遂げた。

**各レッグの解説**

**△→1**

基本的には道をたどり、それぞれ尾根や沢に入っていくルートを考えている。Bパターンについては、道を辿らずにレッグ線付近を通るルートも想定しており、このルートを取った砂田選手（お茶の水女子）はこのレッグでトップラップを記録。ミスタイムも-0:05と良好である。



- - - A 山崎 (筑波)
- - - A 落合 (京都)
- - - B 小野塚 (筑波)
- - - B 川瀬 (奈良女子)
- - - C 山本 (筑波)
- - - C 中野 (名古屋)

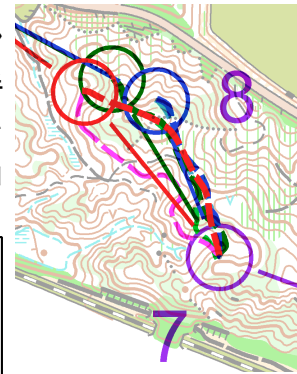
Cパターンの中野選手（名古屋）は道を使わず尾根を直登し上からアタックするルートを取った。プランナーの想定外のルートではあるが、道を使う場合と比べて約70m短いルートとなっている。ラップ解析上のミスタイムは9秒と短いため、登りのロスこそあるもののそこまで悪いルートではないようだ。

## 7 → 8

男子選手権クラスと共通のレッグとなっている。

いずれも尾根を辿るルートが考えられるが、Aパターンに限ってはコンタリングでコントロールにアプローチすることも考えられる。落合選手（京都）はコンタリングのルートでトップラップを記録している。尾根をたどるルートは尾根を離れるタイミングの見極めが難しく、また登高のロスも生じるため、他の2パターンと比べると不利と言える。

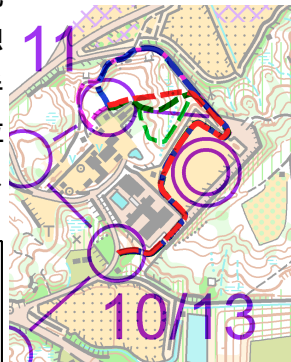
- A 山崎（筑波）
- A 落合（京都）
- B 小野塚（筑波）
- B 川瀬（奈良女子）
- C 山本（筑波）
- C 中野（名古屋）



## 10 → 11

会場を通過して最後の回しへと向かうレッグ。男子選手権クラスと比べ、誘導終了地点に近い位置になっている。こちらでも直進するルートを想定ベストとしている。女子クラス全体で見ると、トップラップの山崎選手がこのルートを取っている。またラップ3位の鈴木選手（日本女子）、4位の山本選手（筑波）も似たようなルートを取っており、ラップ解析のミスタイムはそれぞれ-1:14,-0:27 と好タイムと言える。

- A 山崎（筑波）
- A 落合（京都）
- B 小野塚（筑波）
- B 川瀬（奈良女子）
- C 山本（筑波）
- C 中野（名古屋）



**4.1 大会企画の経緯 実行委員長：松本 萌恵****▼開催地・日程の決定**

今回のインカレは、「インカレを将来にわたって持続可能な形で開催していくための日本学連の常設委員会」である日本学生オリエンテーリング選手権大会サステナビリティ・プランニング・ユニット（以下「インカレSPU」）の開催計画、監督の下で実施された。実行委員会の発足時点でテレイン選定はすでに完了しており、当委員会としては、テレインの初期渉外から始めた。

開催日程については、北海道で開催されたスキー O 世界選手権の時期を考慮し、今回の日程を選定した。

**▼実行委員会の発足**

インカレ SPU の打診により実行委員長、運営責任者、およびコースプランナーが決定されたのち、実行委員会による本格的な大会運営が開始された。三責およびイベントアドバイザーについては 2025 年 1 月時点で内定し、その後、人事責任者や会計責任者など各役職責任者を中心に順次打診を進めた。

運営者の選任にあたっては、開催地に近い関西・東海の若手 OB・OG を中心に集めていった。一方で、渉外責任者については、平日に現地で活動できる人員の確保が困難であったため、SPU の協力のもと、三重県オリエンテーリング協会の谷氏に依頼する運びとなった。栃木県に所在する資材の利用や運営ノウハウの継承という観点から、一部関東の OB・OG にも協力を依頼した。

イベントアドバイザーについては、運営面・競技面それぞれの専門分野を互いに補完する形で、インカレ運営経験が豊富な山本氏（京都 15）と藤本氏（京都 16）の 2 名に依頼した。両氏には大会の成功に向けて多大なる尽力をいただいた。

## 4.2 活動実績（運営） 運営責任者：近藤 花保

### ▼スケジュール

年	月	活動内容	詳細/備考
2024	12	実行委員会発足	インカレ SPU から打診を受け三責決定 テレインを「青山高原」とし渉外開始
2025	3	第 1 回現地渉外	以降複数回現地渉外を実施
	5	要項 1 公開	25 日
	11	要項 2 公開 エントリー	13 日 11 月 13 日～1 月 12 日
	12	地図修正完了	20 日
		第 2 回試走	27 日
2026	1	第 3 回試走	24 日
	2	要項 3 公開、テクミ代替資料公開、 安全対策資料公開 2 週間前準備	27 日  2 週間前準備（28 日・3 月 1 日）： 地図の確認、リレー地図封入作業、配 布物準備
	3	パート MTG 実施  1 週間前準備  前日準備  当日 後片付け	パート MTG（2 週間前～当日まで）： オンラインで各パート＋三責で開催 1 週間前準備（7 日・8 日） 全コントロール設置、ポ確 前日準備（13 日）： 会場設営、ステーション設置 14 日・15 日 16 日

### ▼渉外

本大会の渉外は三重県協会の谷氏を運営に加え、上津地区市民センターはじめ地元関係者と森林組合への連絡を行っていただいた。主な渉外内容としては、地元関係者および森林組合との調整だった。地元の会合が平日に行われるため、実行委員会を代表して谷氏に現地対応を行っていただいた結果、問題なく大会を開催することができた。また実行委員長の松本により、各渉外先への綿密なコンタクト（電話・メール・現地渉外）を行い、1 年間かけて会場をお貸しいただいた神村学園様、上津地区市民センター様との関係性構築を行った。松本の活動抜きに本大会の開催は不可能だっただろう。

### ▼資材調達

資材調達に関しては、オリエンテーリング関係者（YMOE 社、サン・スーシ様）からのレンタル、その他の業者からのレンタル、購入の方法で行った。

本大会は、YMOE 社の拠点から遠方での開催のため、YMOE 社からの資材の大量輸送は困難であることを踏まえて、YMOE 社からのレンタル備品は必要最小限とし、その他の業者からのレンタル、購入の割合を関東での大会開催と比較して多くした。

主な備品の調達方法は以下のとおりである。

- ・SIカード、SIステーション、オンラインコントロール、フラッグ：サン・スーシ様
- ・机・椅子・テント：神村学園様、上野運動公園スポーツセンター
- ・仮設トイレ：その他の業者
- ・その他物品：YMOE社、坂野山遊地図企画

購入備品は、プラスチック段ボール、段ボール、紙類、賞品、花束、等である。ホームセンターやAmazon等のネット通販で購入した。

### **反省点と提言**

青山高原はICMR2021にて使用された実績はあったものの、その渉外方法はYMOE山川氏が握っており、本大会は渉外方法をゼロから模索するところから始まった。平日昼間の渉外活動が可能な人材はインカレ運営者の中では非常に限られており、本大会の渉外方法が持続可能であるとは言えない。今後青山高原の渉外は業者へ委任する方針であり足元の課題は解決されるが、今後のインカレでも同様の課題が生じる可能性があることは主催者である日学が把握しておくべきと考える。

インカレではインカレ特有の資材が多く、そのほとんどがYMOE社が管理しているため、資材責任者を現地に近い東海とYMOE社の倉庫に近い関東に在住している2人に依頼した。思惑通り、青山高原現地での資材調達と関東での資材調整の役割分担がうまく機能し資材調達、配置、撤収を行うことができた。また、三責による資材片付けのシミュレーションを行っており、当日は素早く資材を撤収し関東に送り出す準備をすることができた。インカレ資材をYMOE社に管理いただいている以上、関東以外の地方でのインカレ開催では資材の負担が非常に大きい。三責および資材責任者の事前準備により運営者の負荷が大きく変わるため、事前の綿密な準備が必要であると思われる。

本インカレでは実行委員会の立ち上げ前に、パートごとの仕事や負担になる仕事を把握し、クリティカルな作業を行うパートにはベテランを配置するなどの工夫を行った。人事配置により事前準備の進捗は大きく変わると思われ、三責による運営全体像の把握は行っておくべきだと考える。

## **4.3 活動実績（競技） 競技責任者：二俣 真**

### **▼はじめに**

ミドル競技：競技成立、調査依頼0件

リレー競技：競技成立、調査依頼5件\*

\*参考：[icmr2025\\_complaints.pdf](#)

両日とも全てのクラスで競技成立した。リレー競技では男子選手権クラスで調査依頼が5件提出された。詳細は上記リンクを参照。また、リレー競技ではリスタートは1チームのみ（選手権の部1チーム、一般の部なし）だった。競技責任者としてインカレに相応しい場を用意できたと考えている。

### **▼主な大会運営スケジュール**

本大会の主なスケジュールは以下の通りである。地図修正は西村様、地図印刷は宮西様、ゼッケン印刷はYMOE様に依頼した。地図印刷は第2回試走時に3つ（ラクスル、宮西様、羽鳥様）の印刷品質および価格を比較し、宮西様に依頼することとした。

## 競技関連のスケジュール

日付	内容	備考
5/25	要項 1 公開	
9/27,28	第 1 回試走	地図の修正が必要な範囲の確認も実施
11/13	要項 2 公開	
12/20	地図修正完了	伐採が多少あったものの、問題なし
12/27	第 2 回試走	ウイニングの確定、コースは 8 割完成
1/24	第 3 回試走	点特などのサイズ測定がメイン
2/10	地図入稿	
2/27	要項 3 公開、テクミ代替資料公開、 安全対策資料公開	
2/28-3/1	2 週間前準備	地図の確認、リレー地図封入作業
3/7-8	1 週間前準備	全コントロール設置、ポ確
3/13	公式掲示板公開	
3/13-15	大会当日	

### ▼コースセットおよび地図に関して

CP にミドル、リレーのコースファイルを作成してもらい、競技責任者が 1 つのコースファイルに統合した。少し手間ではあるが、隣接コントロールの存在やコントロール番号の重複といった問題が生じるリスクを考えると 1 つのコースファイルにまとめた方がよいと感じた。また、本来は競技責任者の担当な気がするが、CP の祖父江が OCAD でのレイアウトファイルを作成した。これには非常に感謝している、ありがとう。

宮西様への入稿は OCAD で実施した。印刷業者への入稿は pdf 形式だったため、宮西様が出力した pdf を最終確認し、印刷を依頼した。宮西様の地図は耐水紙であり、地図の発色もよいと感じた。しかし、紙質が多くの大大会で使用されているマット紙とは異なり、試走時には初めて使用すると地図を折ることに違和感を感じるとの意見もあった。そのため、モデルイベントで同様の紙を使用し、紙質に慣れてもらうこととした。併設大会に参加された方は少し驚かれたかもしれないが、容赦して頂きたい。

### ▼安全対策に関して

本大会でのリスクは 3 点あると考えた。以下にそれぞれに対する対策を示す。

#### ①競技中の怪我

対策：ユニバスの医療従事者派遣制度を利用した。医師の方に会場に滞在して頂けたため、傷病者に対して迅速な対応をとることができた。本大会では医師以外で容態が判断できない傷病者が 2 名いたため（内 1 名は医療従事者同行のもと、総合病院に搬送）、制度を利用するべきだと強く感じた。

#### ②道迷い

対策：安全対策資料を作成、公開した。また、テクニカルミーティング代替資料および公式掲示板で安全対策資料を読むように周知した。各大学のオフィシャルがきちんと対策資料を読んでくれたように感じている。

#### ③養鶏場への侵入

対策：養鶏場の周りに立入禁止テープを巻き、地図上にも表記した。また、テクニカルミーティング代替資料で該当エリアを明示した。

## ▼テクニカルミーティングの開催方法に関して

例年通りテクニカルミーティング代替資料を公開することとした。質問は 8 校から合計 24 件寄せられた。競技責任者からどのような回答がなされそうか、ということを考えればもう少し質問の数は減らせるのではないかと感じている。

## ▼本大会で実施した取り組みに関して

以下 2 点を本大会では実施した。それぞれに対する所感を述べる。

### ①選手権待機所内へのバッグドロップの設置

例年チームオフィシャルが選手の荷物を待機所から会場まで輸送しているが、選手権出場者が多い大学のチームオフィシャルは荷物の輸送負担が大きい。また、待機所は 1 度出ると再入場できないため、レース後の選手が着る上着がなかなか届かない等の問題がある。本大会は会場と待機所が近かったため、バッグドロップエリアを設け、運営者で荷物を輸送することとした。チームオフィシャルの負担軽減にはなったのではないかと感じている。しかし、必要か疑わしい量の荷物を待機所に持ち込む大学もあった。それらの荷物があると、迅速に送り届けたい荷物の輸送が妨げられるため、必要なものだけを持ち込んで頂きたいと感じた。無理にバッグドロップを実施することは運営者の負担となるため、次回以降のインカレでも実施するべきとは考えない。実際、会場に輸送した多くの荷物は選手がフィニッシュした後もなかなか回収されていないように見受けられた。

### ②ミドル選手権、スタート地区までの距離の非公開

スタート地区までの距離を公開すると、スタート地区の特定が容易になると考え、距離の公開を控えた。テクニカルミーティング代替資料への質問として、スタート地区までの距離に関する質問がなされたため、公式掲示板でスタート地区までの徒歩での所要時間を公開することとした。待機所入場締切からトップスタートまでかなり時間に余裕があるため、ウォーミングアップや補給のタイミングへの影響は軽微であると考えていたが、公式掲示板等で前日までに公開する方が望ましいのではないかと感じた。

## ▼コースパターンに関して

本大会では男子選手権、女子選手権のパターン振りを 3 つとした。例年は 3×3 の 9 パターンのため、前回大会と比較して適切なパターン数であったかを検討する。

### 【結論】

パターン数が 3 つでも競技性は担保されていたと考える。しかし、パターン振りの数は各インカレで毎回検討するべきである。

### 【パターンの数に関して】

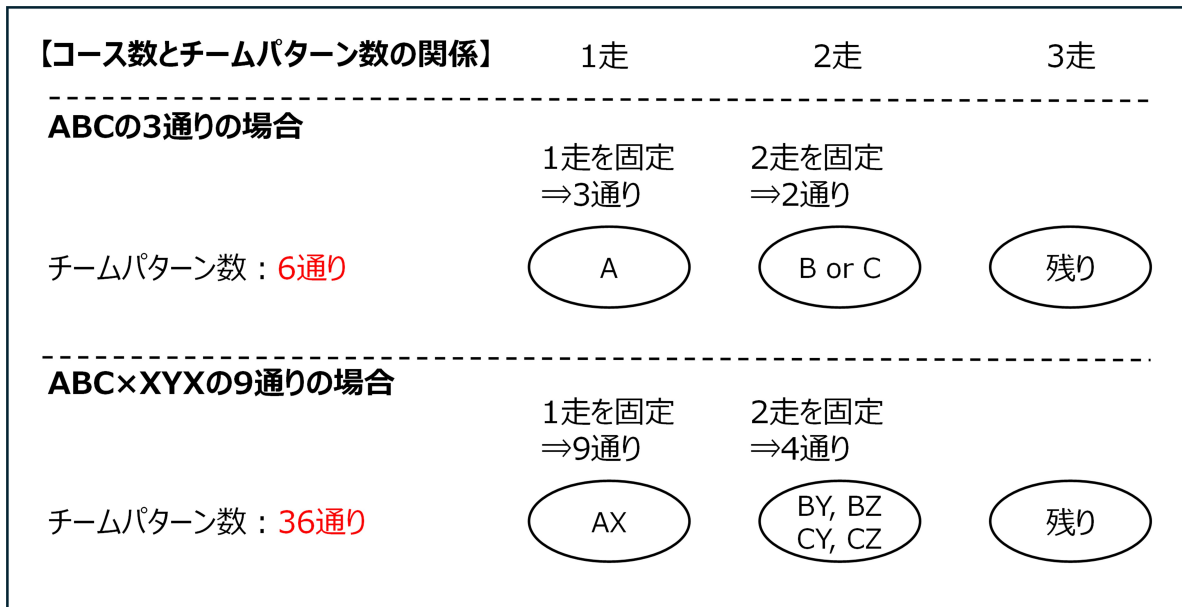
パターン振りが 3 つの場合と、9 つ (3×3) の場合を比較してみる。なお、チーム数は全 30 チームと仮定する。

#### ①各走者のパターン数

パターン数が 3 つ、チーム数が 30 チームの場合、10 人の集団が 3 つできる。パターン数が 9 つ (3×3) の場合、10 人の集団が 1 度はできるが、その集団がさらに 3 つに分裂する。パターン数が 9 つ (3×3) の場合は全く同じコースを走る選手が少ないという点は勿論、併走している選手が全く同じパターン振りであるかが分らない、という点がナビゲーションに影響するのではないかと考える。

レース後に一部の選手にヒアリングを実施したが、競技が終了するまでパターン数が 3 つであることに気づかなかった、という選手が大半であった。そのため、「併走している選手が全く同じパターン振りであるかが分らない」という部分をパターン数が 3 つであってもある程度は担保できていたのではないかと感じた。しかし、コース名を見てパターン数を競技中に推測していた選手もいた (地図中にはコース名は MER-a の様に記載していた)。

#### ②チーム全体としてのパターン数

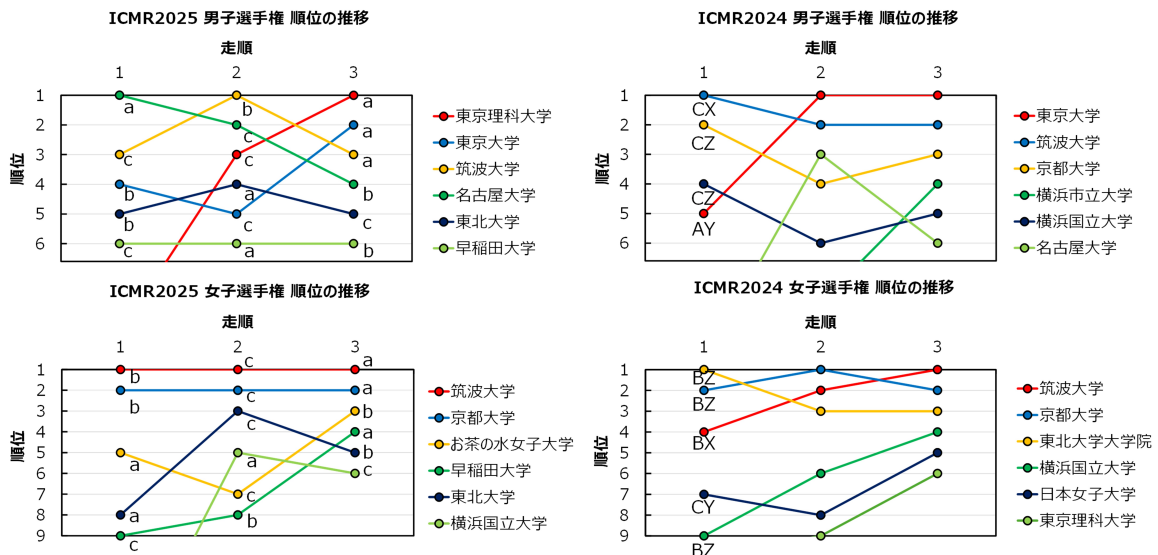


上図に示すとおり、パターン数が3つの場合チームパターン数は6通り、パターン数が9つ(3×3)の場合チームパターン数は36通りになる。則ち、パターン数が3つの場合、5チームは全く同じパターン振りとなる。

例えば、ICMR2025MERでは、東京理科大学、東京大学、北海道大学、岩手大学、東京科学大学の5校のチームパターン振りと同じ(b-c-a)であった。一方でパターン数が9つの場合、全く同じパターンとなるチームは存在しないか、多くても1チームとなる。

同じコースを走る走者が多いと、各パターンで集団が固まってしまい、上手な選手がいる(もしくは多い)集団が先行しやすい状況が発生すると考えられる。則ち、上手な選手が多い集団を引いたチームが有利になる、という状況が生じやすい。そのような展開になったのか、入賞チームの順位推移を見ることで検討してみる。

### 【入賞チームの順位推移に関して】



上図に ICMR2024, 2025 選手権の部の順位推移を示した。

男子選手権に関して、1走で各パターン振りの選手が固まってレースを進行したような状態は見られなかった。なお、3走に注目すると東京大学と東京理科大学が共に前を追う展開となった。

女子選手権に関して、1走で筑波大学と京都大学が3位以降に大差をつけて帰還した。力のある選手同士が同じパターンとなったことで他の集団と差がついてしまったのではないかと考える。

パターン振りが少ないことで、一部の選手が集団になりやすい状況が生まれた可能性がある。しかし、同じパターンの選手が集団でレースを展開することはリレー競技の特徴でもある。上図およ

び各種結果を見る限り、上手い選手にずっと付いていったことで上位に入った、というようなチームはおらず、競技性は担保されていたのではないかと考えた。

#### 【まとめ】

パターン数が3つであっても、各パターンが独立した集団となってレースが展開する、ということはないと考える。しかし、上手な選手同士が同じパターンであると、他チームとの差が大きく広がると考えられる。また、パターン振りが同じ選手になにも考えずについていく、というような状態が生じることは望ましくないため、それらを防ぐためには3つ以上（3×3等）のパターンを用意することがよいのではないかと考える。なお、これらは各コースの難易度が同程度に設定されていることが前提である。

#### 【参考】

日本オリエンテーリング実施規則 13 条コース 6 項

リレー競技では、コントロール順はチームによって別々の並びになるが、全体としては全チームが同じコースを走ることになっていなければならない。トレインとコース・コンセプトによっては、各走区の距離が大きく異なるようにしてもよいが、優勝設定タイムは規定通りになるようにする。走区の距離が大きく異なる場合、その走区ごとの距離の配列は、全チームで同一でなければならない。

### 4.4 会計 会計責任者：吉仲 瑞貴

本項では、本大会における会計状況について簡潔に報告する。

#### 決算概要

2026年5月19日時点において約233万円の黒字を見込んでいる。なお、補助額は延べ運営者を未集計のため予算額で計算しており、その他項目についても10万円程度の増減の可能性がある。

#### 収入

項目	予算（2025年11月11日時点）	決算（2026年5月19日時点）
学生参加費	¥7,254,500	¥7,530,000
併設参加費	¥1,840,000	¥1,747,200
レンタル料金	¥225,000	¥444,600
広告費	¥654,000	¥564,000
販売収入	¥155,000	¥113,300
合計	¥10,128,500	¥10,399,100

## 支出

項目	予算（2025年11月11日時点）	決算（2026年5月19日時点）
地図製作費	¥500,000	¥473,600
地図印刷費	¥420,000	¥757,542
交通費	¥1,682,756	¥1,110,058
印刷・資材費	¥1,985,814	¥1,702,061
施設利用費	¥896,780	¥307,971
賞品	¥385,360	¥190,690
宿泊費	¥2,715,000	¥1,715,730
雑費	¥798,030	¥1,065,534
補助	¥593,000	¥738,500
<b>合計</b>	<b>¥9,976,740</b>	<b>¥8,061,686</b>

### 予算案の策定

本大会の予算策定において例年と異なる部分は下記であった。

- ・日本旅行による宿泊交通幹旋の利用の中止

これを考慮し、大会単体での収支が微黒字となるように予算案を策定した。

### 収入詳細

予算策定の段階では、2025 年全日本オリエンテーリング選手権大会会ミドルディスタンス部門での事故や 2025 年度の熊に関するニュースを踏まえ、昨年度の参加者実績 772 人から約 10%減の 700 人程度の参加者数を見込んでいた。しかし、実際の参加者数は想定を上回る約 740 人となり、おおむね予算通りの収入を得ることができた。（約 27 万円の増収ではあるが、正味レンタル費用と相殺される SI レンタル料金が約 22 万円の増収であり、ほとんどが予算通りの収入となった）

### 支出詳細

収入と比べ、支出については予算との乖離が大きいため、特に大きな乖離があった、地図印刷費、交通費、施設利用費、宿泊費について詳細に説明する。

**地図印刷費：** 予算段階から印刷枚数が約 3,000 枚から約 4,000 枚に増加したこと、単価が 140 円から約 160 円に上昇したことが主な要因である。

**交通費：** 予算段階ではタイムズカー（旧タイムズカーシェア）の値上げを重く見たことと、関東からの準備参加者がすべて新幹線を利用することを想定したことから高く見積もっていた。しかし、実際には自家用車を利用させていただいた運営者が多かったことや、新幹線の利用回数が想定より少なかったことから、約 57 万円の減少となった。

**施設利用費：** 施設利用費には、参加者の駐車場料金の延長として、輸送のバスの料金を含んでおり、これが乖離の主な要因となっている。予算段階では約 70 万円のバス料金を見込んでいたが、実際には約 20 万円程度のバス料金で済んだ。

**宿泊費：** 予算段階ではすべての試走と準備で宿泊を伴うことを想定していたが、実際には前週準備のみ宿泊を伴い、その他の試走は日帰りで行うことができたため、約 100 万円の減少となった。

## 総括

支出面で予算と決算に乖離が生じたことは反省点ではあるものの、収入面では予算通りの収入を得ることができたため、全体としては約 233 万円の黒字を見込むことができた。本大会ではテレインの場所も影響し、日帰りで土日の試走を行うなど支出を抑えることができたが、今回をモデルケースとし、安易に参加費を下げることは避けるべきであるとする。

### 5.1 はじめに

今回のインカレは3役を始めとした非常に優秀な運営者による安定した運営がなされ、準備期間も当日も滞りなく進んでいた。地元関係者との大きなトラブルはなく、競技では調査依頼は出たものの提訴はなかった。本インカレも「成功」だったと総括して良いだろう。学生の皆さんにとっても思い出に残ったインカレであったら幸いである。

以下に日本学生オリエンテーリング選手権実施規則に定められているイベントアドバイザーの報告について記載する。

### 5.2 業務報告

#### ▼運営組織、人事、会計および競技運営全般

今回の実行委員会は3責をはじめとして、自律的に責任を持って判断・行動できる運営者が主要メンバーとなっており、運営組織として十分であった。準備が佳境であった時期には一部の人員に負担が偏ることがあった。タスクの分担について少々助言をしたが、その後は円滑にタスクが割り振られ、大きな問題とはならなかった。

人事については、適切なタイミングで責任者やパートチーフの決定、当日運営人員の確保がなされていることを確認した。

会計については、予算案や執行状況を確認し、適切な管理がされていることを確認した。

競技運営全般については、チャットツール（Discord）でのやり取りを確認した。イベントアドバイザーから細かい指示を出す必要はほとんどなかった。ミーティングについてはこれまでのインカレと比較し、実施頻度・参加人員を必要最低限とすることが徹底されていた。これはイベントアドバイザーからの助言によるものではなかったが、持続可能な運営の観点で非常に良い取り組みだったと考える。

#### ▼ブリテンの内容

表に示す①～⑦の発行に際し、事前に記載内容について確認し、承認した。

- ①要項1（2025年5月25日）
- ②要項2（2025年11月13日）
- ③要項2.1（2025年12月31日）
- ④要項3（2026年2月27日）
- ⑤テクニカルミーティング代替資料（2026年2月27日）
- ⑥テクニカルミーティング質問回答（2026年3月8日）
- ⑦公式掲示板（2026年3月13日）

#### ▼会場、テレインの適格性

会場については、インカレの実施に十分な環境が整っていることを確認した。

テレインについては、実行委員会発足前に決定していたため、適格性についての確認を行っていない。

#### ▼スケジュール全体（宿泊、食事、輸送、日程、費用、トレーニングの機会）

宿泊及び食事については、今インカレでは各大学によって手配することとしていたため、確認を行っていない。

輸送については、十分な駐車場が確保されているか、想定されるパターンでの来場方法が確保されているかについて確認した。渉外の都合で駐車場の確保については難儀していたが、実行委員会等の尽力もあり、最終的には必要な駐車台数を確保することができていた。

日程については、例年通りの時期に開催することを確認した。

費用については、予算案を確認し、妥当な参加費であることを確認した。

トレーニングの機会については、トレーニングコースを設けずモデルイベントのみの開催とすることを確認した。開催トレインについては開催の2年以上前から公表されており、トレーニングの機会は十分であったと考えられる。

#### **▼スタート、フィニッシュ、チェンジオーバーエリアのシステムとレイアウト**

スタート・フィニッシュのレイアウトについては、試走・事前準備時に現地を確認し、問題ないことを確認した。

ミドルのスタート順やレーン分け、リレーのパターン振りについても公平に実施されていることを確認した。

#### **▼計時システムの信頼性と正確性**

計時システムについては、ビデオカメラ設置により信頼性向上を図っていることを確認した。

読み取りは4人体制で多数の参加者をうまくさばいており、大きなトラブルは無かった。

#### **▼地図規定照合**

ISOM2017-2に準拠していることを確認した。

一部の112(穴)が最小深さ1mを満たしていなかったが、この逸脱については承認した。

#### **▼地図の正確さ、作図・印刷の妥当性**

試走により、地図が正確であることを確認した。

直前の伐採による植生変化については、3分前枠で掲示する内容に問題がないことを確認した。

作図および印刷について、妥当であることを確認した。

本大会では耐水紙を用いたが、雨天時にも印字が不鮮明にならないことを確認した。

#### **▼コースの適格性(距離、競技時間、難易度、コントロール位置と設置状態、偶然性の排除など)**

コースがインカレにふさわしく、適格であることを確認した。

ミドル・リレーにおけるOCADデータの統合から地図発注に至るまでのプロセスについて、問題がないことを確認した。

コントロールの設置および位置確認のプロセスについて、問題がないことを確認した。

#### **▼リレーコースの分割方法と組み合わせ**

リレーコースの分割方法および組み合わせについて、問題がないことを確認した。

#### **▼コントロール位置説明**

ISCD2018に準拠していることを確認した。

#### **▼式典の適格性**

運営チャットを適宜参照し、適格性について問題ないことを確認した。

#### **▼報道関係者、観客等に対する処遇**

報道関係者、観客等に対する処遇の確認は、運営チャットにおけるやり取りや要項3の確認により実施した。

#### **▼その他**

大会当日は競技面の確認に加え、未帰還者の状況確認を重点的に行った。今大会では幸いなことに要搜索者は出なかったが、今後も気を配る必要があると考える。

未帰還者と未出走者の区別をつけるため、出走確認の方法は関係者間で綿密に取り決めておくべきであると感じた。

### 5.3 おわりに

私個人としては、同じテレインで実行委員長として携わった、コロナ禍により参加者も少なくなる中での4年前の大会と比べ、感慨深いものがあった。インカレもコロナ禍を乗り越えて復活し、学生だけで800人近くの参加者を集めるようになっている。次の世代にインカレが無事引き継がれていることを喜ばしく思う。

運営についても次世代への引き継ぎが進んでいる。関西・東海地区はOB・OGが少なく、複数のインカレに深く関わる方も多いが、それでも今回のインカレの運営者は4年前には学生であった方がほとんどであった。今回参加者としてインカレに携わった方たちの中からも、今後運営者としてインカレに携わる人が1人でも多く出ると幸いである。 (藤本)

本大会においては、主として競技面を中心に、地図およびコースをはじめとする各側面について確認し、いずれも大きな問題なく適切に実施されていた。特に、地図の規定準拠や正確性、作図・印刷の妥当性、コース設定およびコントロール設置に至るまで、一連のプロセスが適切に管理されていた。また、ミドルからリレーにかけては、データの統合や競技エリアの重複といった複雑な要素があったものの、ミスの生じないよう工夫されたプロセスにより確実に運用されていた点も印象的であった。

運営体制の面においても、これまで携わったインカレ運営の中でも特に円滑に進行していた。2週間前準備から前日に至るまで、各作業が効率的かつコンパクトに進められており、全体として無理のない運営が実現されていた。また、後回しになりがちな片付けについても円滑に実施できるよう事前の準備がなされており、非常に早い時間に完了していた点は特筆すべきである。今後も本大会で見られたこうした取り組みが継承され、さらなる大会運営の質の向上につながることを期待したい。 (山本)

### 6.1 はじめに

本稿では、本大会の準備および実施過程で得られた知見と所感をまとめ、実施規則 12 条に基づき、将来への提言とする。次年度以降のインカレ運営の一助となれば幸いである。

### 6.2 青山高原の涉外について

本大会における涉外業務は、地元住民の深い理解と、三重県オリエンテーリング協会谷氏の多大なる支援のもとに成立した。今後の大会を安定的に継続するため、以下の 2 点を提言する。

#### ▼涉外ルートの再検討

これまで、本テレインの拠点となる「上津地区市民センター」との涉外は、前センター長個人の尽力に依拠していた面が強い。今大会におけるセンターの体制変更に伴う現場での認識齟齬が発生したことを教訓とし、今後は特定個人の関係性に頼るだけでなく、「上津地区自治会長」や「伊賀市役所（スポーツ振興課）」、「市民センター」等を複数関係者と連携して行っていくことが重要である。

#### ▼体制変更に伴う丁寧な再説明の実施

長年継続して利用させていただいているテレインであっても、センター職員や自治体役員の交代により「これまでの当たり前」が通用しなくなるリスクがある。特に、2026 年度以降は市民センターの運営方針が刷新される可能性があるため、今回の利用に際しては、これまでの経緯（20 年以上にわたる地域貢献や学生の活動実態）を改めて丁寧に説明し、改めて信頼関係を構築し直す姿勢が必要である。

### 6.3 宿・交通幹旋の廃止について

日本学生オリエンテーリング連盟の決定方針に則り、本大会では宿・交通幹旋を廃止した。

- ・運営側のメリット：宿泊手配やキャンセル手続き等にかかる手間が削減されたことは、大きな省力化につながった。
- ・課題と対策：交通幹旋の廃止により、会場近隣で参加者全員分の駐車場を確保する必要が生じた。公共交通機関での入場が難しい場合、1,000 人規模の参加者の車を収容できる広大なスペースが必要となるため、市役所の各課への相談や、地元小中学校、休業日の民間企業等、早期から駐車場涉外に動くことが肝要である。

### 6.4 エントリーについて

#### ▼Japan-O-entrYでの実施

過去のインカレで用いられた複数の手法（エントリーサイト、Excel 提出など）を比較検討した結果、決済の簡素化および 2026 年度からの学連登録 JOY 移行を見据え、Japan-O-entrY を採用した。

- ・所感：運用フローの確立や、移行期ゆえの学連登録データとの照合に工数を要したが、大きなトラブルはなかった。
- ・提言：2026 年度以降は学連登録との連携により照合作業は不要になる見込みである。日学事務局と緊密に連携し、標準的な運用フローとして実施することを推奨する。

## ▼参加費の設定

宿泊斡旋の廃止を受け、全日参加前提の価格設定からミドル・リレー個別の設定へと変更した。価格は近年の実績を参考に設定したが、結果として大幅な黒字となった。

### ・要因分析：

1. 試走・準備期間において、近隣在住の運営者を中心に組織し、自家用車を活用したことで、宿泊費・交通費を大幅に抑制できたこと。
2. 駐車場渉外の成功により、当初計画していたミドル・リレー日のバス輸送が不要となったこと。

・提言：今後の大会でも同様のコスト削減が可能とは限らないが、収支見通しが明るい場合は、オフィシャル費（役員参加費）の減額などを検討し、参加者・運営者双方の負担軽減を図る余地がある。

## 6.5 持続可能な運営体制の構築

限られた時間の中で運営者が疲弊せず、健全に取り組める環境づくりが不可欠である。本大会では「効率化と拘束時間の短縮」を重視した。

### ▼片付けの計画化

従来、撤収作業は当日の状況判断に委ねられることが多かったが、本大会では準備段階から段取りを詳細に定め、責任の所在を分散・明確化した。具体的には、「**まず各パートが自パートの資材を責任持って片付ける**」、その次に「調達先（学連、各県協会、個人等）別に、担当者が責任を持って仕分け・積み込みを行う」という二段構えの方式を採用した。この計画的な運用により、撤収が極めてスムーズに進行し、明るい時間帯に全員が解散できたことは、運営者の心理的・肉体的負担の軽減に直結した。また、片付け忘れの防止や、特定の資材責任者に負担が集中することを回避する一助になったと考える。

### ▼定例 MTG の精査

拘束時間の削減を目的に、本大会では定例の全体ミーティングを原則として実施しなかった。

- ・運用：チャットツールによる迅速な情報共有を基本とし、必要に応じて個別・臨時のミーティングを設定することで補完した。
- ・効果と注意点：拘束が減り、運営負担が軽減されたという好意的な意見が多い一方で、各責任者の主体性に依存する側面も強くなる。パート間を横断する重要事項については、三責を中心に責任を持って情報伝達を管理し、認識の齟齬を防ぐ必要がある。次年度以降も、その時々々の運営の状況に合わせた最適な運用方法を検討いただきたい。

## 6.6 おわりに

実行委員長として運営に携わり、改めてこれまで大会を繋いでくださった先輩方への深い敬意と大きな感謝を感じました。インカレ運営は確かに多大な労力を要しますが、世代の近いオリエンティアと切磋琢磨し、一つの舞台を作り上げる経験は、とても有意義な時間になるはずです。過去の報告書でも繰り返し述べられていることではありますが、卒業生の皆様にはぜひ今後もインカレ運営にご協力いただければと思います。運営負担の軽減を追及しつつ、それぞれの形でインカレという舞台が続いていくことを切に願っています。

## 6.7 主催者である日本学連への提言

実行委員会は主管として ICMR2025 の運営を実施してきました。その中で、主催者である日本学連様に検討して頂きたい点について 2 点、言及させていただきます。

### ①日本学連賛助会員への地図配布について

JOY 上で日本学連賛助会員を募集しており、その中の特典として、「該当年度のインカレマップの配布」が提示されていると思います。本大会では賛助会員の方への地図（何種類）を渡すのか、参加されない方にはどう対応したらよいのか等不明点が多く、実行委員会から日本学連に連絡を致しました。賛助会員の方から寄付を頂いているのであれば、実行委員会に全て任せるのではなく、主催者としてきちんと賛助会員の方に対応するべきだと考えます。また、「インカレマップ」ではなく、「全コントロール図」や、「男女選手権地図」等具体的に記載した方が実行委員会としても準備するものが明確になってよいと感じました。

### ②インカレ実施規則について

インカレ実施規則において、2 点機能していないのではないかと感じた点があるため、それらを指摘させていただきます。

#### ②-1

##### 【規則】第 1 条 規則の適用 4 項

インカレ実施規則で定められた事項を、当該インカレに限定して不適用とし、変更する必要がある場合、1 か月前までに日本学連理事会へ申し出なければならない。また、不適用条項は技術委員会の諮問および日本学連理事会の承認を必要とする。不適用条項と変更内容は、ブリテンに明記される。

##### 【意見】

インカレ実施規則の不適用事項を 1 か月前に日本学連に申し出ました。しかし、技術委員会の諮問および日本学連理事会の承認の連絡は実行委員会に届いていません。承認されたものとみなし運営を致しましたが、規則として機能していないのではないかと感じています（第 1 条 4 項自体に逸脱しているインカレも見受けられます）。要項 3 の公開に合わせて逸脱事項を日本学連に届け出、逸脱事項が承認されない場合は公式掲示板で変更点を明示、のように規則を緩和するのがよいのではないかと考えます。

#### ②-2

##### 【規則】第 20 条 公正な競技 4 項

選手権競技者はアンチ・ドーピング研修の受講が必要である。

##### 【意見】

ミドル競技で選手権の部に出場する選手はアンチ・ドーピング研修を受講していますが、リレー競技で選手権の部に出場する選手全員がアンチ・ドーピング研修を受講することは難しいと感じます。エントリーが大学毎のため、選手の選考は大会直前となることが多いためです。現在の規則ではリレー競技において逸脱することが前提になっていると考えます。そのため、リレー競技を例外とする、個人競技よりも簡便な研修を用意する、等を実施する必要があるのではないかと考えます。

競技者であり主催者である、という方が多くなかなか難しい部分もあるとは思いますが、実行委員会が円滑に運営を進めていくためにも日本学連様に力添え頂ければと存じます。

## 7

## ミドル競技スタートリスト

## 選手権の部スタートリスト

★はGPSトラッキング対象選手、黄色の欄はシード選手です。

ME 61名			
スタート時刻	氏名	学校・登録年数	SI card番号
11:30	★吉田 聖悟	東京大学4	8110659
11:32	杉中 海斗	京都大学4	レンタル
11:34	★坂本 拓登	北海道大学4	レンタル
11:36	寺本 裕哉	名古屋大学3	レンタル
11:38	★古角 海志	東北大学4	レンタル
11:40	田中 雅崇	筑波大学3	8013221
11:42	★加藤 優拓	広島大学4	レンタル
11:44	井口 涼羽	早稲田大学2	レンタル
11:46	山口 颯大	東京大学4	レンタル
11:48	西田 稟	金沢大学2	レンタル
11:50	大森 寛玖	東京大学3	8656934
11:52	田中 周良	京都大学3	8041626
11:54	宮澤 晃永	東北大学4	レンタル
11:56	池田 寛大	横浜市立大学4	レンタル
11:58	荻野 友希	東北大学4	レンタル
12:00	★常広 寿哉	慶應義塾大学4	レンタル
12:02	水野 伶哉	名古屋大学3	レンタル
12:04	塚村 悠希	東北大学3	レンタル
12:06	高野 真人	横浜国立大学4	レンタル
12:08	中嶋 啓太	筑波大学3	8436316
12:10	Tatarnikov Mykhailo	法政大学1	8003652
12:12	★高橋 悠	横浜市立大学3	8700781
12:14	★尾藤 碩	京都大学2	レンタル
12:16	栗田 稜也	東京大学4	8110679
12:18	吉川 直希	筑波大学4	レンタル
12:20	★堀井 聡一朗	東京理科大学4	レンタル
12:22	加藤 遼	早稲田大学1	レンタル
12:24	小島 宗慈	新潟大学4	レンタル
12:26	今中 雄磨	横浜国立大学3	8539084
12:28	中島 遼	立命館大学2	レンタル
12:30	★石原 尋季	京都工芸繊維大学3	8160124
12:32	横江 明弘	神戸大学4	8524505
12:34	木明 拓玖	筑波大学4	レンタル
12:36	泉谷 光紀	東北大学4	レンタル
12:38	佐藤 慶明	東北大学2	8700579
12:40	★森 創之介	横浜国立大学4	レンタル
12:42	山本 匠海	名古屋大学2	レンタル
12:44	坂田 直基	京都大学1	レンタル
12:46	世古 大介	東北大学4	レンタル
12:48	中澤 溪進	東北大学3	レンタル
12:50	★加藤 賢斗	筑波大学3	レンタル
12:52	飯野 正太郎	東京科学大学4	レンタル
12:54	福井 陽貴	徳島大学3	9869291
12:56	角谷 拓海	東京大学3	8110694
12:58	山村 瑛	東北大学4	レンタル
13:00	★斉藤 大己	筑波大学3	8700796
13:02	牧野 修也	横浜国立大学1	レンタル
13:04	持地 怜太郎	慶應義塾大学3	8700784
13:06	★西澤 汰知	東北大学4	レンタル
13:08	美濃部 遼	筑波大学3	8115302

13:10	★鈴木 寛人	名古屋大学4	レンタル
13:12	★野口 彰洋	新潟大学3	レンタル
13:14	坪井 亮哉	東北大学4	レンタル
13:16	★早川 正真	立命館大学4	8222102
13:18	古吟 健晟	横浜国立大学4	8539314
13:20	★寺嶋 謙一郎	東京農業大学 (オホーツク) 4	8670004
13:22	小林 透哉	京都大学1	8003578
13:24	牧戸 悠生	日本大学3	8002584
13:26	八田 湘斗	立命館大学2	8202206
13:28	鈴木 悠太	東北大学4	レンタル
13:30	★及川 悠太郎	筑波大学大学院 4	8110413

WE 35名			
スタート時刻	氏名	学校・登録年数	SI card番号
11:31	★香西 彩名	東北大学4	レンタル
11:33	小島 優唯	一橋大学4	8110671
11:35	萬年 環	東北大学2	レンタル
11:37	★大音 紗希	北海道大学4	レンタル
11:39	尾本 絢子	北海道大学1	レンタル
11:41	杉野 舞	東北大学2	レンタル
11:43	★渡邊 絵万	金沢大学3	レンタル
11:45	片岡 明日香	千葉大学4	レンタル
11:47	★黒澤 香穂	京都大学3	8119630
11:49	★砂田 優萌子	お茶の水女子大学4	8110631
11:51	堀江 花歩	京都大学3	8542008
11:53	中西 澄海	東北大学3	レンタル
11:55	山本 美沙	筑波大学1	8436313
11:57	佐藤 奈穂	広島大学2	レンタル
11:59	★川瀬 智尋	奈良女子大学4	8533807
12:01	高木 優彩	京都女子大学2	8460110
12:03	★小野塚 智美	筑波大学3	8041111
12:05	梅本 咲希	静岡大学2	レンタル
12:07	久保田 結理	東北大学4	レンタル
12:09	★山崎 葵	筑波大学4	8506458
12:11	渡邊 朋香	京都大学4	8003159
12:13	齋藤 夢	奈良女子大学3	レンタル
12:15	照井 真実	千葉大学4	レンタル
12:17	兼子 照実	実践女子大学4	レンタル
12:19	★落合 英那	京都大学4	8020427
12:21	山岸 沙映	神戸大学3	レンタル
12:23	久島 典子	京都大学2	レンタル
12:25	田谷 夏姫	筑波大学2	8170071
12:27	和田 向日葵	法政大学3	レンタル
12:29	★中館 美卯	横浜国立大学3	レンタル
12:31	★牧 依瑠香	早稲田大学4	8502635
12:33	古荘 雪羽	横浜市立大学3	レンタル
12:35	鈴木 万結	日本女子大学3	レンタル
12:37	古谷 那奈	千葉大学4	レンタル
12:39	★中野 友貴	名古屋大学4	レンタル

## 8

## 参加者数リスト

## 8.1 3月14日(土) ミドル・ディスタンス競技部門

コード	学校名	加盟員数	ME	WE	MUA	WUA	MUB	WUB	MUF	WUF	出場	欠場
101	岩手大学	50	0	0	7	5	0	0	4	1	17	33
102	東北大学	106	12	5	28	5	1	0	30	6	87	19
103	北海道大学	76	1	2	20	9	0	0	7	4	43	33
142	宮城学院女子大学	11	0	0	0	4	0	3	0	2	9	2
144	岩手県立大学	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
147	秋田大学	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
148	山形大学	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
160	東北大学大学院	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
161	北海道大学大学院	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0
170	東京農業大学(オホーツク)	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
201	金沢大学	14	1	1	1	1	0	0	2	3	9	5
202	新潟大学	39	2	0	12	3	1	0	5	4	27	12
203	富山大学	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
301	筑波大学	57	2	2	10	4	0	1	5	5	29	28
302	千葉大学	39	0	1	10	0	0	0	11	5	27	12
304	東京大学	91	4	1	27	10	0	0	10	6	58	33
305	早稲田大学	56	5	3	11	5	0	0	13	3	40	16
306	慶應義塾大学	34	1	1	4	0	1	0	1	2	10	24
307	東京工業大学	13	1	0	6	0	0	0	3	0	10	3
308	一橋大学	5	1	0	1	0	0	0	1	0	3	2
309	東京都立大学	28	2	1	9	3	0	0	1	4	20	8
310	東京理科大学	27	0	1	6	2	0	0	1	0	10	17
311	学習院大学	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
313	明治大学	3	0	1	1	0	0	0	0	0	2	1
314	青山学院大学	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0
316	横浜国立大学	10	0	0	5	1	0	0	2	0	8	2
319	日本大学	3	0	0	2	1	0	0	0	0	3	0
342	日本女子大学	3	0	1	0	1	0	0	0	0	2	1
343	中央大学	3	1	0	1	0	0	0	1	0	3	0
345	お茶の水女子大学	6	0	0	0	3	0	0	0	1	4	2
346	防衛大学校	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
361	東京理科大学大学院	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
401	静岡大学	11	1	0	2	0	0	0	2	1	6	5
402	名古屋大学	56	4	2	13	3	0	0	6	5	33	23
404	山梨大学	3	0	0	0	0	1	0	2	0	3	0

コード	学校名	加盟員数	ME	WE	MUA	WUA	MUB	WUB	MUF	WUF	出場	欠場
405	南山大学	2	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0
406	名古屋工業大学	2	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0
407	岐阜大学	2	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0
410	三重大学	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0
460	金沢大学大学院	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
501	京都大学	170	10	3	55	14	1	0	18	12	113	57
502	大阪大学	62	3	1	15	4	0	0	9	4	36	26
503	神戸大学	54	2	3	14	3	0	0	10	3	35	19
504	大阪公立大学	21	1	1	5	2	0	0	2	3	14	7
506	滋賀大学	8	1	0	2	0	0	1	1	2	7	1
507	関西大学	4	0	1	2	1	0	0	0	0	4	0
508	立命館大学	8	1	0	3	1	0	0	0	0	5	3
542	武庫川女子大学	5	0	0	0	3	0	0	0	1	4	1
543	京都女子大学	14	0	1	0	6	0	4	0	2	13	1
544	奈良女子大学	24	0	2	0	11	0	1	0	3	17	7
545	同志社大学	3	0	0	0	2	0	0	0	1	3	0
583	京都工芸繊維大学	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
597	龍谷大学	3	0	0	0	1	0	0	1	0	2	1
601	広島大学	28	1	1	4	3	0	2	2	0	13	15
641	徳島大学	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	合計	1317	61	35	286	112	6	12	153	73	738	579

## 8.2 3月15日(日)リレー競技部門

- MER/WER/MAR/WAR/XAR/BRはチーム数、MAS/WAS/BSは人数を記載しています。
- 混成チームは申し込みの代表チームに加えています。
- 特例措置チームは参加する全ての大学に加えています。

コード	学校名	加盟員数	MER	WER	MAR	WAR	XAR	BR	MAS	WAS	BS	出場	欠場
101	岩手大学	50	1	1	1	0	1	2	0	0	0	18	32
102	東北大学	106	1	1	21	4	1	1	0	0	0	86	20
103	北海道大学	76	1	1	7	3	2	0	1	0	0	43	33
142	宮城学院女子大学	11	0	0	0	1	0	1	0	0	3	9	2
144	岩手県立大学	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
145	福島大学	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
146	秋田大学	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
147	東北大学大学院	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
148	北海道大学大学院	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
151	東京農業大学(オホーツク)	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
152	中村記念病院附属看護学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
201	金沢大学	30	1	1	0	0	1	0	0	1	0	9	21

コード	学校名	加盟員数	MER	WER	MAR	WAR	XAR	BR	MAS	WAS	BS	出場	欠場
203	新潟大学	45	1	0	4	0	1	3	2	0	0	29	16
241	信州大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
242	金沢大学大学院	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
302	お茶の水女子大学	12	0	1	0	3	0	0	0	0	0	10	2
303	慶應義塾大学	29	1	0	3	1	1	0	1	0	0	19	10
305	千葉大学	74	1	1	9	3	1	0	0	0	0	45	29
307	筑波大学	69	1	1	12	2	2	0	1	0	0	53	16
309	東京大学	61	1	1	11	1	1	0	0	0	0	44	17
310	東京農工大学	27	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4	23
311	東京理科大学	48	1	1	4	0	1	0	0	0	0	21	27
313	法政大学	8	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5	3
315	横浜国立大学	66	1	1	8	1	1	0	0	0	0	35	31
316	立教大学	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
317	早稲田大学	53	1	1	5	1	1	0	0	0	0	27	26
319	実践女子大学	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	1
341	一橋大学	15	1	1	2	0	0	0	0	0	0	13	2
350	相模女子大学	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	2
356	東京科学大学	32	1	0	3	0	0	0	0	1	0	13	19
364	日本女子大学	21	0	1	0	3	0	0	0	0	0	12	9
365	日本大学	20	1	0	4	0	0	0	0	0	0	14	6
369	津田塾大学	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	3
372	茨城大学	29	1	1	1	0	0	2	0	0	0	15	14
377	筑波大学大学院	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
378	横浜市立大学	19	1	1	1	0	1	0	0	0	0	11	8
380	東京工科大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
388	国際基督教大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
391	十文字女子大学	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
396	明治大学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
397	順天堂大学	4	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3	1
398	東京大学大学院	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
399	横浜国立大学大学院	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
400	横浜市立大学大学院	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
401	静岡大学	12	1	1	0	0	0	0	2	0	0	6	6
402	名古屋大学	76	1	1	10	2	0	0	2	0	1	45	31
403	名古屋市立大学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
441	名古屋工業大学	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
443	愛知県立大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
444	椙山女学園大学	11	0	1	0	1	0	0	0	1	0	7	4
445	愛知工業大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
446	名古屋大学大学院	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
501	大阪大学	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45
502	大阪公立大学	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0

コード	学校名	加盟員数	MER	WER	MAR	WAR	XAR	BR	MAS	WAS	BS	出場	欠場
504	京都大学	62	1	1	9	2	0	0	0	0	0	37	25
506	神戸大学	21	1	1	1	0	1	1	0	0	0	11	10
507	立命館大学	36	1	1	3	0	1	0	0	0	0	15	21
541	京都女子大学	29	0	1	0	2	0	0	0	0	0	10	19
544	神戸市立工業高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
545	奈良女子大学	32	0	1	0	3	0	1	0	0	0	17	15
549	同志社大学	8	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	5
583	京都工芸繊維大学	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
597	龍谷大学	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1
601	広島大学	28	1	1	1	0	0	1	0	0	0	13	15
641	徳島大学	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	<b>合計</b>	<b>1317</b>	<b>32</b>	<b>28</b>	<b>121</b>	<b>36</b>	<b>18</b>	<b>12</b>	<b>10</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>734</b>	<b>583</b>

実行委員長	松本 萌恵 (神戸 19)	エントリー責任者	岩井 龍之介 (京都 16)
運営責任者	近藤 花保 (名古屋 19)	人事責任者	片岡 佑太 (大阪 17)
競技責任者	二俣 真 (京都 19)	会場チーフ	林 里美 (大阪 20)
渉外責任者	谷 秀司 (三重県協会)	スタートチーフ	和田 佳丈 (静岡 18)
ミドルプランナー	井土 宙 (静岡 19)	フィニッシュチーフ	藤田 奈津美 (奈良女子 18)
リレープランナー	祖父江 有祐 (筑波 19)	計センチーフ	満田 壮晴 (大阪 20)
併設大会責任者	向井 悠真 (京都 19)	受付チーフ	吉田 菜々子 (東京理科 19)
会計責任者	吉仲 瑞貴 (京都 19)	演出チーフ	藤本 光 (奈良女子 20)
資材責任者	佐藤 隆奈 (筑波 19)	救護チーフ	高野 澄佳 (大阪 20)
資材責任者	山根 直樹 (筑波 19)	開会式チーフ	植田 博貴 (京都 21)
広報責任者	竹重 拓輝 (大阪 18)	交通チーフ	井上 匠梧 (京都 19)

飯田 健太 (神戸 20)	島田 智也 (名古屋 20)	濱中 俊太郎 (神戸 20)
伊部 琴美 (名古屋 17)	鈴江 晃人 (大阪 21)	林 牧穂 (奈良女子 21)
今井 里奈 (椋山女学園 19)	鈴木 璃土 (筑波 19)	藤井 一樹 (名古屋工業 18)
入江 龍成 (早稲田 19)	住吉 将英 (名古屋 17)	堀尾 健太郎 (名古屋 14)
上田 皓一郎 (立命館 19)	住吉 璃果 (椋山女学園 18)	間正 百香 (立命館 21)
内潟 風翔 (北海道 19)	田中 優 (京都 21)	松尾 晴乃 (神戸 20)
遠藤 匠真 (大阪 15)	棚橋 一樹 (名古屋 17)	宮岡 竜也 (早稲田 19)
笠井 虹汰 (千葉 18)	谷口 直弥 (京都 21)	森江 菜々子 (京都女子 19)
勝野 智喜 (名古屋 21)	玉木 林哉 (京都 21)	山川 順子 (千葉 79)
加用 直也 (京都 21)	塚田 一希 (京都 19)	山賀 千尋 (大阪 18)
菅 悠柁 (大阪 20)	豊田 俊哉 (神戸 18)	山根 萌加 (京都 16)
小俣 敦宏 (名古屋工業 18)	中村 航晴 (京都 21)	吉田 薪史 (大阪 17)
櫻井 千尋 (名古屋 19)	浜口 祐至 (京都 21)	和佐田 祥太郎 (京都 18)
佐藤 遼平 (東京 15)		

イベント・アドバイザー	藤本 拓也 (京都 16)
	山本 明史 (京都 15)

※以上、( ) 内は出身大学と入学年度または所属

地図調査者	西村 徳真 (NishiPRO)
大会ドクター	葛野 力 (医師)

## 大会公式マスコット



大会公式キャラクター  
「伊賀野こんぱすのすけ」

作：松本 萌恵

まいにちせいちれん。  
くるくるくるくる。  
るーとはぶんしんしてきめる。



Zea  
Communications



## 2025年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 ミドル・ディスタンス、リレー競技部門 報告書

発行日	2026年5月20日
発行者	2025年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 ミドル・ディスタンス、リレー競技部門実行委員会
発行責任者	松本 萌恵 (実行委員長)
編集責任者	竹重 拓輝 (広報責任者)
大会公式Webサイト	<a href="https://icmr2025.web.app/">https://icmr2025.web.app/</a>